

羽幌町人口ビジョン策定将来展望調査業務

調査分析結果報告書

平成27年9月 羽幌町

目 次

1. 調査の概要

(1) 目的	1
(2) 意識調査の種類及び概要	1
(3) 配付回収の方法	2
(4) 配付対象者と配付数	2
(5) 配付回収のスケジュール	3
(6) 配付回収結果	3
(7) 集計結果の概要	4

2. アンケート調査結果

(1) 高校生アンケート調査	10
(2) 一般向けアンケート調査	22
(3) 転入者向けアンケート調査	57
(4) 転出者向けアンケート調査	69
(5) 企業向けアンケート調査	81

<資料編>

- 高校生アンケート調査票
- 一般向けアンケート調査票
- 転入者向けアンケート調査票
- 転出者向けアンケート調査票
- 企業向けアンケート調査票
- (別紙) 羽幌町における人口の現況と地方創生について

1. 調査の概要

(1) 目的

本業務は、羽幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定に係る羽幌町人口ビジョンを策定するに当たり必要となる町民などの意識調査を実施し、その基礎資料を作成することを目的とします。

(2) 意識調査の種類及び概要

意識調査は対象ごとに5種類実施しました。アンケート調査の種類と概要は以下のとおりです。なお、実際の調査票は、巻末<資料編>に掲載しました。

表 アンケートの種類と概要

番号	調査の種類	設問項目の概要
1	高校生アンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> • 高校卒業後の進路と希望する職業 • 羽幌町内での就職の可能性 • 個人属性
2	一般向けアンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> • 結婚（婚活事業、メリットとデメリットなど） • 子育て（子育て経験、子育て支援事業など） • 人口減少対策（婚姻率の上昇、出生率の上昇、重点産業分野） • 個人属性
3	転入者向けアンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> • 転入理由 • 羽幌町の魅力と不満 • 居住継続の意向 • 個人属性
4	転出者向けアンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> • 転出理由 • 羽幌町の魅力と不満 • 再転入の可能性 • 個人属性
5	企業向けアンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> • 現在と理想の従業員の年齢構成 • 事業活性化に有効な施策内容 • 企業の属性

[1. 調査の概要]

(3) 配付回収の方法

各アンケート票は、下表の方法で配付回収を行いました。

表 配付回収の方法

番号	調査の種類	配付回収の方法
1	高校生アンケート調査	学校を通じてアンケート票を配付回収
2~5	一般向けアンケート調査 転入者向けアンケート調査 転出者向けアンケート調査 企業向けアンケート調査	郵送によるアンケート票の配付回収

(4) 配付対象者と配付数

各アンケート票の配付対象者と配付数は、以下のとおりです。

表 配付対象者と配付数

番号	調査の種類	「配付対象者」と「配付数」			
1	高校生アンケート調査	北海道羽幌高等学校 : 全校生徒 : 157 件 北海道苫前商業高等学校 : 同上 : 81 件 北海道天売高等学校 : 同上 : 4 件 合計 : 242 件			
2	一般向けアンケート調査	年齢階級	男性	女性	合計
		20~29 歳	198 件	196 件	394 件
		30~39 歳	198 件	200 件	398 件
		40~49 歳	72 件	72 件	144 件
		50~59 歳	66 件	66 件	132 件
		60 歳~	66 件	66 件	132 件
		合計	600 件	600 件	1,200 件
結婚、出産、子育てに関係の深い年齢階級であるため「20~29 歳」と「30~39 歳」の配付数を多く設定					
3	転入者向けアンケート調査	平成 26 年 3 月から 4 月に転入した 20 歳以上の方 : 82 件			
4	転出者向けアンケート調査	平成 26 年 3 月から 4 月に転出した 20 歳以上の方 : 129 件			
5	企業向けアンケート調査	羽幌町内 200 社を対象に配付 (200 件)			

(5) 配付回収のスケジュール

アンケート票の配付及び回収のスケジュールは以下のとおりです。

表 配付回収のスケジュール

番号	調査の種類	配付日	回収期日
1	高校生アンケート調査	平成27年5月18日(月)	平成27年5月22日(金)
2~5	一般向けアンケート調査 転入者向けアンケート調査 転出者向けアンケート調査 企業向けアンケート調査	平成27年5月26日(火)	平成27年6月8日(月)

(6) 配付回収結果

各アンケート調査の配付回収結果は、以下のとおりです。

表 配付回収数及び回収率

番号	調査の種類	配付数	回収数(回収率)
1	高校生アンケート調査	242件	225件 (93.0%)
2	一般向けアンケート調査	1,200件	346件 (28.8%)
3	転入者向けアンケート調査	82件	42件 (51.2%)
4	転出者向けアンケート調査	129件	38件 (29.5%)
5	企業向けアンケート調査	200件	73件 (36.5%)

(7) 集計結果の概要

①高校生アンケート調査

問1. 回答者属性

Q1. 性別と学年

1) 性別

「男性」、「女性」とも概ね5割です。

2) 学年

「3年生」が4割弱と最も多く、続いて「1年生」が3割強となっています。

Q2. 出身中学校

「羽幌中学校」が5割と最も多く、続いて「古丹別中学校」が2割弱となっています。

問2. 進路や就職について

Q1. 卒業後の進路希望（進学・就職）

「進学を希望」が4割強と最も多く、続いて「まだ、わからない」が3割強となっています。

1) 進学を希望する市町村

「札幌市」が最も多い状況です。

2) 就職を希望する市町村

「羽幌町」が最も多い状況です。

Q2. 就職を希望する業種

「公務員・法律・政治系の職業」が最も多い状況です。

Q3. 羽幌町内での就職（希望する業種が町内にある場合）

「あまり羽幌町での就職を検討してみたいと思わない」が4割弱と最も多い状況です。

Q3-1. 羽幌町内での就職に有効な情報

「具体的な仕事内容」と「入社後の待遇」が3割弱と多い状況です。

Q3-2. 羽幌町での生活の問題点と快適な生活を送るための工夫

問題点は、「商業施設や娯楽施設が少ない」が最も多い状況です。

工夫は、「商業施設や娯楽施設を増やす」が最も多い状況です。

Q3-3. Uターンの可能性

「わからない」が6割弱、「あまり考えられない、全く考えられない」が2割強となっています。

Q3-4. Uターンする場合の有効な情報

「具体的な仕事の内容」と「入社後の待遇」が3割弱となっています。

問3. 人口減少対策についての自由意見

主要な意見としては、「仕事や職場を増やす」、「商業施設や娯楽施設を誘致する」があげられます。

②一般向けアンケート調査

問1. 結婚について

Q1. 結婚の有無

「結婚している」が7割弱と最も多く、続いて「配偶者・パートナーはこれまで得たことはない」が2割弱となっています。

Q1-1. 未婚者への結婚希望

「いずれは結婚したい」が5割と最も多い状況です。

Q1-2. 婚活事業への参加意向

「まず、参加しない」が3割弱と最も多い状況です。

Q2・Q3. 配偶者などがあることのメリット・デメリット

メリットの件数がデメリットの件数を上回っています。

Q4・Q5. 配偶者などとの家事などの分担（理想・実際）

「家事」、「親の介護」、「育児」、「家計管理」、「子どもの教育」について理想と実際に乖離があります。

問2. 子育てについて

Q1. 子育て経験

「以前、自分の子どもの子育てをしていた」と「子育てについてほとんど経験がない」が3割前後となっています。

Q1-1. 子育て経験の勧め

「ぜひ勧めたい」と「どちらかといえば勧めたい」の合計が8割弱となっています。

Q1-2. 子育ての希望

「ぜひ子育てしてみたい」と「機会があればしてみたい」の合計が6割強となっています。

Q2. 妊娠、出産、子育ての不安

「女性」の方が不安を抱えており、「仕事に集中できない」、「精神的・肉体的に不安が大きい」が多い状況です。

Q3. 子どもの人数

1) 子どもがいらっしゃる方

「考えていたとおりである」が4割強と最も多く、続いて「現在よりも1人多くほしい（ほしかった）」が3割強となっています。

2) 子どもがいらっしゃらない方

「2人ほしい（ほしかった）」が4割弱と最も多く、続いて「子どもの数は考えていない（いなかった）」が2割強となっています。

Q4. お子さんが希望する人数より少ない理由・お子さんがいらっしゃらない理由

1) お子さんが希望する人数より少ない理由

「家計にゆとりがほしい（ほしかった）」が最も多く、続いて「教育費がかかる」の順となっています。

[1. 調査の概要]

2) お子さんがいらっしやらない理由

「結婚していない」が最も多く、続いて「子どもはほしいと考えている（考えていた）」の順となっています。

Q5. 羽幌町での子育てしやすさ

「子育てしやすい」と「やや子育てしやすい」の合計が3割強となっています。

Q6. 有効な子育て支援策

「保育所の保育費の負担を軽減する」が最も多い状況です。

Q7. 地域による子育て支援策

1) 子育て支援を受ける立場（利用）

「できれば利用したい」が3割強と最も多い状況です。

2) サービスを提供する立場（参加）

「できれば参加したい」が最も多く、3割弱となっています。

問3. 人口減少対策について

Q1. 婚姻率を高める方法（自由意見）

主要な意見として、「収入を安定させる、男性の収入を増加させる、結婚に必要な収入を得る」、「職場を確保する」、「若い世代が雇用を創出する、青年男女が就職できる、共稼ぎできる」、「出会いの場をつくる」、「羽幌町の魅力を高める」、「パーティ・合コンの開催」、「経済的な支援」及び「住宅の確保」があげられます。

Q2. 出生率を高める方法（自由意見）

主要な意見として、「祝い金、補助金、出産手当の制度を設ける」、「羽幌町で出産できる産婦人科の確保」及び「羽幌町で小児科、産婦人科医の常勤化」があげられます。

Q3. 若者の職を確保するために支援する産業分野

「医療・福祉産業」が最も多く、続いて「水産業」、「農業」の順となっています。

Q4. その他、人口減少対策（自由意見）

主要な意見として、「若者、女性などを含めた雇用の確保」、「住宅の確保」があげられます。

問4. 回答者属性（主要なものを抜粋）

Q1. 性別と年齢

1) 性別

「女性」が6割弱、「男性」が4割強となっています。

2) 年齢

「30歳代」が3割弱と最も多く、続いて「20歳代」が2割強となっています。

Q2. 職業

「公務員・団体職員」が3割弱と最も多く、続いて「無職（主婦・学生含む）」と「パート・アルバイト」が2割弱となっています。

③転入者向けアンケート調査

Q1. 性別と年齢

1) 性別

「男性」が7割弱、「女性」が3割強となっています。

2) 年齢

「40歳代」が4割弱と最も多い状況です。

Q2. 職業

「公務員・団体職員」が7割弱と最も多い状況です。

Q3. 出身地

「北海道内」が7割強と最も多い状況です。

Q4. 転入前後の家族構成

大部分は、転入前と同様の家族構成である一方、婚姻などによる転入、配偶者や子どもを転出元に残したままの転入があると推測されます。

Q5. 転入前の住まい

「札幌市」が最も多い状況です。

Q6. 現在の住まい

「南1条～南7条」が最も多い状況です。

Q7. 転入した時の気持ち

「羽幌町に魅力を感じて転入した」が1件のみで、他は全て「その他」となっています。

Q8. 転入理由

「仕事の都合」が8割強となっています。

Q8-1. 仕事の都合の内容

「転勤」が7割強を占めています。

Q9・Q10. 羽幌町居住の魅力と不満

魅力は、「自然環境」が最も多く、続いて「食べ物がおいしい」、「通勤・通学」の順となっています。

不満は、「医療環境」が最も多く、続いて「買物など日常生活」となっています。

Q11. 羽幌町居住の満足度

「どちらかといえば満足」が4割強と最も多い状況です。

Q12. 居住の継続意向

「将来は町外に引っ越さざるを得ない」が5割弱と最も多い状況です。

Q13. 人口減少対策などについての自由意見

代表的な意見として、「観光地としての施設の充実」、「賃貸アパートなどが欲しい」があげられます。

④転出者向けアンケート調査

Q1. 性別と年齢

1) 性別

「男性」が7割弱、「女性」が3割弱となっています。

2) 年齢

「50歳代」が3割弱と最も多い状況です。

Q2. 職業

「公務員・団体職員」が7割弱となっています。

Q3. 出身地

「北海道内」が8割強と最も多い状況です。

Q4. 転出前後の家族構成

大部分は、転出前と同様の家族構成である一方、単身赴任など（一人世帯）から「夫婦のみ」に戻った世帯や、親あるいは子どもを羽幌町に残したままの転出があると推測されます。

Q5. 転出前の住まい

「南1条～南7条」、「幸町」、「南町」及び「栄町」が多い状況です。

Q6. 現在の住まい

「札幌市」が最も多く、続いて「留萌市」、「北見市」の順となっています。

Q7. 転出した時の気持ち

「仕方なく転出した」が3割弱と最も多い状況です。

Q8. 転出理由

「仕事の都合」が8割強と大部分を占めます。

Q8-1. 仕事の都合の内容

「転勤」が4割強と最も多い状況です。

Q9・Q10. 羽幌町居住の魅力と不満

魅力は、「自然環境」が最も多く、続いて「食べ物がおいしい」、「通勤・通学」の順となっています。

不満は、「医療環境」が最も多く、続いて「買物など日常生活」、「物価が高い」の順となっています。

Q11. 羽幌町居住の満足度

「どちらかといえば満足」が5割強と最も多く、続いて「満足」が3割強となっています。

Q12. 再居住の意向

「住みたい」と「住む気はない」が3割強と多く、続いて「わからない」が3割弱となっています。

Q13. 人口減少対策などについての自由意見

代表的な意見として、「島・甘えび・炭砒跡を観光資源にする」、「就職場所を増やす」及び「医療機関の充実」があげられます。

⑤企業向けアンケート調査

Q1. 業種

「その他サービス」が最も多く、続いて「建設会社・工事」、「食料品小売」の順となっています。

Q2. 事業所の位置

「南1条～南7条」に多くが立地しています。

Q3. 経営者の性別と年齢

1) 性別

「男性」が8割強、「女性」が1割弱となっています。

2) 年齢

「60歳代」が3割強と最も多く、続いて「70歳以上」が2割強、「40歳代」が2割弱となっています。

Q4. 従業員、通勤の状況など（主要なもの）

1) 従業員数

「10人未満」が6割強と最も多く、続いて「20人未満」が2割強となっています。

2) 町外から通勤している従業員の人数

26事業所で97人となっています。

Q5. 従業員の年齢構成（現在・理想）

若返りを理想としています。

Q6. 後継者の状況

「後継者がいないため、自分の代で運営をやめようと思っている」が3割弱と最も多い状況です。

Q7. 企業の事業活性化や新たな事業展開に役立つと考えられる支援内容

「観光振興策の支援」と「住宅確保の支援」が多く、続いて「農水産物の新たなブランドの育成・認証とPR支援」の順となっています。

Q8・Q9. U I Jターンによる人材の雇用と人口減少対策などについての自由意見

代表的な意見として、「雇用支援」、「新たな産業としてベントナイト・ゼオライトの事業展開」及び「海産物、農作物、サフォークなどのブランド化、付加価値化」があげられます。

2. アンケート調査結果

以下に(1) 高校生アンケート調査、(2) 一般向けアンケート調査、(3) 転入者向けアンケート調査、(4) 転出者向けアンケート調査及び(5) 企業向けアンケート調査の結果をそれぞれ整理します。

(1) 高校生アンケート調査

問1. あなたご自身について、お答えください。

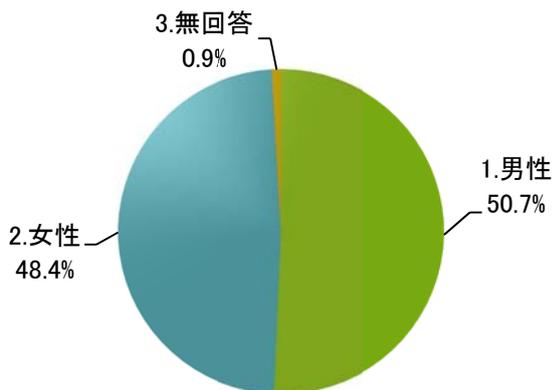
Q1. 「性別」と「学年」をお答えください。(それぞれ一つに○)

① 性別

回答者の性別は、「男性」が 50.7%、「女性」が 48.4%となっており、「男性」と「女性」はほぼ同数です。

表 性別

番号	選択肢	回答数
1	男性	114
2	女性	109
3	無回答	2
合計		225

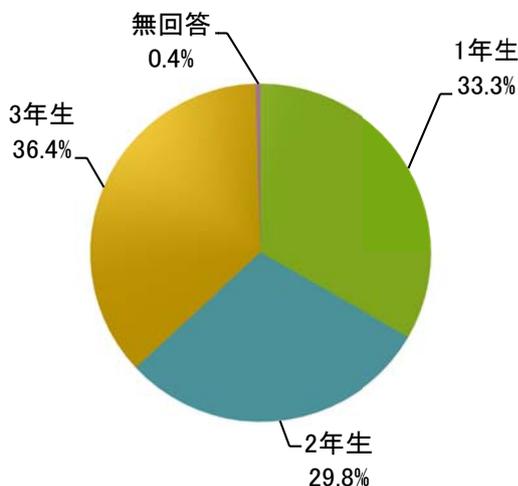


② 学年

回答者の学年は、「3年生」が 36.4%と最も多く、続いて「1年生」が 33.3%となっています。

表 学年

番号	選択肢	回答数
1	1年生	75
2	2年生	67
3	3年生	82
4	無回答	1
合計		225

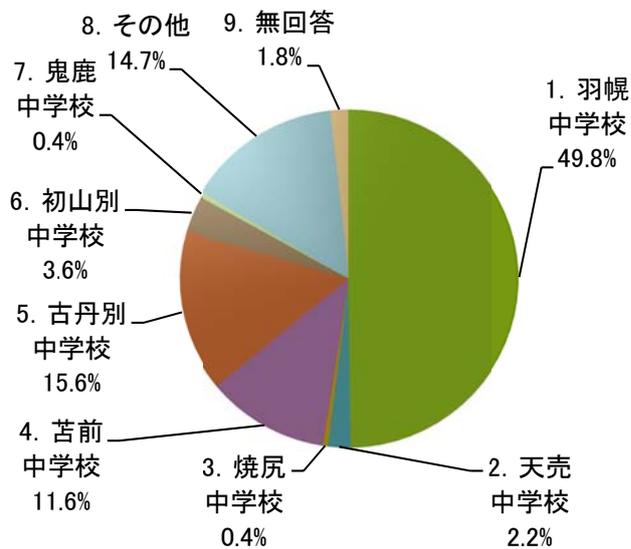


Q2. あなたの出身中学校をお答えください。

回答者の出身校は、「1. 羽幌中学校」が 49.8%と最も多く、続いて「5. 古丹別中学校」が 15.6%、「8. その他」が 14.7%となっています。なお、「8. その他」としては、札幌市内の中学校が多い状況です。

表 出身中学校

番号	選択肢	回答数
1	羽幌中学校	112
2	天売中学校	5
3	焼尻中学校	1
4	苫前中学校	26
5	古丹別中学校	35
6	初山別中学校	8
7	鬼鹿中学校	1
8	その他	33
9	無回答	4
合計		225



問2. 高校卒業後の進路や職業などについて、お答えください。

Q1. 卒業後は、進学又は就職のどちらを希望しますか。(一つに〇、市町村を記載)

回答者の高校卒業後の進路は、「進学を希望」が41.3%と最も多く、続いて「まだ、わからない」が30.7%、「就職を希望」が28.0%となっています。なお、「まだ、わからない」は、「1年生」と「2年生」が4割前後と多く、「3年生」では、「進学を希望」が48.8%、「就職を希望」が40.2%と概ね進路希望が定まっている状況です。



図 卒業後の進路 (学年別)

①進学を希望する市町村

進学を希望する市町村は、「札幌市」が52件と最も多く、続いて「旭川市」が6件となっています。

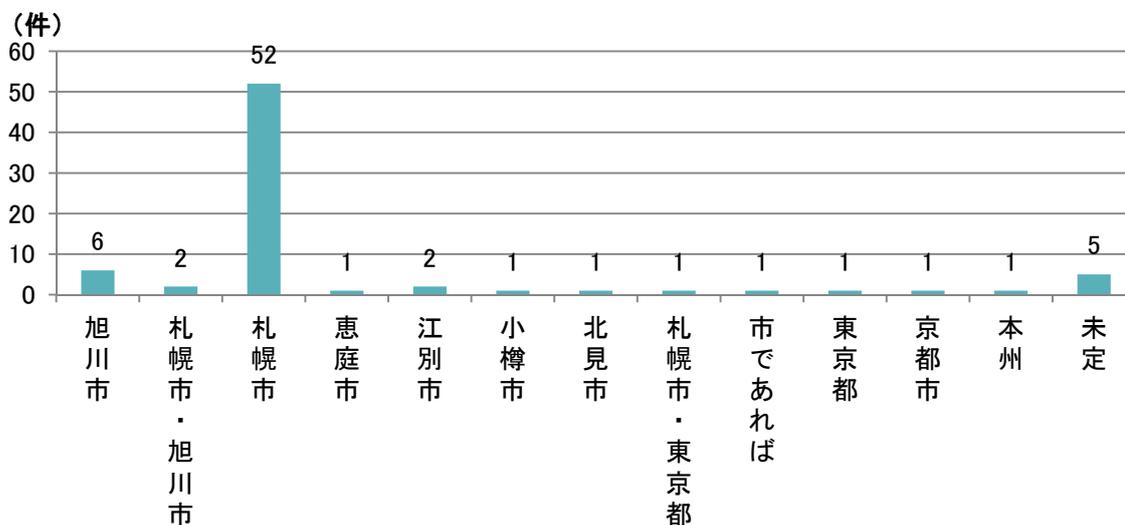


図 進学を希望する市町村 (n=75)

②就職を希望する市町村

就職を希望する市町村は、「羽幌町」が16件と最も多く、続いて「札幌市」が9件、「未定」が7件となっています。

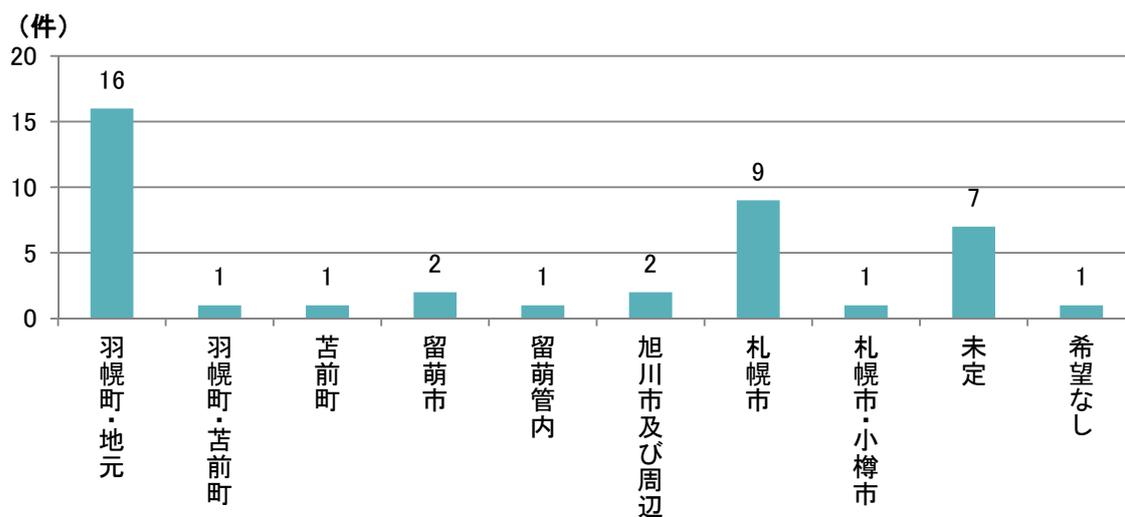


図 就職を希望する市町村 (n=41)

Q2. 将来どのような業種への就職を希望しますか。(三つまで)

将来、就職を希望する業種の上位5つは、「1. 公務員・法律・政治系の職業」が45件と最も多く、続いて「2. ビジネス系の職業」が39件、「13. 医療・医療事務系の職業」が29件、「21. コンピューター・ゲーム系の職業」が28件及び「15. 保育・教育系の職業」が25件となっています。

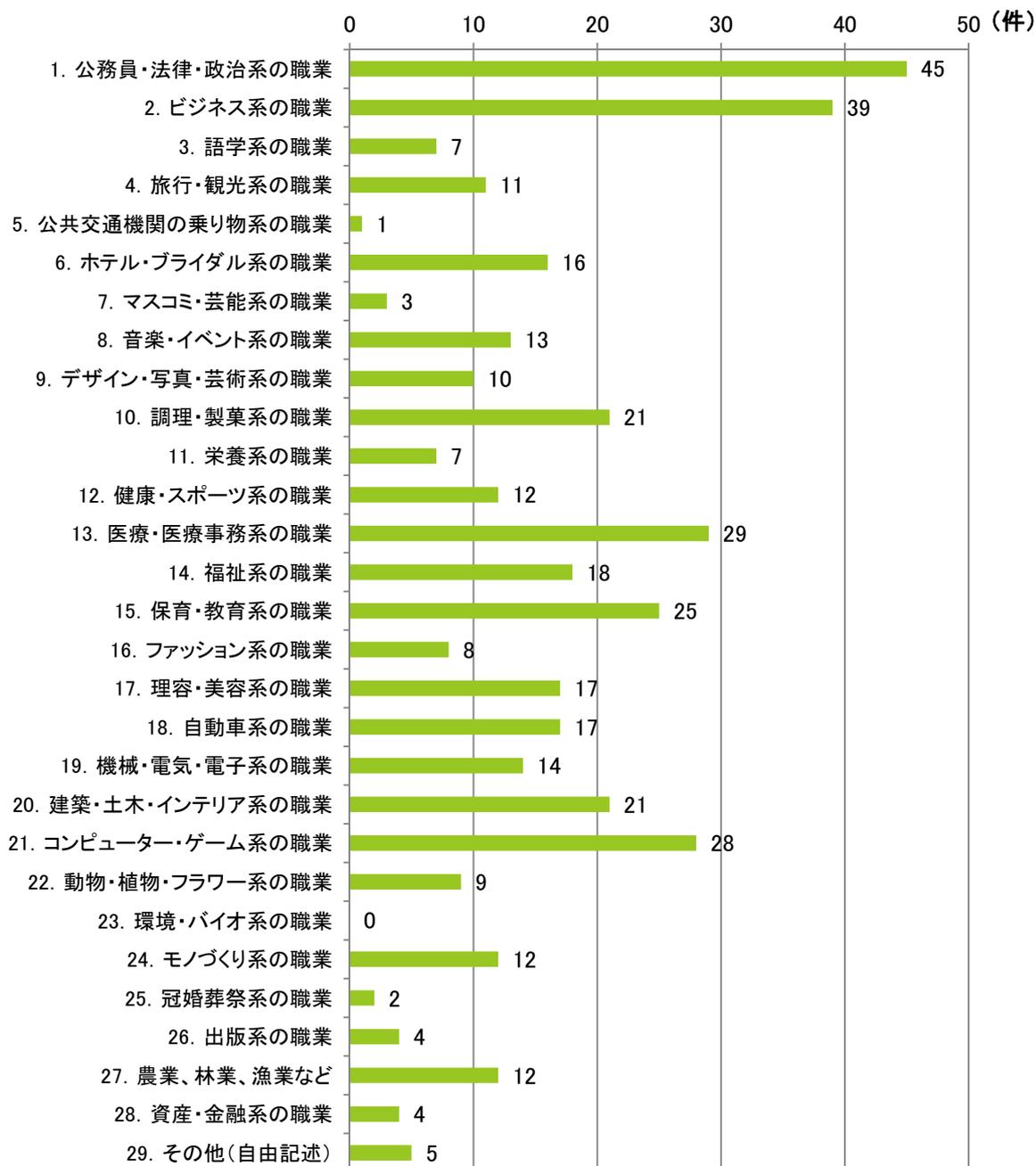


図 将来、就職を希望する業種 (n=410)

Q3. 羽幌町内に希望する業種の雇用先があれば、あなたは、羽幌町での就職（進学後を含む。）を検討しますか。（一つに〇）

羽幌町での就職に関しては、「あまり羽幌町での就職を検討してみたいと思わない」が36.0%と最も多く、続いて「できれば羽幌町での就職を検討したい」と「羽幌町での就職検討は考えられない」がそれぞれ25.3%となっています。

「あまり羽幌町での就職を検討してみたいと思わない理由」は、「都会に出て働きたい」、「様々な人とかかわった仕事がしたい」、「親から自立したい」及び「羽幌町内には働く場所がないから」などがあげられます。一方、「できれば羽幌町での就職を検討したい理由」は、「羽幌が好きだから」、「家族がいるから」及び「安心して働けるから」などがあげられます。

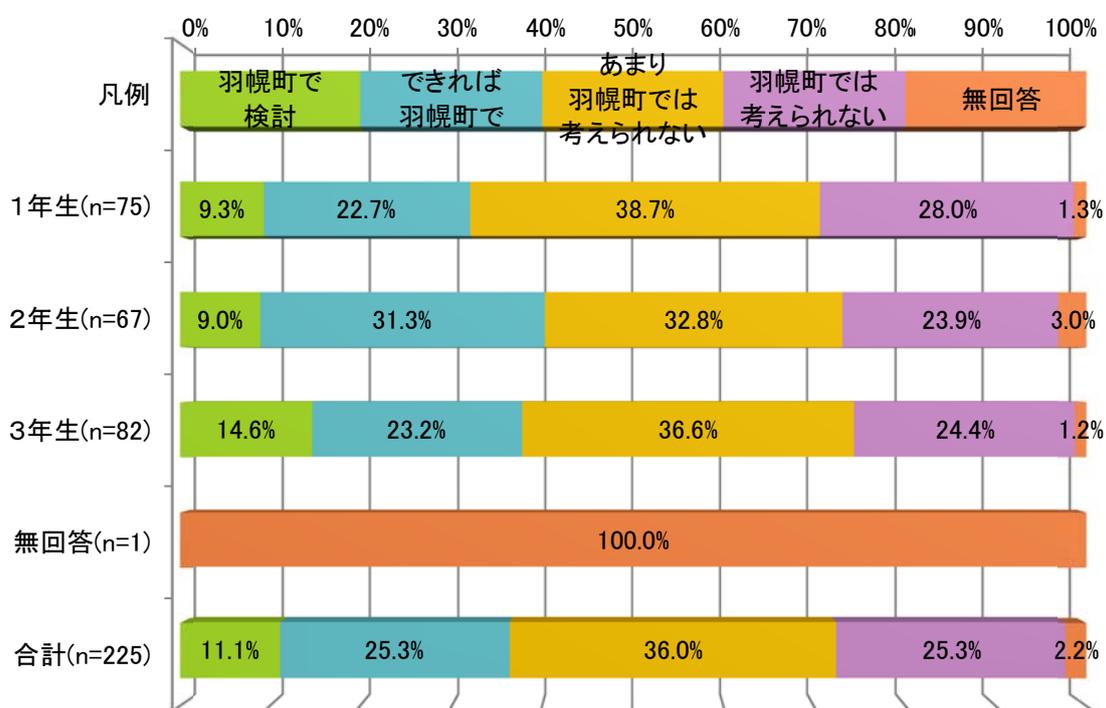


図 羽幌町での就職の検討（羽幌町内に希望する業種がある場合）

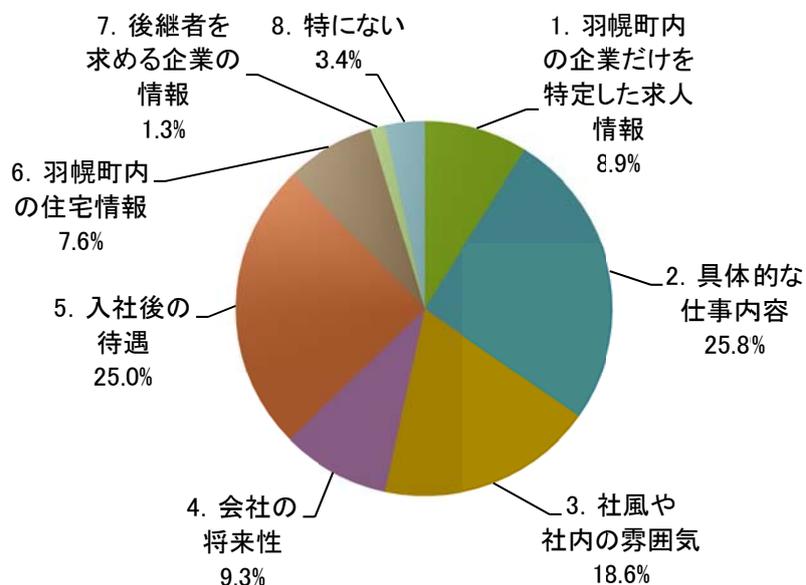
Q3-1. Q3で 1、または、2 をお答えの方への質問です。羽幌町で就職を検討するにあたって、どのような情報があると良いですか。(あてはまるもの全てに○)

羽幌町内で就職するにあたってあると良い情報は、「2. 具体的な仕事内容」が 25.8%と最も多く、続いて「5. 入社後の待遇」が 25.0%、「3. 社風や社内の雰囲気」が 18.6%となっています。

企業の就職案内などにあたっては、これらの情報を提供することが求められています。

表 羽幌町で就職するにあたってあると良い情報

番号	選択肢	回答数
1	羽幌町内の企業だけを特定した求人情報	21
2	具体的な仕事内容	61
3	社風や社内の雰囲気	44
4	会社の将来性	22
5	入社後の待遇（給与条件、休暇等）	59
6	羽幌町内の住宅情報（空家情報、家賃等の諸条件）	18
7	現在は求人していないものの、将来、後継者を求める企業の情報	3
8	特にない	8
合計		236



Q3-2. Q3で3、または、4をお答えの方への質問です。Q3の理由のほか羽幌町で生活するのにどのような問題があると感じていますか。また、どのような工夫をすれば快適な生活を送れると思いますか。(自由に意見を記載)

回答を「羽幌町で生活するにあたっての問題点」と「羽幌町で快適な生活を送るための工夫」に整理すると、以下のとおりとなります。

「羽幌町で生活するにあたっての問題点」は、「商業施設や娯楽施設が少ない」が24件と最も多く、続いて「就職先が少なくやりたい仕事に限られる」が16件、「羽幌町では限界がある」が9件となっています。

「羽幌町で快適な生活を送るための工夫」は、「商業施設や娯楽施設を増やす」が16件と最も多く、続いて「就職する場所を増やす」が7件となっています。

●羽幌町で生活するにあたっての問題点

・商業施設や娯楽施設が少ない：24件	・医療施設が少ない：2件
・就職先が少なくやりたい仕事に限られる：16件	
・住むところが限られる：1件	・羽幌町では限界がある：9件
・子どもの遊び場が少ない：1件	・交通が不便：6件
・大学などが無い：1件	・公共施設が少ない：2件

●羽幌町で快適な生活を送るための工夫

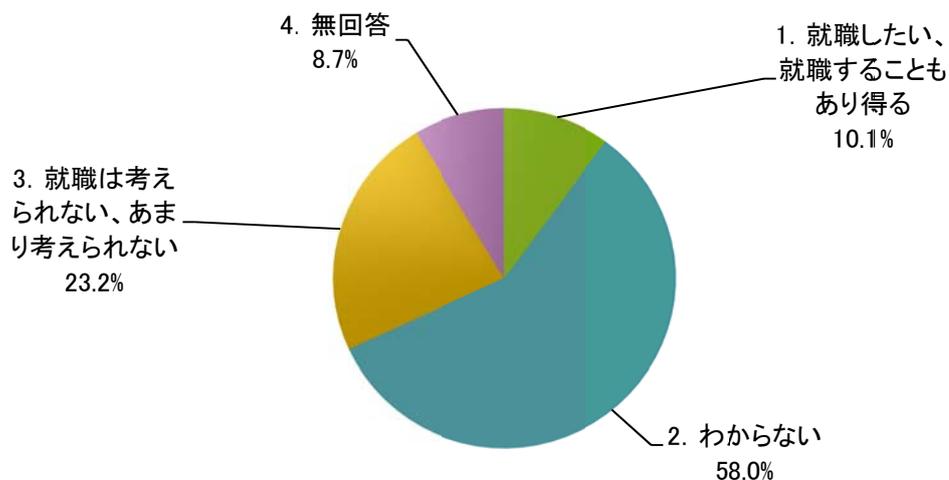
・商業施設や娯楽施設を増やす：16件	・実家で生活する：2件
・就職する場所を増やす：7件	・イベントを増やす：1件
・交通の便を良くする：2件	・子どもを預ける場所を増やす：1件

Q3-3. Q3で3、または、4をお答えの方への質問です。一度、出身地以外に就職し、しばらくたった後、また、出身地に就職（いわゆるUターン）することは考えられますか。（一つに〇）

回答者のUターンの可能性については、「2. わからない」が58.0%、「3. あまり考えられない、全く考えられない」が23.2%となっているのに対し、「1. いずれは出身地で就職したい、または、就職することもあり得る」が10.1%となっています。

表 Uターンの可能性

番号	選択肢	回答数
1	いずれは出身地で就職したい。または、就職することもあり得る	14
2	わからない	80
3	出身地で就職することは、あまり考えられない、または、全く考えられない	32
4	無回答	12
合計		138



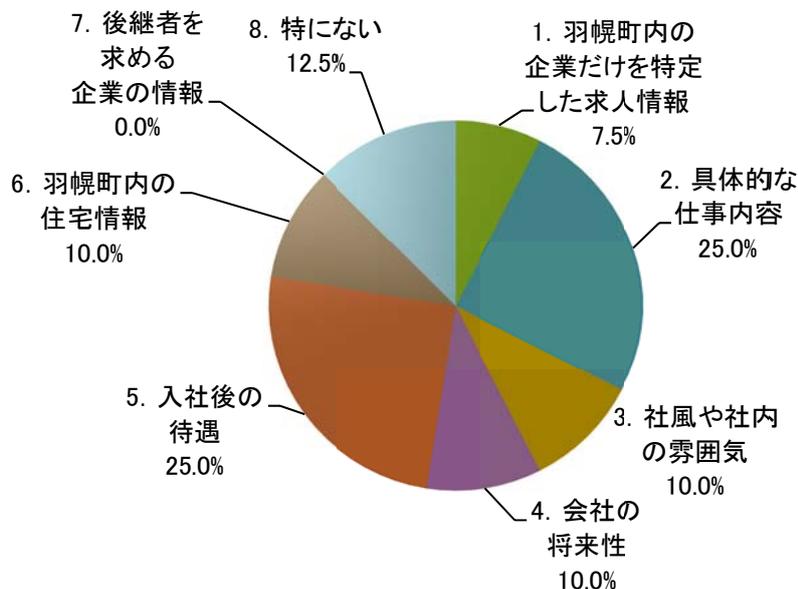
Q3-4. Q3-3で1をお答えの方への質問です。Uターンする場合、どのような情報があると便利だと感じますか。(一つに〇)

羽幌町内にUターンするにあたってあると便利な情報としては、「2. 具体的な仕事の内容」と「5. 入社後の待遇」がそれぞれ25.0%となっています。

Uターンにあたっては、これら情報を提供することが求められています。

表 Uターンするにあたってあると良い情報

番号	選択肢	回答数
1	羽幌町内の企業だけを特定した求人情報	3
2	具体的な仕事内容	10
3	社風や社内の雰囲気	4
4	会社の将来性	4
5	入社後の待遇（給与条件、休暇等）	10
6	羽幌町内の住宅情報（空家情報、家賃等の諸条件）	4
7	現在は求人していないものの、将来、後継者を求める企業の情報	0
8	特にない	5
合計		40



問3. 人口減少対策について、お答えください。

Q1. 羽幌町の人口の減少率を軽減、または、人口を増加させていくためのご意見等がありましたらお書きください。(自由に意見を記載)

自由記述意見について、国の総合戦略における基本目標ごとに「A. 現況課題や方針に関する意見」と「B. 施策に関する意見」に分けて取りまとめました。

下線：主要な意見

国の政策分野	サブタイトル	A. 現況課題や方針に関する意見	B. 施策に関する意見
1. 地方における安定した雇用を創出する	就労環境の創出	<ul style="list-style-type: none"> ●雇用 ・<u>仕事や職場を増やす</u>：17件 	
2. 地方への新しい人の流れをつくる	観光交流の促進	<ul style="list-style-type: none"> ●イベント ・イベントを開催する：6件 ●PR ・羽幌町をアピールして人を呼び込む：9件 	<ul style="list-style-type: none"> ●イベント ・甘えび祭りを増やす：1件 ・プロレスの誘致：1件 ●観光施設 ・リゾート地にする：1件 ●PR ・オロ坊などキャラクター活用：3件
	地域ブランドの創出	<ul style="list-style-type: none"> ●特産品 ・特産品などをつくる：4件 	
	移住・定住	<ul style="list-style-type: none"> ●住宅 ・住むところを増やす：4件 	<ul style="list-style-type: none"> ●移住 ・移住支援金：1件
3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	婚姻率を高める		<ul style="list-style-type: none"> ●婚活 ・お見合いパーティーを開催する：3件
	出生率を高める		<ul style="list-style-type: none"> ●子づくり ・子どもをたくさん産む：4件
	子育て支援		<ul style="list-style-type: none"> ●経済的支援 ・他地域に進学しても戻りたくなる支援制度：1件 ●公共施設 ・幼児から預かれる託児所：1件 ・長時間預かれる託児所：1件

国の政策分野	サブタイトル	A. 現況課題や方針に関する意見	B. 施策に関する意見
4. 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する	都市基盤施設	<ul style="list-style-type: none"> ●公園 ・公園など子どもが遊べるところを増やす：4件 	
	公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ●地域公共交通 ・地域交通の発達：3件 	
	地域コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> ●地域コミュニティ ・福祉施設や高齢者が集まれる場所を増やす：4件 	
	医療	<ul style="list-style-type: none"> ●医療 ・医療施設を充実させる：2件 	<ul style="list-style-type: none"> ●医療 ・整形外科や眼科を誘致する：1件
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ●まちづくり ・まちづくりテーマの検討：12件 (働きやすい、快適で住みやすい、良いまち、にぎわい、有名な、近代的な、花で明るくする、若者が来るまち) ●人口増加 ・人口を増加させる：2件 ●商業娯楽施設 ・商業施設や娯楽施設を誘致する：20件 	<ul style="list-style-type: none"> ●その他 ・その他：6件 (大人ががんばる、人が来るサービス、魅力をつくる、まちをきれいにする、人口ビジョンを公表してPR)

(2) 一般向けアンケート調査

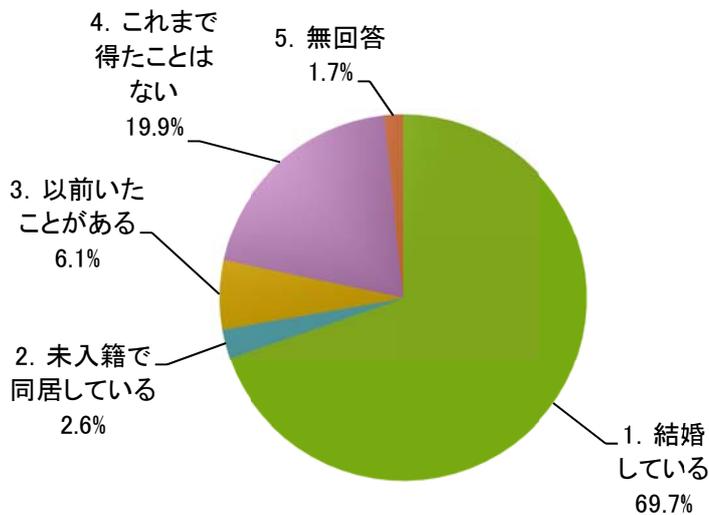
問1. 結婚について、お答えください。

Q1. あなたは結婚していますか。

回答者の結婚の有無は、「1. 結婚している」が69.7%と最も多く、続いて「4. 配偶者・パートナーはこれまで得たことはない」が19.9%となっています。

表 結婚の状況

番号	選択肢	回答数
1	結婚している（配偶者がいる）	241
2	未入籍で同居している（パートナーがいる）	9
3	配偶者・パートナーが以前いたことがある	21
4	配偶者・パートナーはこれまで得たことはない	69
5	無回答	6
合計		346

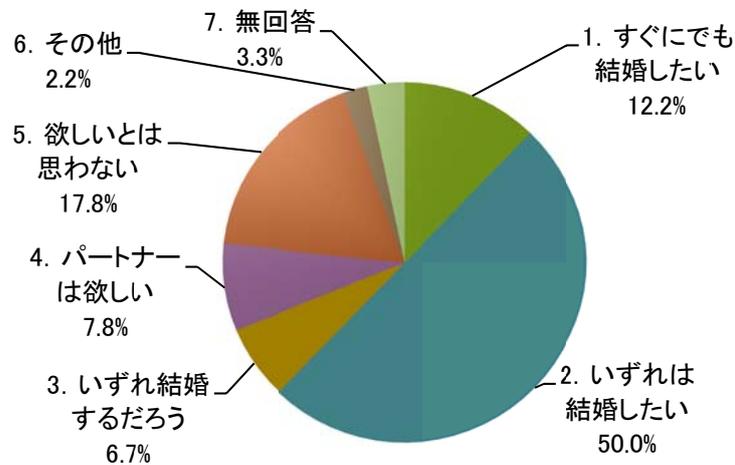


Q1-1. Q1で3、または、4をお答えの方への質問です。今後、結婚したいと思いますか。(一つに〇)

未婚者の結婚希望は、「2. いずれは結婚したい」が50.0%と最も多く、続いて「5. できれば結婚もしたくないし、パートナーも特に欲しいとは思わない」が17.8%となっています。

表 未婚者の結婚希望

番号	選択肢	回答数
1	できればすぐにでも結婚したい	11
2	いずれは結婚したい	45
3	それほどしたくないが、いずれ結婚することになるだろう	6
4	戸籍上の結婚にこだわらないが、パートナーは欲しい	7
5	できれば結婚もしたくないし、パートナーも特に欲しいとは思わない	16
6	その他	2
7	無回答	3
合計		90



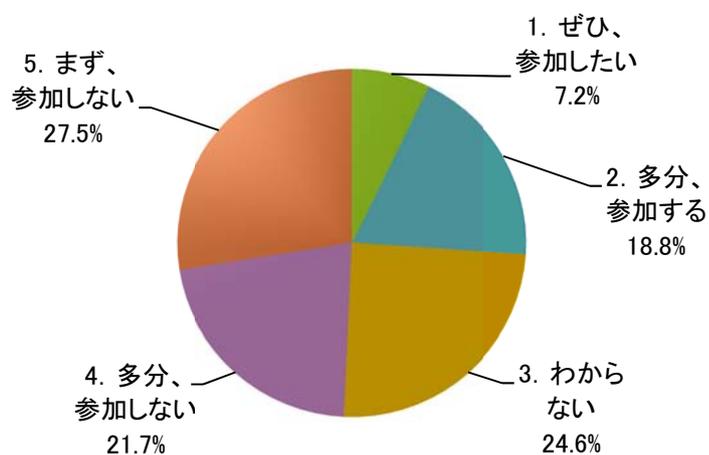
Q1-2. Q1-1で1から4をお答えの方への質問です。婚活事業を行った場合にあなたは参加されますか。(一つに〇)

結婚したい方とパートナーが欲しい方の婚活事業への参加意向については、「5. まず、参加しない」が27.5%と最も多く、続いて「3. わからない」が24.6%となっています。

「1. ぜひ、参加したい」と「2. 多分、参加する」の合計が26.0%に対し、「4. 多分、参加しない」と「5. まず、参加しない」の合計が49.2%となっており、参加しない意向の回答者が多い状況です。

表 婚活事業への参加意向

番号	選択肢	回答数
1	ぜひ、参加したい	5
2	多分、参加する	13
3	わからない	17
4	多分、参加しない	15
5	まず、参加しない	19
合計		69



Q2. 配偶者（パートナー）を得ることによるメリット（いい影響や利点）は、どのようなことだと思いますか。（あてはまるもの全てに○）

Q3. 配偶者（パートナー）を得ることによって生じる問題点は、どのようなことだと思いますか。（あてはまるもの全てに○）

配偶者（パートナー）を得ることによって生じるメリットとデメリットは、総数でメリットが1,082件、デメリットが748件となっています。

メリットの内容は「1. 精神面で安定する」が210件と最も多く、続いて「3. 子どもを産み育てることができる」が208件、「10. 老後について安心感が生まれる」が147件となっています。デメリットの内容は、「6. 配偶者の親や親戚との付き合いが増す」が104件、「9. 生活スタイルが限定される」が99件、「8. 家事・育児などの仕事が増える」が86件となっています。

総合すると、結婚により精神面で安定し子育てできるようになる一方、生活スタイルなどで制約を受けることにデメリットを感じる回答となっています。

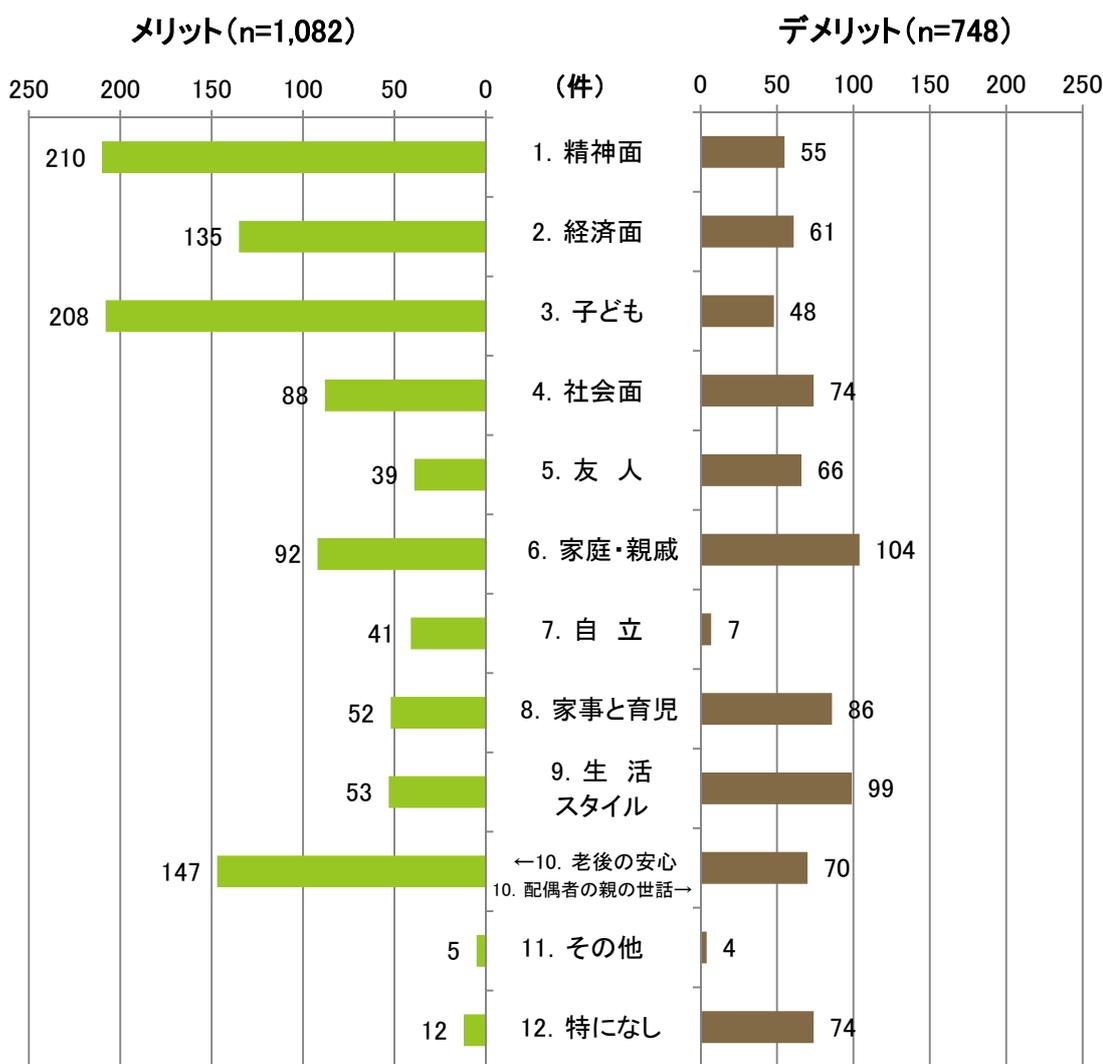


図 配偶者（パートナー）を得ることによるメリットとデメリット

Q4. 配偶者やパートナーと暮らす場合、家事などについてどのように分担し合うことが理想だと思いますか。

Q5. この設問は、配偶者（パートナー）がいる方への質問です。現在、家事などについて配偶者（パートナー）との実際の役割分担は、どのようにしていますか。

Q4、Q5の家事などの役割分担についての理想と実際（現実）を比較すると以下の結果となります。

①生計を立てるための仕事

生計を立てるための仕事は、理想及び実際とも「男性」のウエイトが高く、「男性のみ」と「男性中心」の合計が6割以上を占めます。

②家事

家事は、理想が「女性中心」と「女性のみ」の合計で 62.4%に対し、実際は 88.7%と 26.3 ポイント高く、理想と実際に乖離が見られます。最も乖離が見られる世代別は「40 歳代、50 歳代」で、「女性中心」と「女性のみ」の合計が 21.4 ポイント高くなっています。

③育児

育児は、理想が「女性中心」と「女性のみ」の合計で 53.4%に対し、実際は 70.2%と 16.8%ポイント高く、理想と実際にやや乖離が見られます。最も乖離が見られる世代別は「20 歳代、30 歳代」で、「女性中心」と「女性のみ」の合計が 19.0 ポイント高くなっています。

④家計管理

家計管理は、理想が「女性中心」と「女性のみ」の合計で 47.3%に対し、実際は 67.0%と 19.7 ポイント高く、理想と実際に乖離が見られます。最も乖離が見られる世代別は「20 歳代、30 歳代」で、「女性中心」と「女性のみ」の合計が 20.9 ポイント高くなっています。

⑤子どもの教育

子どもの教育は、理想が「男女同程度」で 49.9%に対し、実際は「女性中心」と「女性のみ」の合計が 46.9%と、理想と実際に乖離が見られます。最も乖離が見られる世代別は「20 歳代、30 歳代」で、「女性中心」と「女性のみ」の合計が 31.0 ポイント高くなっています。

⑥近所や地域での付き合い

近所や地域での付き合いは、「男女同程度」が理想で 50.9%、実際に 37.1%となっており、大きな乖離は見られない状況です。

⑦親の介護

親の介護は、理想が「男女同程度」で45.8%に対し、実際は「性別に無関係」が35.1%となっており、大きな乖離は見られない状況です。

以上から、「40歳代、50歳代」の女性（「②家事」）と、「20歳代、30歳代」の女性（「③育児」、「④家計管理」、「⑤子どもの教育」）について理想と実際に乖離があります。

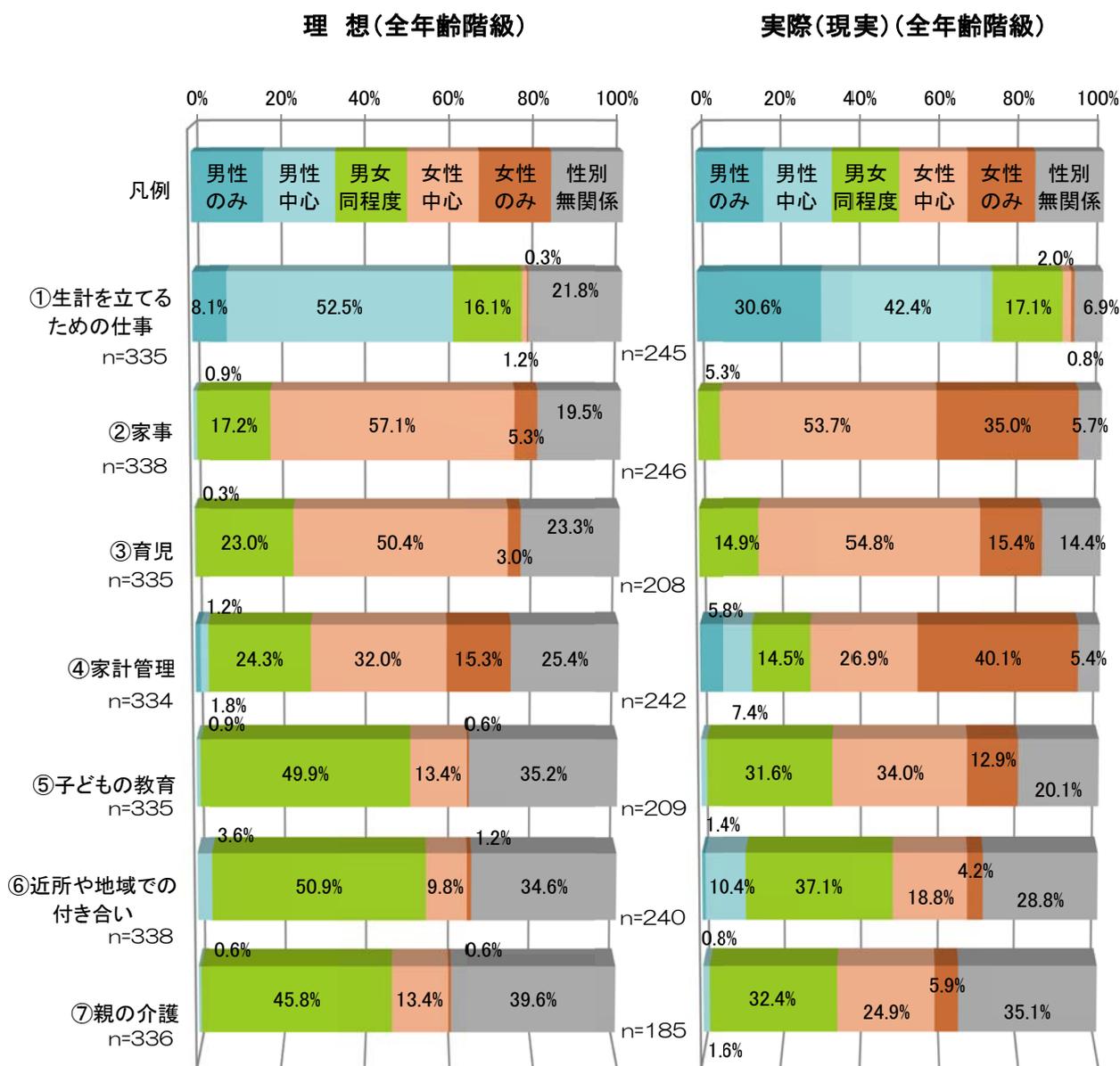


図 配偶者などと暮らす場合の家事などの分担（理想・現実）（全年齢階級）

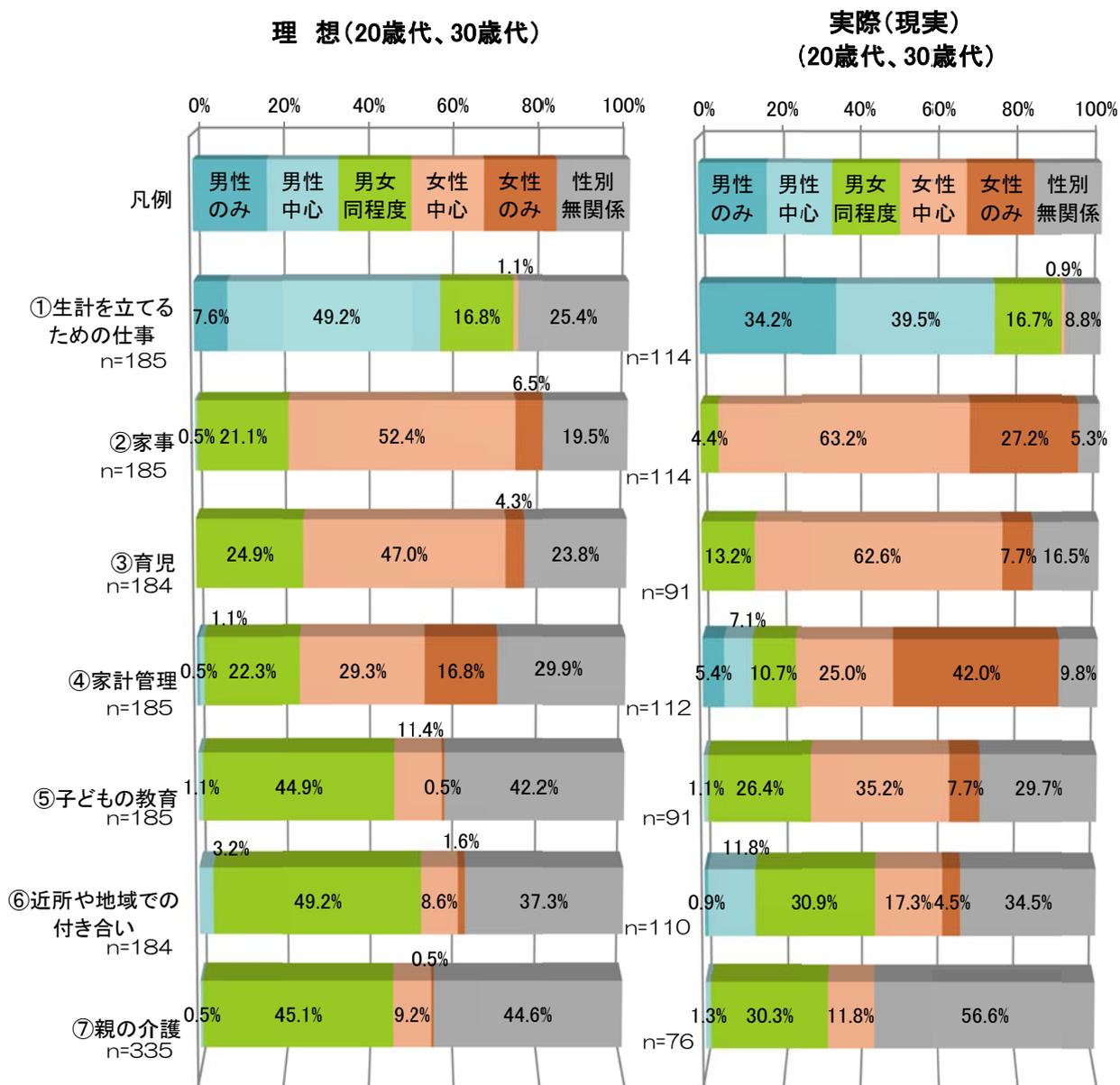


図 配偶者などと暮らす場合の家事などの分担（理想・現実）（20歳代、30歳代）

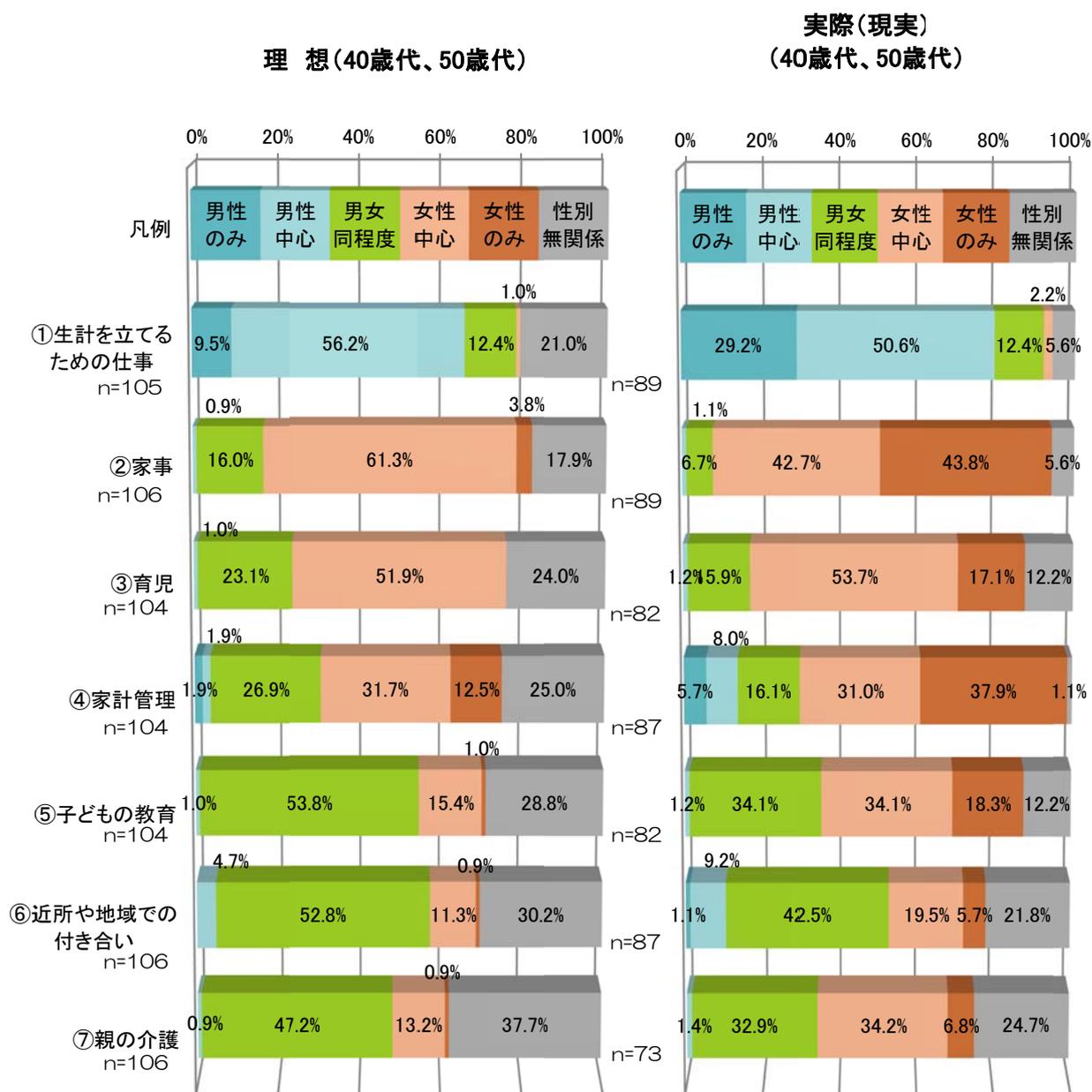


図 配偶者などと暮らす場合の家事などの分担（理想・現実）（40歳代、50歳代）

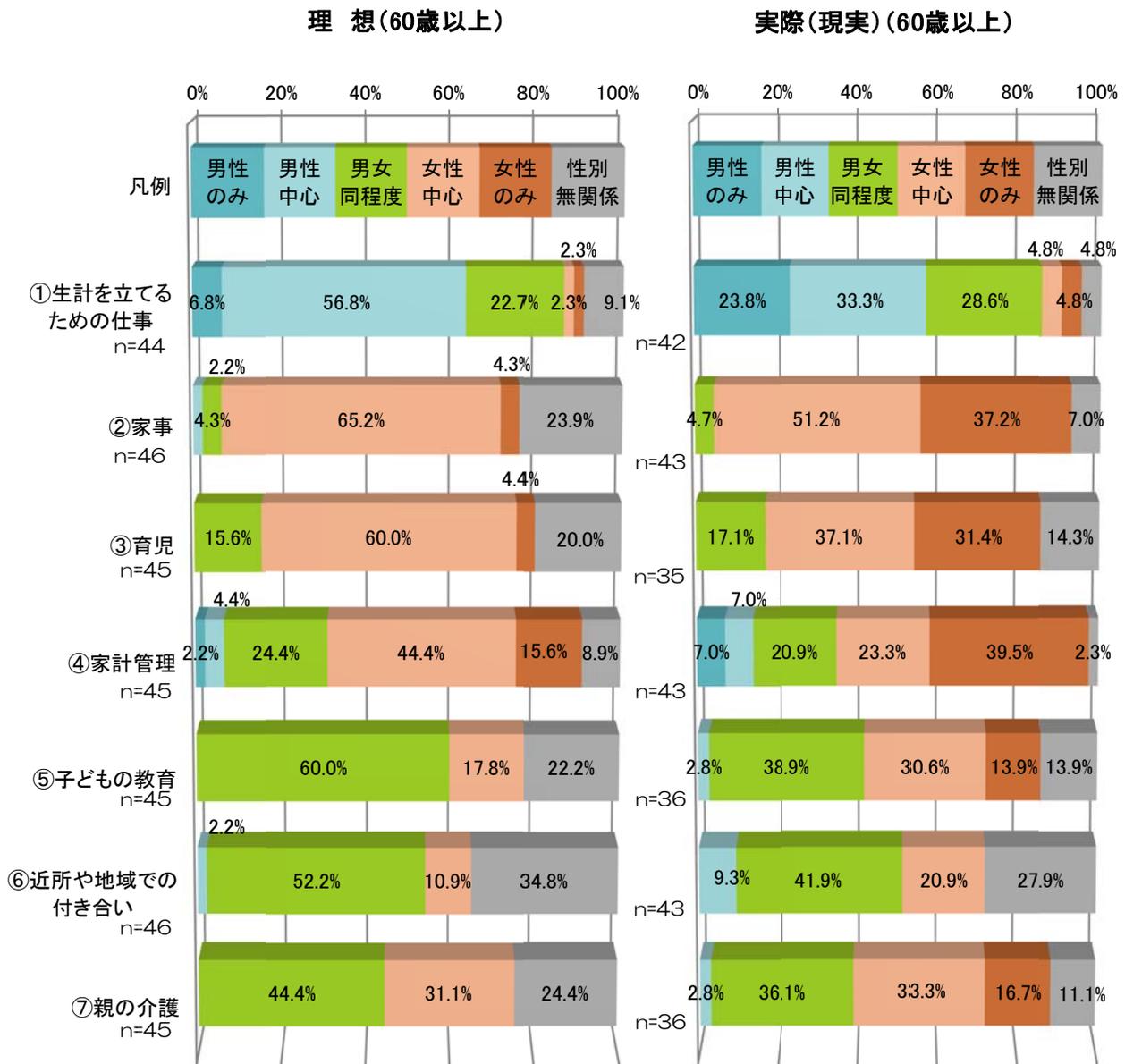


図 配偶者などと暮らす場合の家事などの分担（理想・現実）（60歳以上）

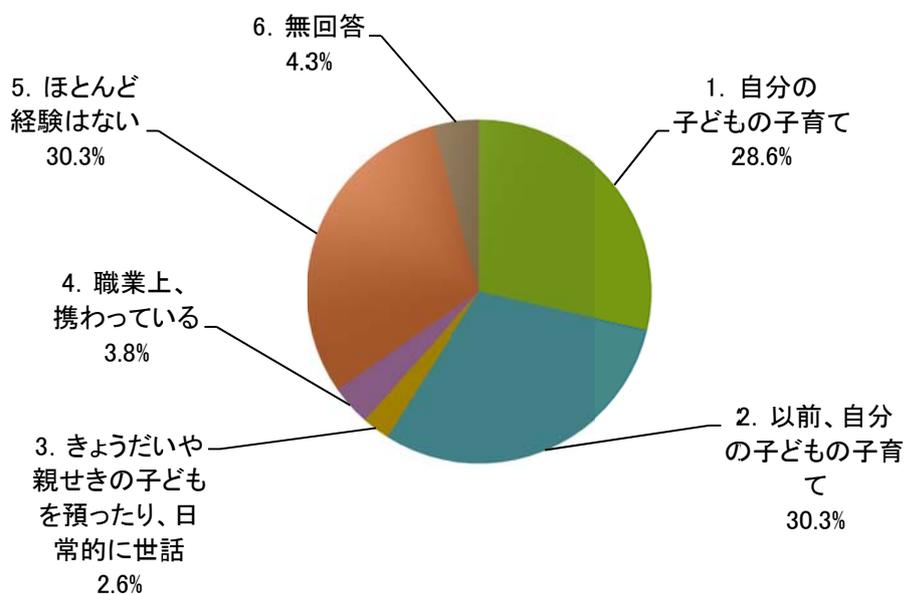
問2. 子育てについて、お答えください。

Q1. あなたはこれまで、小学生までの子ども（乳幼児・児童期）の子育てに関わったことがありますか。（主なもの一つに○）

子育て経験については、「2. 以前、自分の子どもの子育てをしていた」が30.3%と最も多く、続いて「5. 子育てについてほとんど経験がない」が30.3%、「1. 現在、自分の子どもの子育てをしている」が28.6%となっています。

表 子育て経験

番号	選択肢	回答数
1	現在、自分の子どもの子育てをしている	99
2	現在はしていないが、以前、自分の子どもの子育てをしたことがある	105
3	自分の子どもではないが、きょうだいや親せきの子どもを預ったり、日常的に世話をしている（したことがある）	9
4	自分の子どもではないが、職業上、保育や児童の教育に携わっている（携わっていた）	13
5	子育てについて、ほとんど経験はない	105
6	無回答	15
合計		346

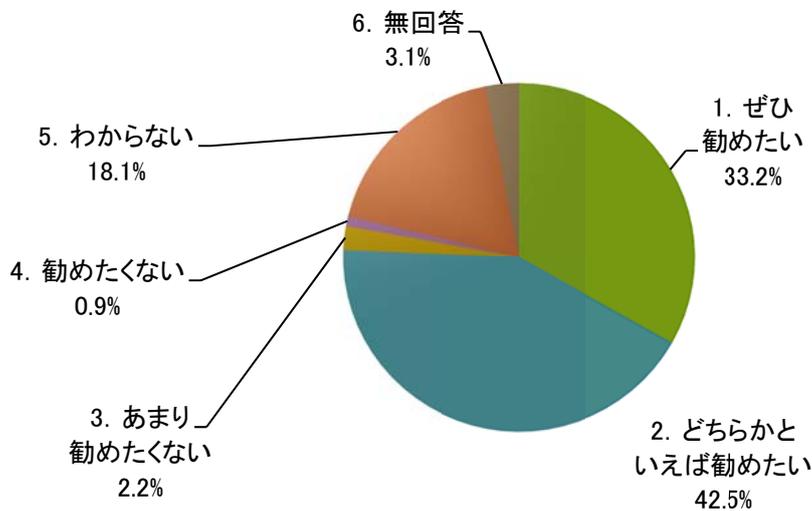


Q1-1. Q1で1から4をお答えの方への質問です。子育て未経験の人に対して、子育て経験をすることを勧めたいと思いますか。(一つに〇)

子育て経験者が考える子育て未経験者への子育て経験の勧めは、「1. ぜひ勧めたい」と「2. どちらかといえば勧めたい」の合計が75.7%となっており、子育て経験を勧める声が大半を占めています。

表 子育て経験の勧め（子育て未経験の方へ）

番号	選択肢	回答数
1	ぜひ勧めたい	75
2	どちらかといえば勧めたい	96
3	あまり勧めたくない	5
4	勧めたくない	2
5	わからない	41
6	無回答	7
合計		226

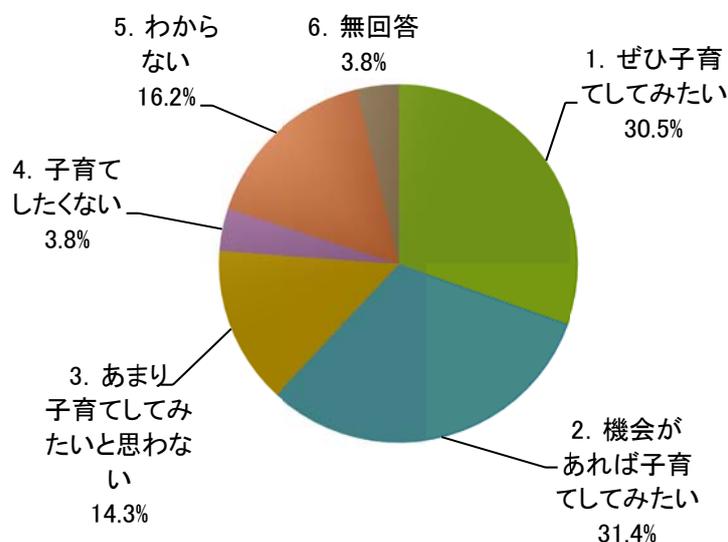


Q1-2. Q1で5をお答えの方への質問です。結婚するかしないかを別にして考えた場合、子育てをしてみたいと思いますか。(一つに〇)

子育て未経験者が考える子育ての希望は、「1. ぜひ子育てしてみたい」と「2. 機会があればしてみたい」の合計が61.9%となっており、子育て経験を希望する声が大半を占めています。子育て経験者の勧めたい傾向と未経験者の経験したい傾向が類似した結果となっています。

表 子育ての希望（子育て未経験者）

番号	選択肢	回答数
1	ぜひ子育てしてみたい	32
2	機会があれば子育てしてみたい	33
3	あまり子育てしてみたいと思わない	15
4	子育てしたくない	4
5	わからない	17
6	無回答	4
合計		105



〔2〕一般向けアンケート調査

Q2. 妊娠、出産、子育てに関する不安は、どのようなところにあると思いますか。(あてはまるもの全てに○)

妊娠、出産、子育てに関しては「女性」の方が不安を多く抱えており、「3. 仕事に集中できない」が112件、「4. 精神的・肉体的に不安が大きい」が106件、「5. 余暇の時間が持てない」が87件と多くなっています。また「8. その他」の内容は、産婦人科などの病院がないという回答が10件ありました。

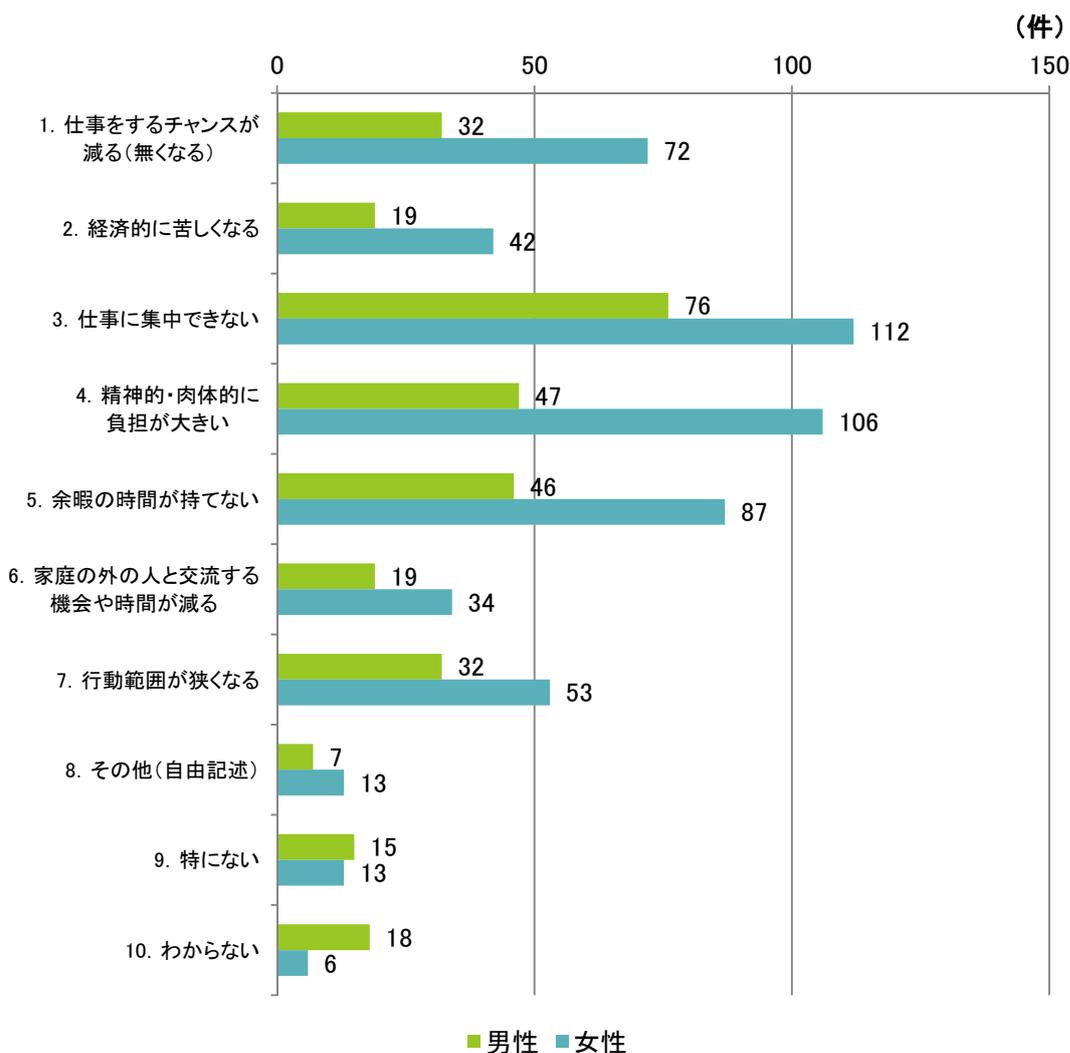


図 妊娠、出産、子育てに関する不安 (男女別) (男性 n=311、女性 n=538)

●その他の内容

- ・病院など施設が少ない(産婦人科など)：10件
- ・夫が協力してくれるかが不安：1件
- ・片親になった時、大変：1件
- ・子どもの年齢制限なく預かってくれるところがないこと：1件
- ・ママ友との交流：1件
- ・質の良い教育：1件

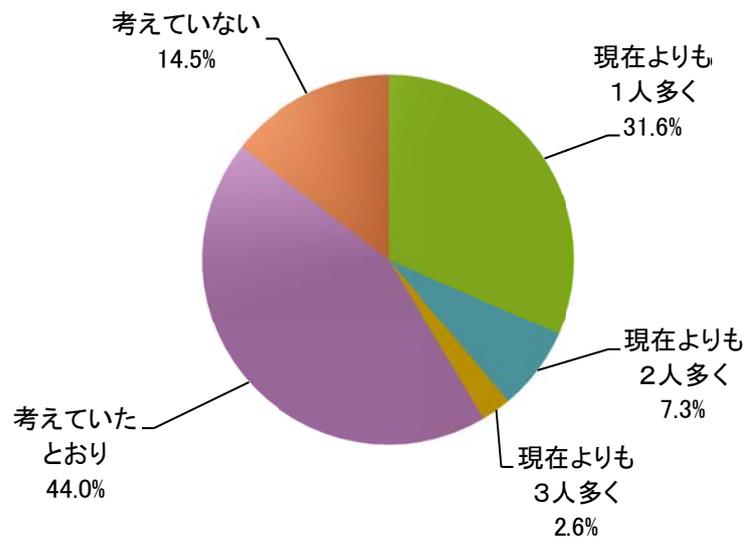
Q3. お子さんは何人ぐらいほしいですか（ほしかったですか）。 （一つに〇）

①現在、お子さんがいらっしゃる方

「現在、お子さんがいらっしゃる方」の希望する子どもの人数は、「現在の子ども数は、考えていたとおりである」が44.0%と最も多く、続いて「現在よりも1人多くほしい（ほしかった）」が31.6%となっています。

表 希望する子どもの人数（お子さんがいらっしゃる方）

番号	選択肢	回答数
1	現在よりも1人多くほしい（ほしかった）	61
2	現在よりも2人多くほしい（ほしかった）	14
3	現在よりも3人多くほしい（ほしかった）	5
4	現在の子ども数は、考えていたとおりである	85
5	子どもの数は考えていない（いなかった）	28
合計		193

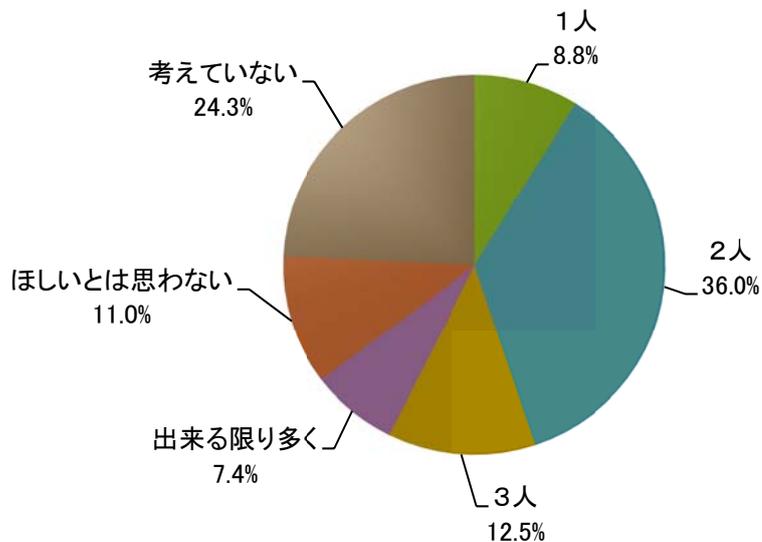


②現在、お子さんがいらっしゃる方

「現在、お子さんがいらっしゃる方」の希望する子どもの人数は、「2人ほしい（ほしかった）」が36.0%と最も多く、続いて「子どもの数は考えていない（いなかった）」が24.3%となっています。

表 希望する子どもの人数（お子さんがいらっしゃる方）

番号	選択肢	回答数
1	1人ほしい（ほしかった）	12
2	2人ほしい（ほしかった）	49
3	3人ほしい（ほしかった）	17
4	出来る限り多くほしい（ほしかった）	10
5	ほしいとは思わない（思わなかった）	15
6	子どもの数は考えていない（いなかった）	33
合計		136



Q4. Q3の「現在、お子さんがいらっしゃる方」で1から3をお答えの方と「現在、お子さんがいらっしゃらない方」への質問です。「考えていたよりもお子さんの数が少ない理由」、あるいは、「お子さんがいらっしゃらない理由」について、該当するものがあればお答えください。(三つまで〇)

「現在、お子さんがいらっしゃる方」が考えていたよりも子どもの人数が少ない理由は、「4. 家計にゆとりがほしい(ほしかった)」が34件と最も多く、続いて「10. 教育費がかかる」が30件となっています。理想の子ども的人数を実現するためには、家庭の経済事業が大きく左右することがわかります。

一方、「現在、お子さんがいらっしゃらない方」のお子さんがいらっしゃらない理由は、「結婚していない」が65件と最も多く、続いて「子どもはほしいと考えている(考えていた)」が37件となっています。

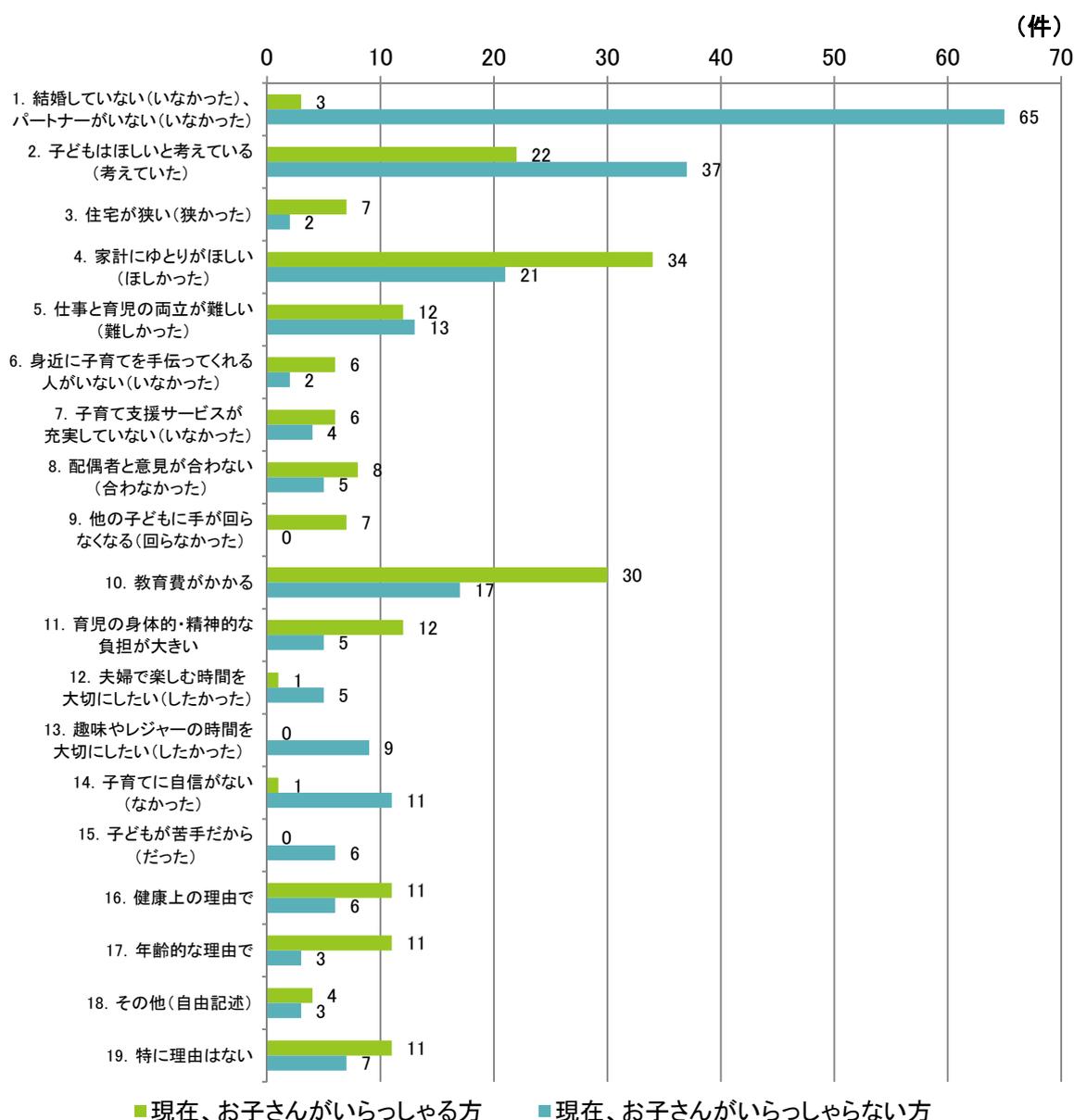


図 考えていた子どもの数が少ない理由

(お子さんがいらっしゃる方 n=186・お子さんがいらっしゃらない方 n=221)

Q5. 羽幌町は、子育てしやすい環境にあると思いますか。(一つに〇)

羽幌町での子育てのしやすさは、「1. 子育てしやすい」と「2. やや子育てしやすい」の合計が34.7%、「3. やや子育てしづらい」と「4. 子育てしづらい」の合計が36.2%となっており、「子育てしやすい」と「子育てしづらい」は概ね同数です。これを男女別に見た場合、男性の方がやや子育てしづらいと感じられる傾向にあります。

表 羽幌町での子育てのしやすさ

番号	選択肢	回答数
1	子育てしやすい	26
2	やや子育てしやすい	94
3	やや子育てしづらい	66
4	子育てしづらい	59
5	わからない	84
6	無回答	17
合計		346

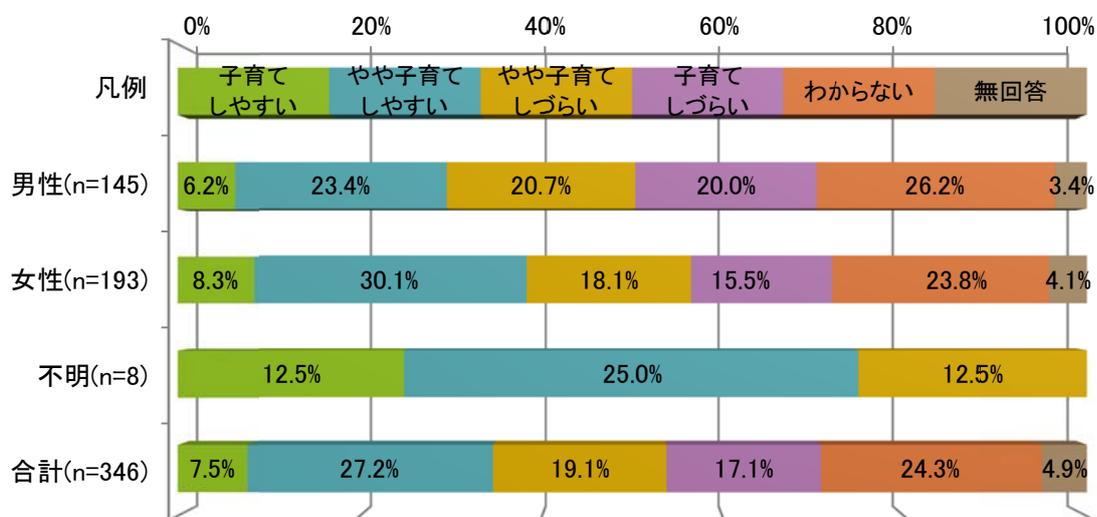
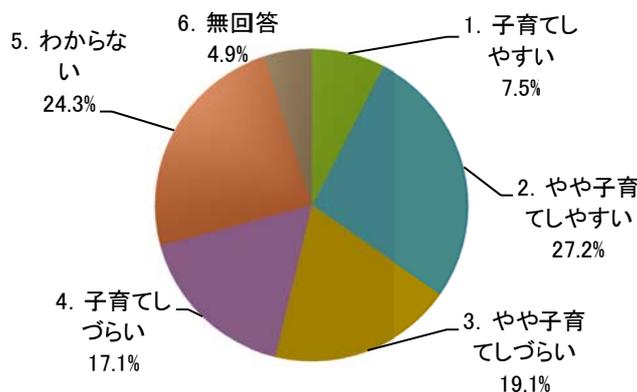


図 羽幌町での子育てのしやすさ (男性・女性)

Q6. 妊娠や出産、子育てをするにあたって、どのような支援策があれば良いと思いますか。特にあてはまるものをお答えください。(三つまで〇、一部必要な事項を記載)

妊娠や出産、子育てのための支援策は、「3. 保育所の保育費の負担を軽減する」が124件と最も多く、続いて「6. 幼稚園の入園料や月々の保育料を軽減する」が119件、「11. 子どもの遊び場を増やす」が114件となっています。

上位2つが経済的な支援で、第3位が子どもの遊び場を代表とする子育て環境となっています。

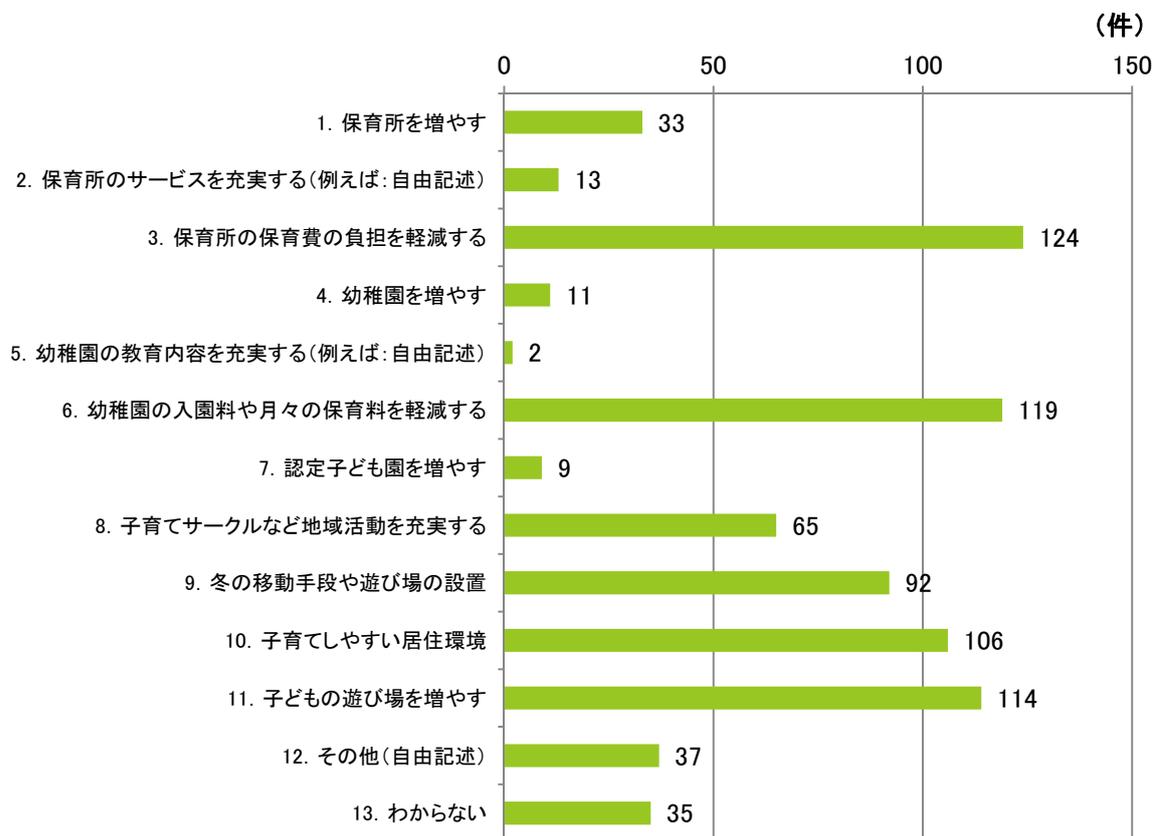


図 妊娠や出産、子育てのための支援策 (n=760)

●2. 保育所のサービスを充実する（例えば：自由記載）

- | | | |
|------------------------|-------------------|---------------|
| ・病気の児童も預かってくれるところ：2件 | ・夜間も預かってくれるところ：1件 | |
| ・学童保育：1件 | ・保育園の建替え：1件 | ・児童送迎のサービス：1件 |
| ・早朝から深夜まで預かってくれるところ：1件 | | |

●5. 幼稚園の教育内容を充実する（例えば：自由記述）

- | |
|-------------------|
| ・現在は、教育というレベルではない |
|-------------------|

●12. その他自由記述

- | | |
|--|------------------|
| ・医療施設の充実（産婦人科、小児科）：17件 | |
| ・経済的な支援（出産祝い金、予防接種、出産失業給付、出産費用、育児助成金）：8件 | |
| ・幼稚園や保育園への送迎サービス：1件 | ・育児休暇制度の導入：1件 |
| ・屋内の遊び場：1件 | ・小中高校の充実：1件 |
| ・病気の児童も預かってくれるところ：1件 | ・教室数の充実：1件 |
| ・若い世代の育児教室の開催：1件 | ・保育園への入園要件の緩和：1件 |

Q7. 地域ぐるみで子育てを支援しようという子育て支援サービスや託児ボランティアなどがあれば、あなたは利用したり、または、担い手（サービス提供側）として参加してみたいと思いますか。（それぞれ一つに〇）

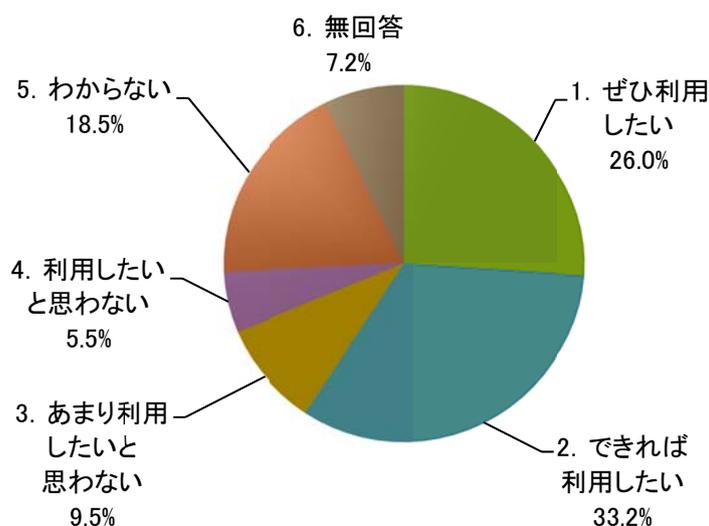
①子育て支援サービスを受ける立場として

（現在、子育てしていない方は、子育てしていると想定して）

地域による子育て支援の利用については、「2. できれば利用したい」が33.2%と最も多く、続いて「1. ぜひ利用したい」が26.0%となっており、合計すると約6割の方が「利用したい」と回答しています。

表 地域による子育て支援の利用

番号	選択肢	回答数
1	ぜひ利用したい	90
2	できれば利用したい	115
3	あまり利用したいと思わない	33
4	利用したいと思わない	19
5	わからない	64
6	無回答	25
合計		346



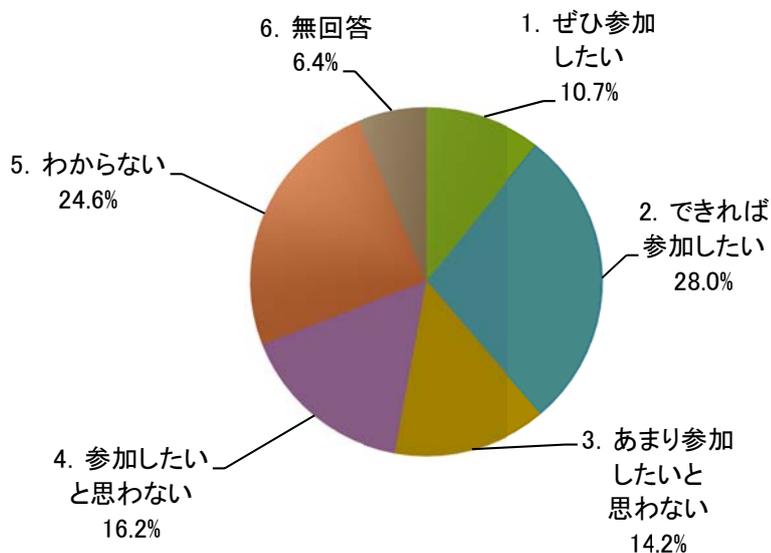
②子育て支援サービスの担い手（提供者）として

地域による子育て支援への参加については、「2. できれば参加したい」が 28.0%と最も多く、続いて「5. わからない」が 24.6%となっています。

サービスの中心となる組織づくりや、「5. わからない」と考える層を対象とした啓蒙活動など、地域による子育て支援について検討していくことが考えられます。

表 地域による子育て支援への参加

番号	選択肢	回答数
1	ぜひ参加したい	37
2	できれば参加したい	97
3	あまり参加したいと思わない	49
4	参加したいと思わない	56
5	わからない	85
6	無回答	22
合計		346



問3. 人口減少対策について、お答えください。

Q1. 婚姻率を高める方法として、効果的と思われる方法がありましたらお書きください。(自由に意見を記載)

自由記述意見について、国の総合戦略における基本目標である「3. 若者の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」の「結婚」に関わる内容を、「A. 現況課題や方針に関する意見」と「B. 施策に関する意見」に分けて取りまとめました。

下線：主要な意見

国の政策分野	サブタイトル	A. 現況課題や方針に関する意見	B. 施策に関する意見
3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	婚姻率を高める	<ul style="list-style-type: none"> ●雇用 ・<u>収入を安定させる、男性の収入を増加させる、結婚生活に必要な収入を得る：20件</u> ・<u>職場を確保する：20件</u> ・<u>若い世代の雇用を創出する、青年男女が就職できる、共稼ぎできる：15件</u> ・職場を選べる環境をつくる：1件 ・男が働き女は家庭を守る：1件 ●婚活 ・<u>出会いの場をつくる(若者・中高年・お見合い)：25件</u> ・理想を高く持たない：1件 ●住宅 ・住宅の確保：6件 ●その他 ・<u>羽幌町の魅力を高める：12件</u> ・羽幌町は離婚率が高い：2件 ・必要な施設を整える：1件 ・転入者を受け入れる：1件 ・変化のあるライフスタイルをつくる：1件 ・結婚の良い面をアピールする：1件 ・出産への不安の解消：1件 ・いい事例を見つける：1件 ・検証を行う：1件 	<ul style="list-style-type: none"> ●雇用 ・定時での帰宅：3件 ・職を斡旋する場所を確保する：1件 ・男女を一定割合で雇う：1件 ・老人介護施設を誘致する(若者の雇用)：1件 ・男女が平等に働ける：1件 ●婚活 ・<u>パーティー・合コンの開催：12件</u> ・TVの番組放送：6件 ・結婚斡旋業：3件 ・都市と町村で婚活支援：3件 ・成人講座：3件 ・農業や漁業の体験型婚活イベント：1件 ・自分でみつける：1件 ・行政の施策として推進：1件 ・他市町村と女性を入れかえる：1件 ・婚活イベントの開催：1件 ・男女の出会いの場として介護施設を誘致：1件 ・幸せな結婚事例の紹介：1件 ・再婚がみとめられる風潮：1件 ・スポーツを通して異性と知り合う：1件 ●経済的支援 ・<u>経済的な支援(税制・住宅・子育て・出産・結婚)：15件</u> ●住宅 ・<u>住宅の確保(民間・公共)：10件</u> ●出産・子育て ・出産、子育てのための施設を整える：5件 ●その他 ・施設を確保(大学、特色ある高校、商業、レジャー)：3件 ・学校授業で婚姻率を高める教育を行う：1人

Q2. 出生率を高める方法として、効果的と思われる方法や希望する支援などがありましたらお書きください。(自由に意見を記載)

自由記述意見について、国の総合戦略における基本目標である「3. 若者の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」の「出産」に関わる内容を、「A. 現況課題や方針に関する意見」と「B. 施策に関する意見」に分けて取りまとめました。

下線：主要な意見

国の政策分野	サブタイトル	A. 現況課題や方針に関する意見	B. 施策に関する意見
3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	出生率を高める	<ul style="list-style-type: none"> ●経済的支援 ・子育て世帯に対する助成：7件 ・金銭的な支援：6件 ・不妊治療などへの支援：2件 ・出産後の特典：1件 ・税負担をなくす：1件 ・出産件数が増えるほど楽になるような制度、支援の充実：1件 ・教育費の出費が多く大変：1件 <ul style="list-style-type: none"> ●医療施設 ・羽幌町で出産可能な医療体制の確立：7件 ・医療体制の充実化：6件 ・産婦人科と小児科の医療体制の整備：3人 ・小児医療の充実：1件 	<ul style="list-style-type: none"> ●経済的支援 ・<u>お祝い金、補助金、出産手当の制度を設ける</u>：23件 ・出産するまでの間の病院代、交通費の補助：4件 ・保育料、幼稚園、学費の無料化：3件 ・子育て世代の税制面での優遇：2件 ・保育所や幼稚園、託児所などの利用料の軽減：2件 ・教育費助成：2件 ・塾代助成：2件 ・手当を出して病院代や保育料を安くし負担を軽くする：2件 ・育休の給付制度の充実：2件 ・羽幌町ならではのお祝い品：2件 ・不妊治療に対する費用の補助：2件 ・育児用品などの割引チケットの配付する：1件 ・各ワクチンの補助やオムツ代の補助：1件 ・医療費負担の継続：1件 ・未就学児の公的サービスの無料化：1件 ・給食費を自治体で負担：1件 <ul style="list-style-type: none"> ●医療施設 ・<u>羽幌町で出産できる産婦人科の確保</u>：17件 ・<u>羽幌町での小児科、産婦人科医の常勤化</u>：11件 ・病院が欲しい：1件

国の政策分野	サブタイトル	A. 現況課題や方針に関する意見	B. 施策に関する意見
3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	出生率を高める	<p>●子育て環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援：5件 ・仕事と育児がしやすい環境：4件 ・子育てしやすい支援・環境の提供：3件 ・子どもを気軽に預けられる場所を設ける：2件 ・横のつながりのある町全体の子育てサポート：2件 ・広めの町営住宅に入れず、2人目、3人目の出産にふみきれない：1件 ・出産後のフォローも考えた行政：1件 <p>●その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収入の安定、向上：5件 ・保育、教育サービスの充実化：2件 ・生活の安定：2件 ・若い時代の人を教育する：1件 	<p>●子育て環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育所、託児所やベビーシッターの充実：5件 ・一時的にも託児できる施設をつくる：3件 ・出産、育児に関する勉強会の実施：3件 ・子どもを遊ばせる場所の確保：2件 ・土・日に託児できる場の増加：1件 ・講習を受けた60歳以上の町民による安価なベビーシッター：1件 ・子どもが病気でも預けられるような場所や施設の確保：1件 ・留守家庭児童、児童館、習い事など、放課後子どもを見てくれるサービスの充実：1件 ・子どもが増えた世帯のための住宅を充実させる：1件 ・妊娠可能な世帯に、必要な支援や不安などに対する支援を聞き取る：1件 ・男女問わずに希望者全員の育児休業を認める：1件 <p>●その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生や中学生が幼児と触れ合う機会をつくり、子どもが身近な存在になるようにする：2件

Q3. 若者等の職を確保するために、どのような産業分野を重点的に支援することが良いと考えますか。(三つまで〇)

若者等の職を確保するための重点産業分野は、「10. 医療・福祉産業」が139件と最も多く、続いて「4. 水産業」が104件、「1. 農業」が101件となっています。これらの選択肢は、地方創生に関わりの深い日本版 CCRC※の推進や農業、水産業及び観光など基幹産業の振興に関連する産業分野であり、今後、地域振興を見据えた支援が求められています。

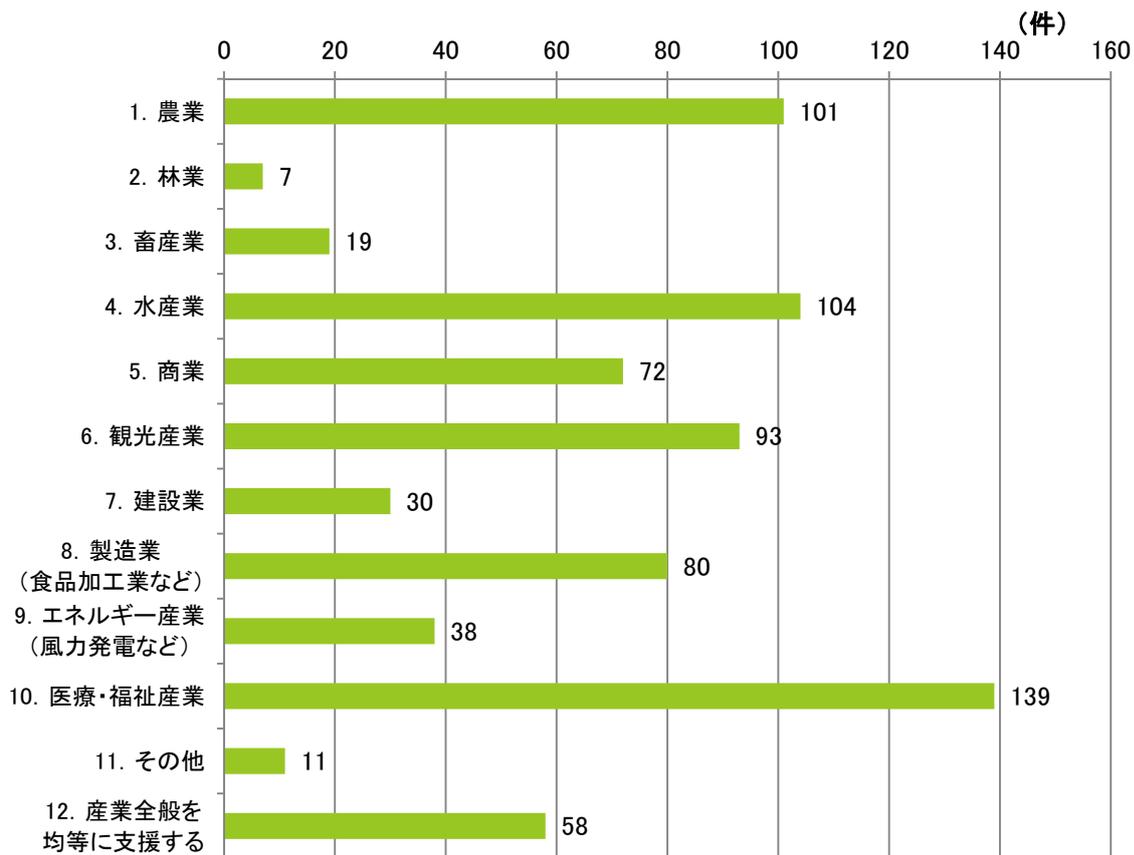


図 若者等の職を確保するための重点産業分野 (n=752)

※：日本版 CCRC とは…「東京圏をはじめとする高齢者が、自らの希望に応じて地方に移り住み、地域社会において健康でアクティブな生活を送るとともに、医療介護が必要な時には継続的なケアを受けることができるような地域づくり」

日本版 CCRC 構想(素案)(2015.6 日本版 CCRC 構想有識者会議)より

Q4. その他、人口減少対策に効果的と思われる方法がありましたらお書きください。(自由に意見を記載)

自由記述意見について、国の総合戦略における基本目標ごとに「A. 現況課題や方針に関する意見」と「B. 施策に関する意見」に分けて、取りまとめました。

下線：主要な意見

国の政策分野	サブタイトル	A. 現況課題や方針に関する意見	B. 施策に関する意見
1. 地方における安定した雇用を創出する	基幹産業の育成・支援	<ul style="list-style-type: none"> ●基幹産業振興 ・第1次産業の担い手として雇用を創出：4件 ●企業誘致 ・企業誘致：3件 	<ul style="list-style-type: none"> ●新規就農 ・新規就農者への土地や住宅などの支援：2件 ●企業誘致 ・刑務所、原子力、自衛隊、食品加工会社、カジノを誘致：5件 ・自然を活かした企業を誘致：1件 ・土地の無償貸与：1件
	地元産業の育成・支援	<ul style="list-style-type: none"> ●企業育成 ・企業を支援して仕事や雇用を創出する：5件 	
	就労環境の創出	<ul style="list-style-type: none"> ●雇用 ・<u>若者、女性などを含めた雇用の確保：29件</u> ・収入増加：4件 ・就業支援：1件 	<ul style="list-style-type: none"> ●雇用 ・空店舗を活用した雇用創出：1件 ・正社員化：1件
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税の拡大：1件 	
2. 地方への新しい人の流れをつくる	観光交流の促進	<ul style="list-style-type: none"> ●イベント ・イベントの充実：2件 ●観光施設 ・観光施設の整備：1件 ・観光振興：1件 	<ul style="list-style-type: none"> ●観光施設 ・新たな観光スポット（化石、桜並木、海岸線のカフェ）：4件 ・PR（天売・焼尻、化石、甘エビ）：3件 ●観光バス ・観光無料バスの運行：1件
	地域ブランドの創出		<ul style="list-style-type: none"> ●地域ブランド ・流行に左右されないもの：1件 ・地域ブランドを考える体制づくり：1件 ・コメや水産物の活用：1件
	移住・定住	<ul style="list-style-type: none"> ●移住 ・移住支援策の検討：5件 ●住宅 ・<u>住宅の確保（住環境、高齢者と若者、離島）：11件</u> ・若者にとって住みよく魅力あるまちづくり：8件 	<ul style="list-style-type: none"> ●移住 ・移住支援金などの検討：7件 ・移住者への住宅提供：2件 ・移住者相談・PR：2件 ●住宅 ・住宅を増やす（公営住宅、単身者住宅、新築建築支援）：3件

〔(2) 一般向けアンケート調査〕

国の政策分野	サブタイトル	A. 現況課題や方針に関する意見	B. 施策に関する意見
3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	婚姻率を高める		●婚活 ・若者の婚活支援：1件
	出生率を高める		●経済的支援 ・出産への経済的支援：1件 ●その他 ・結婚にとらわれない出産：1件
	子育て支援	●子育て支援 ・子育て支援の推進：2件 ●病院 ・子育てのための病院利便性向上：1件	●経済的支援 ・子育てへの経済的な支援：2件 ●公共施設 ・図書館の利用方法検討：1件 ・屋内遊び場：1件
	教育環境の向上	●教育 ・教育レベルの向上：2件	●高校 ・羽幌高校支援及び水産高校併設：3件 ●大学 ・大学の誘致：1件
4. 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する	エネルギー		●エネルギー ・エネルギーの自給自足（バイオマスや風力）：1件
	公共交通	●地域公共交通 ・利便性の向上：2件	●地域公共交通 ・市街地循環バスの充実：1件
	介護	●福祉 ・福祉の充実：3件 ・福利厚生施設の充実：1件	●福祉 ・老人ホームや福祉住宅の建設：3件
	医療	●医療 ・医療の充実：6件	
	地域コミュニティ	●地域コミュニティ ・地域コミュニティの場の確保：1件	●地域連携 ・周辺町村との連携：1件
	その他	●その他 ・商業娯楽施設の誘致：6件 ・まちづくりテーマの検討：4件 ・住民や事業者の意識改革：2件 ・生活利便施設の充実：2件	

問4. 最後にあなた自身について、お答えください。

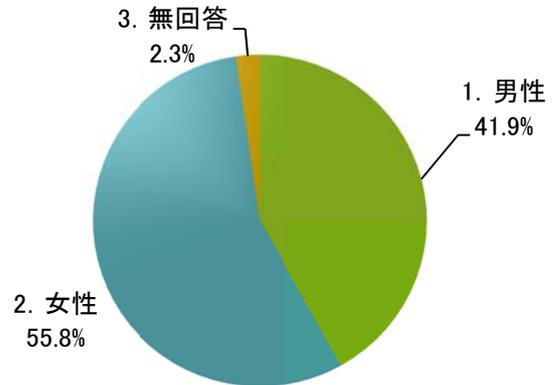
Q1. 性別と年齢をお答えください。(一つに〇)

①性別

回答者の性別は、「女性」が55.8%、「男性」が41.9%となっています。

表 性別

番号	選択肢	回答数
1	男性	145
2	女性	193
3	無回答	8
合計		346

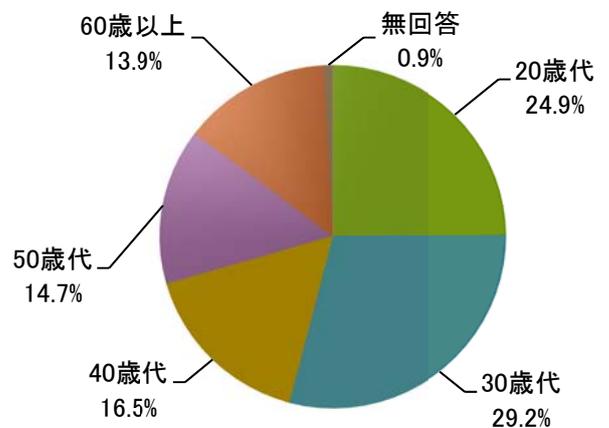


②年齢

回答者の年齢構成は、「30 歳代」が29.2%と最も多く、続いて「20 歳代」が24.9%、「40 歳代」が16.5%となっており、20～30 歳代の回答者が半数以上を占めています。

表 年齢階級

番号	選択肢	回答数
1	20 歳代	86
2	30 歳代	101
3	40 歳代	57
4	50 歳代	51
5	60 歳以上	48
6	無回答	3
合計		346

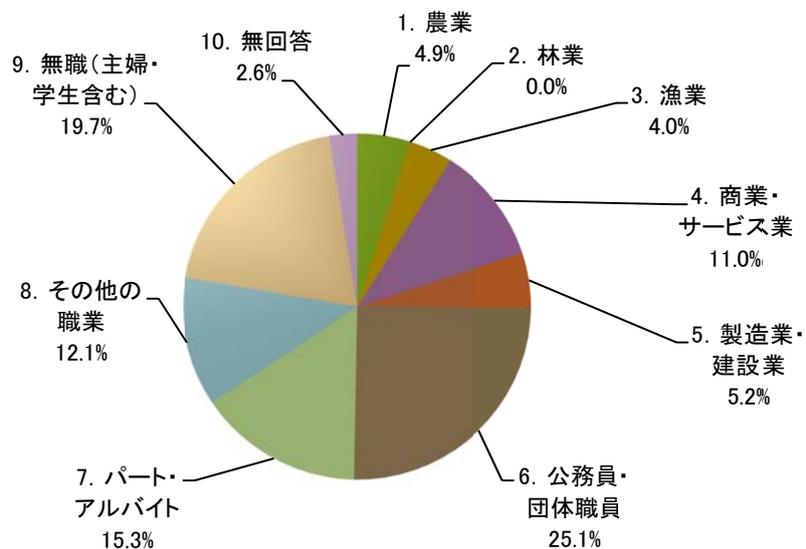


Q2. 職業をお答えください。(一つに〇)

回答者の職業は、「6. 公務員・団体職員」が25.1%と最も多く、続いて「9. 無職（主婦・学生含む）」が19.6%、「7. パート・アルバイト」が15.3%となっています。

表 職業

番号	選択肢	回答数
1	農業	17
2	林業	0
3	漁業	14
4	商業・サービス業	38
5	製造業・建設業	18
6	公務員・団体職員	87
7	パート・アルバイト	53
8	その他の職業	42
9	無職（主婦・学生含む）	68
10	無回答	9
合計		346



Q3. 現在、あなたは、どなたと同居していますか。(あてはまるもの全てに○)

同居している方の属性は、「2. 配偶者(パートナー)」が229件と最も多く、続いて「4. 子ども」が126件、「3. 親」が93件となっています。

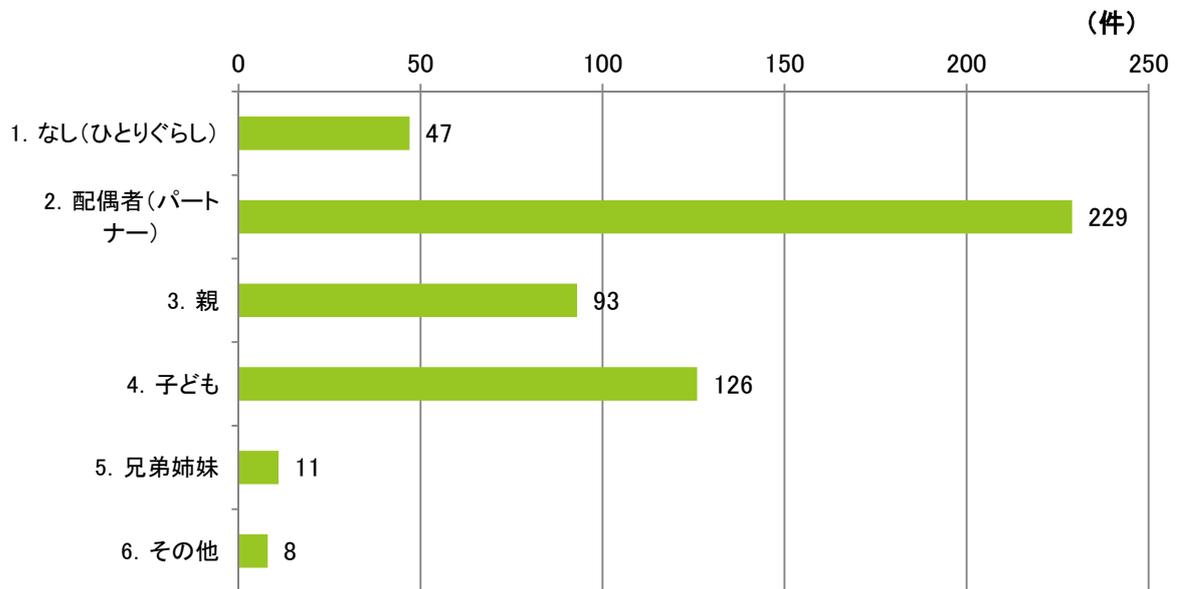


図 同居している方の属性 (n=514)

Q4. お子さんの人数について、お答えください。(人数を記載)

お子さんの人数は、「1人」が最も多く45.4%と最も多く、続いて「2人」が40.5%となっています。お子さんの居住地は、「同居」が53.8%と最も多く、続いて「別居（町外で生活）」が35.9%、「別居（町内で生活）」が10.3%となっています。

表 お子さんの人数（居住地別）（回答者数）

項目	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	合計
同居	60	59	12	7	1	1	1	141
別居（町内で生活）	20	4	3	0	0	0	0	27
別居（町外で生活）	39	43	11	1	0	0	0	94
合計	119	106	26	8	1	1	1	262

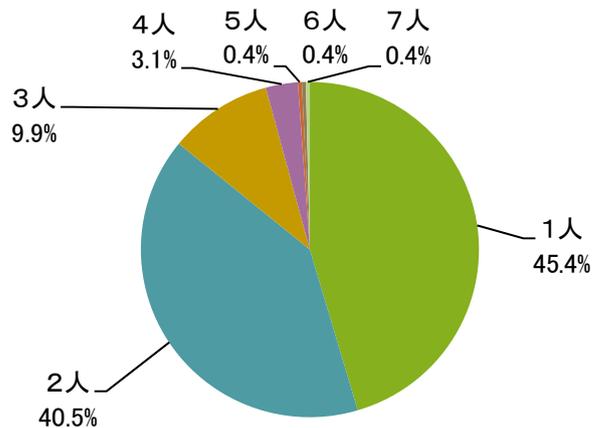
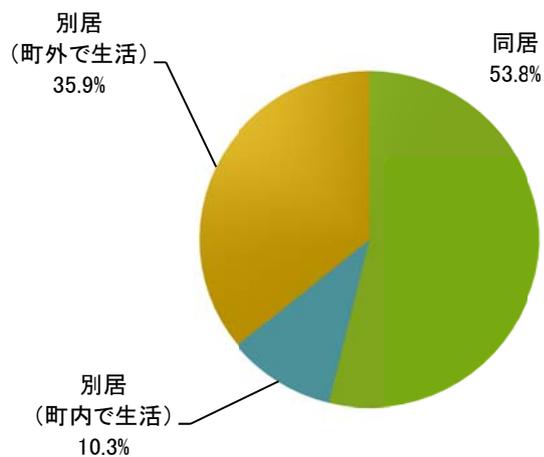


表 お子さんの居住地（回答者数）

番号	選択肢	回答数
1	同居	141
2	別居（町内で生活）	27
3	別居（町外で生活）	94
合計		262



Q5. お子さんの年齢について、お答えください。(あてはまるもの全てに○、人数を記載)

お子さんの年齢と人数及び高校生以上の町内外の内訳は、下表のとおりです。

表 お子さんの年齢と人数（回答者数）

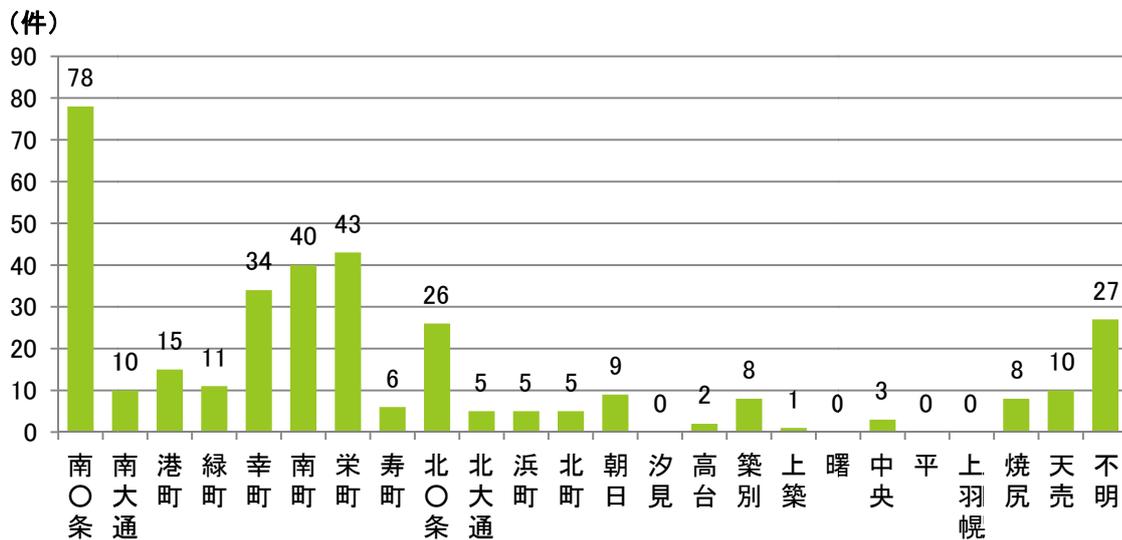
項 目	1人	2人	3人以上	小計 人数
1. 保育園児、または、認定こども園保育部門	7	4	0	11
2. 幼稚園児、または、認定こども園幼稚園部門	21	7	0	28
3. 1と2以外の未就学児	29	7	0	36
4. 小学生	30	13	1	44
5. 中学生	22	3	0	25
6. 高校生	12	0	1	13
7. 18歳以上の学生（大学生・専門学校生など）	11	4	1	16
8. 18歳以上の学生以外の方	17	47	14	78
合 計	149	85	17	251

表 高校生以上の町内外の内訳（お子さんの人数）

項 目	町内	町外	小計
6. 高校生	6	9	15
7. 18歳以上の学生（大学生・専門学校生など）	0	22	22
8. 18歳以上の学生以外の方	47	110	157
合 計	53	141	194

Q6. あなたのお住まいをお答えください。(一つに〇)

回答者の行政区は、「南〇条」が78件と最も多く、続いて「栄町」が43件、「南町」が40件となっています。



南〇条：南1条～南7条、北〇条：北1条～北6条

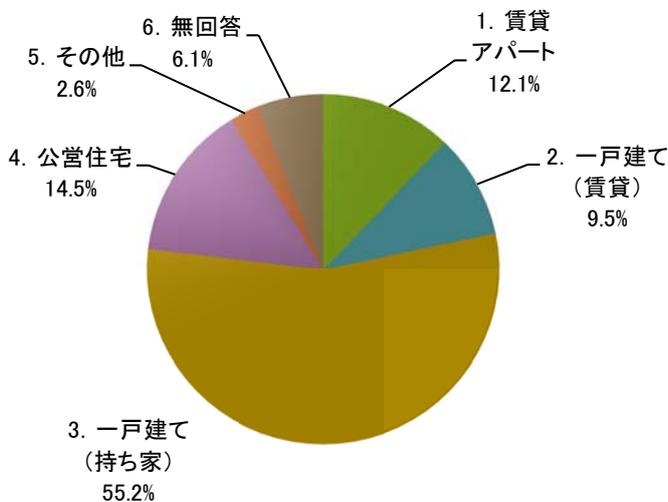
図 お住まいの行政区 (n=346)

Q7. お住まいになっている住居について、お答えください。(一つに〇)

住まいの住居形態は、「3. 一戸建て(持ち家)」が55.2%と最も多く、続いて「4. 公営住宅」が14.5%、「1. 賃貸アパート」が12.1%となっています。

表 お住まいの住居形態

番号	選択肢	回答数
1	賃貸アパート	42
2	一戸建て(賃貸)	33
3	一戸建て(持ち家)	191
4	公営住宅	50
5	その他	9
6	無回答	21
合計		346



Q8. 世帯全体の1年間の収入について、お答えください。(一つに〇)

世帯当たりの年収は、「300～500万円」が35.8%と最も多く、続いて「300万円未満」が23.7%となっています。高い収入ランクが見られる職業別は、「農業」と「漁業」となっており、それぞれ「1,500万円以上」が29.4%、「1,000～1,500万円」が21.4%となっています。

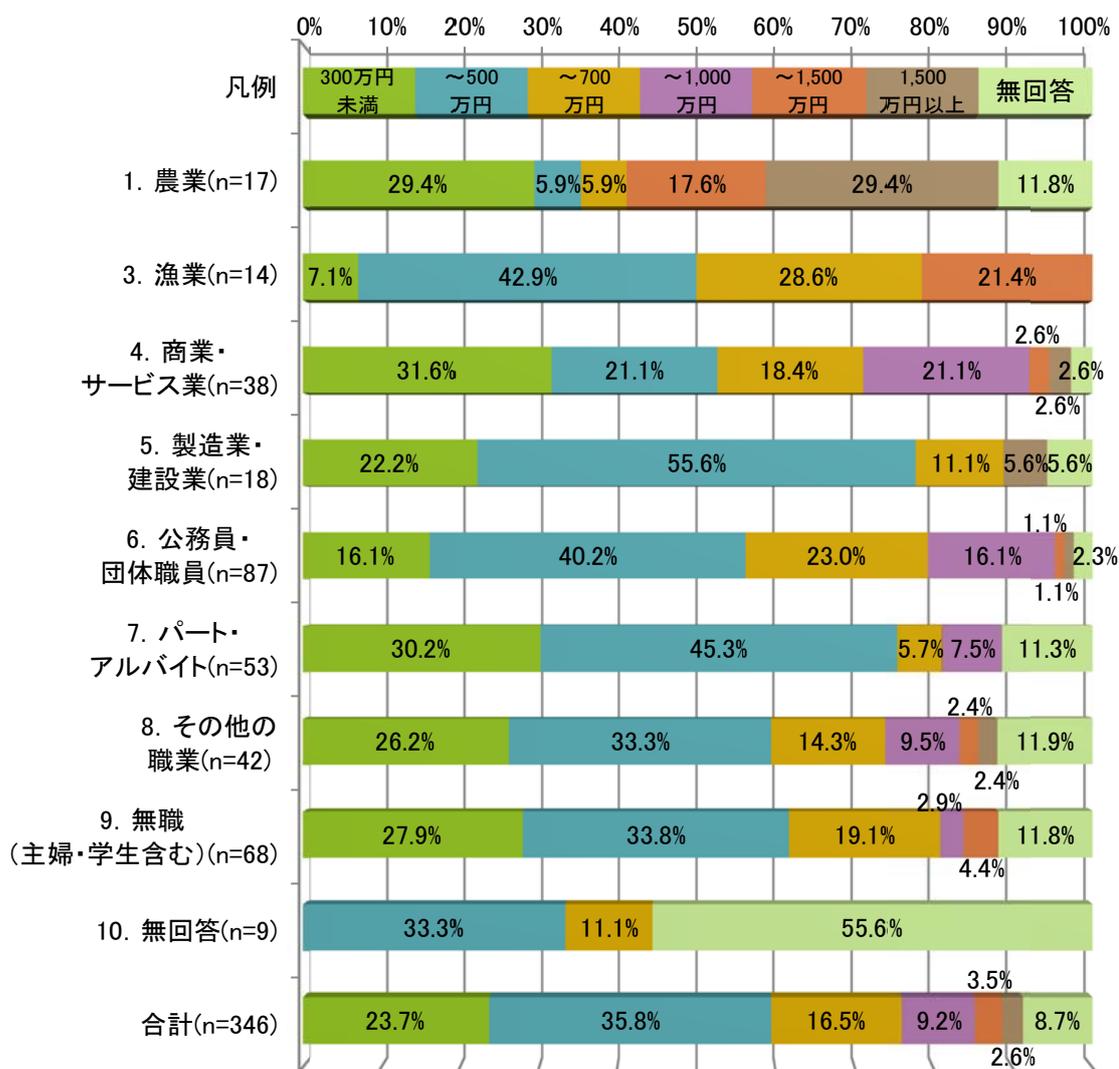


図 世帯全体の1年間の収入（職業別）

※「2. 林業」は該当者なし

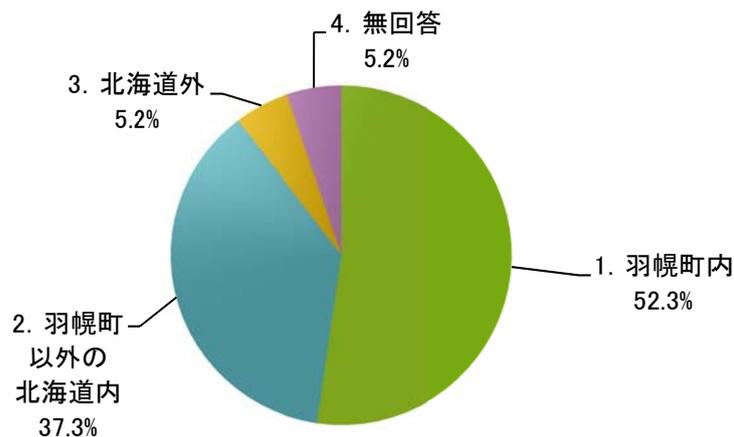
〔(2) 一般向けアンケート調査〕

Q9. あなたの出身地について、お答えください。(一つに〇)

回答者の出身地は、「羽幌町内」が52.3%、「羽幌町以外の北海道内」が37.6%となっています。羽幌町以外の北海道内の市町村は、「苫前町」が19件と最も多く、続いて「札幌市」が14件、「留萌市」が11件となっています。

表 出身地

番号	選択肢	回答数
1	羽幌町内	181
2	羽幌町以外の北海道内	129
3	北海道外	18
4	無回答	18
合計		346



●羽幌町以外の北海道内訳

石狩	・札幌市 (14件)	留萌	・苫前町 (19件)	オホーツク	・北見市	
渡島	・函館市 (2件)		・留萌市 (11件)		・網走市	
桧山	・せたな町		・小平町 (3件)		・斜里町	
後志	・小樽市 (4件) ・共和町		・遠別町 (2件) ・増毛町 (2件)		胆振	・苫小牧市 ・むかわ町
空知	・滝川市 ・砂川市 ・深川市 ・長沼町	宗谷	・天塩町 ・初山別村	釧路	・釧路市 (3件)	
	上川		・旭川市 (7件) ・士別市 (3件) ・東神楽町		・枝幸町 (2件) ・稚内市 ・幌延町 ・礼文町	無回答
					合計	(129件)

(3) 転入者向けアンケート調査

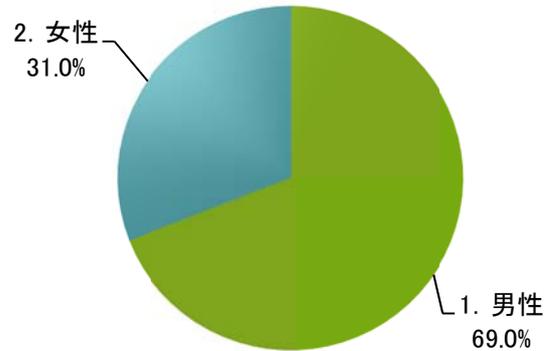
Q1. 「性別」と「年齢」をお答えください。(一つに〇)

①性別

回答者の性別は、「男性」が69.0%、「女性」が31.0%となっています。

表 性別

番号	選択肢	回答数
1	男性	29
2	女性	13
合計		42

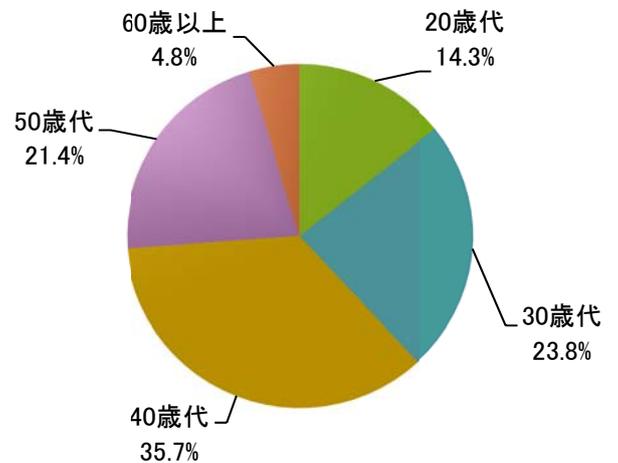


②年齢階級

回答者の年齢階級は、「40 歳代」が35.7%と最も多く、続いて「30 歳代」が23.8%、「50 歳代」が21.4%となっています。

表 年齢階級

番号	選択肢	回答数
1	20 歳代	6
2	30 歳代	10
3	40 歳代	15
4	50 歳代	9
5	60 歳以上	2
合計		42



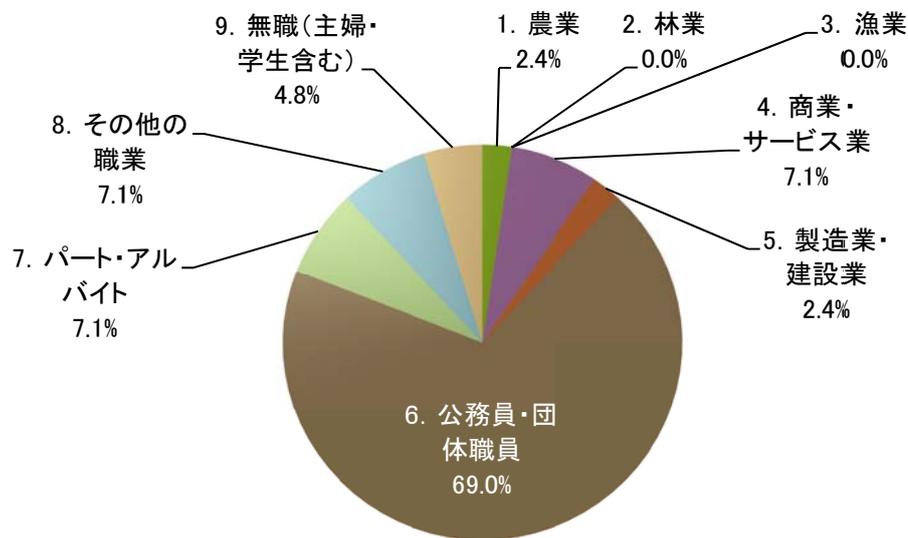
〔3〕 転入者向けアンケート調査

Q2. 職業をお答えください。(一つに〇)

回答者の職業は、「6. 公務員・団体職員」が69.0%と、突出して多い状況となっています。これを年齢階級別に見ると、40歳代が最も多い状況です。

表 職業

項目	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	合計
1. 農業	0	1	0	0	0	1
2. 林業	0	0	0	0	0	0
3. 漁業	0	0	0	0	0	0
4. 商業・サービス業	0	0	3	0	0	3
5. 製造業・建設業	0	0	1	0	0	1
6. 公務員・団体職員	3	6	11	8	1	29
7. パート・アルバイト	2	1	0	0	0	3
8. その他の職業	0	1	0	1	1	3
9. 無職(主婦・学生含む)	1	1	0	0	0	2
合計	6	10	15	9	2	42



Q3. あなたの出身地は、どちらですか。(一つに〇)

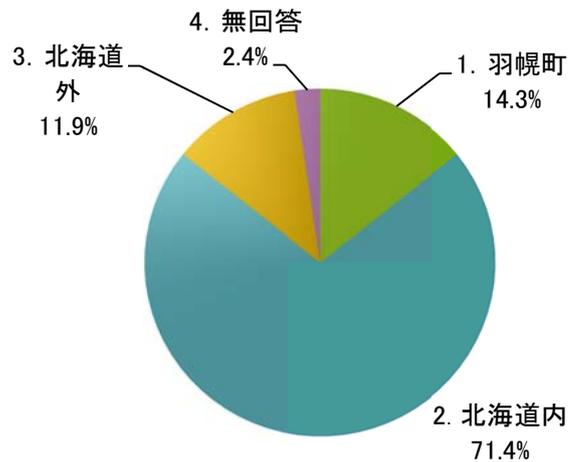
回答者の出身地は、「北海道内」が71.4%と最も多く、続いて「羽幌町」が14.3%となっています。

「北海道内」の内訳は、「札幌市」が7件、「苫前町」が4件などとなっています。

その他、「北海道外」の内訳は、「埼玉県」、「千葉県」、「兵庫県」及び「大分県」となっています。

表 出身地

番号	選択肢	回答数
1	羽幌町	6
2	北海道内	30
3	北海道外	5
4	無回答	1
合計		42



●「北海道内」の内訳

石狩	・札幌市 (7件)	上川	・士別市 (2件)	オホーツク	・北見市 (2件)
桧山	・せたな町		・旭川市		・網走市
空知	・岩見沢市	留萌	・苫前町 (4件)	胆振	・苫小牧市
	・滝川市		・小平町 (2件)		・室蘭市
	・砂川市		・留萌市		・帯広市
	・長沼町			合計	30件

●「北海道外」の内訳

埼玉県、千葉県、兵庫県、大分県、無回答/計5件

[(3) 転入者向けアンケート調査]

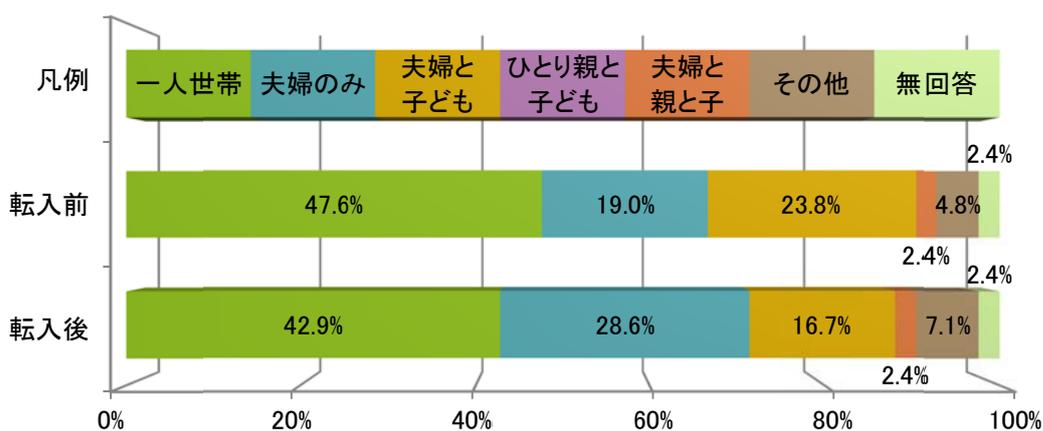
Q4. 転入前後の家族構成についてお答えください。(転入前、転入後とも一つに〇)

転入前後の家族構成は、「1. 一人世帯」が20件から13件、「3. 夫婦と子ども」が10件から6件及び「2. 夫婦のみ」が8件から6件に減少しています。

婚姻などによる転入、配偶者や子どもを転出元に残したままの転入があると推測されます。

表 転入前後の家族構成

番号	選択肢	転入前	転入後							合計
			一人世帯	夫婦のみ	夫婦と子ども	ひとり親と子ども	夫婦と親と子	その他	無回答	
1	一人世帯	20	13	4	0	0	0	2	1	20
2	夫婦のみ	8	1	6	1	0	0	0	0	8
3	夫婦と子ども	10	3	1	6	0	0	0	0	10
4	ひとり親と子ども	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	夫婦と親と子	1	0	0	0	0	1	0	0	1
6	その他	2	0	1	0	0	0	1	0	2
7	無回答	1	1	0	0	0	0	0	0	1
合計		42	18	12	7	0	1	3	1	42



Q5. 転入前のお住まいをお答えください。(必要な事項を記載)

転入前の市町村は、「札幌市」が7件と最も多く、続いて「留萌市」が6件、「旭川市」が3件となっています。

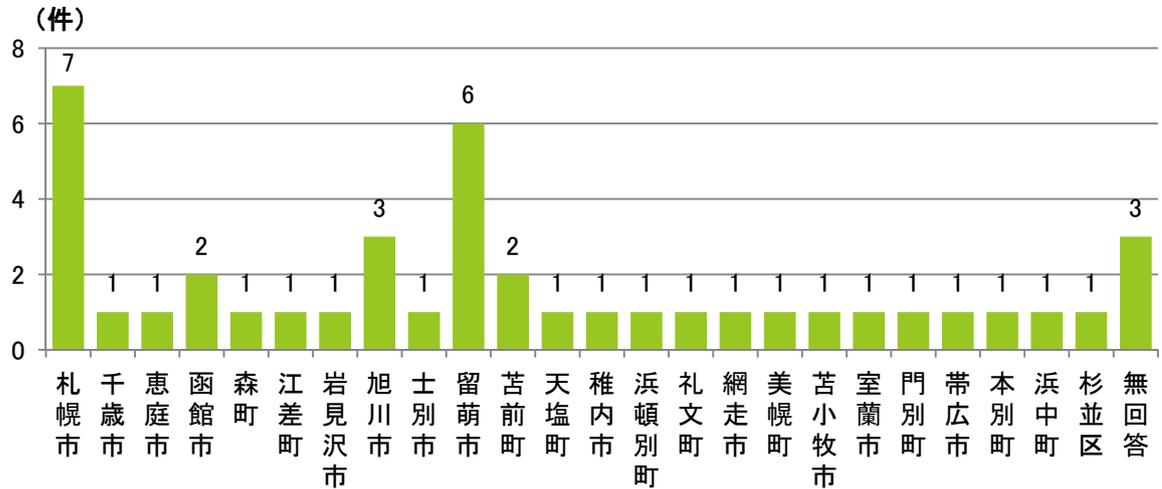
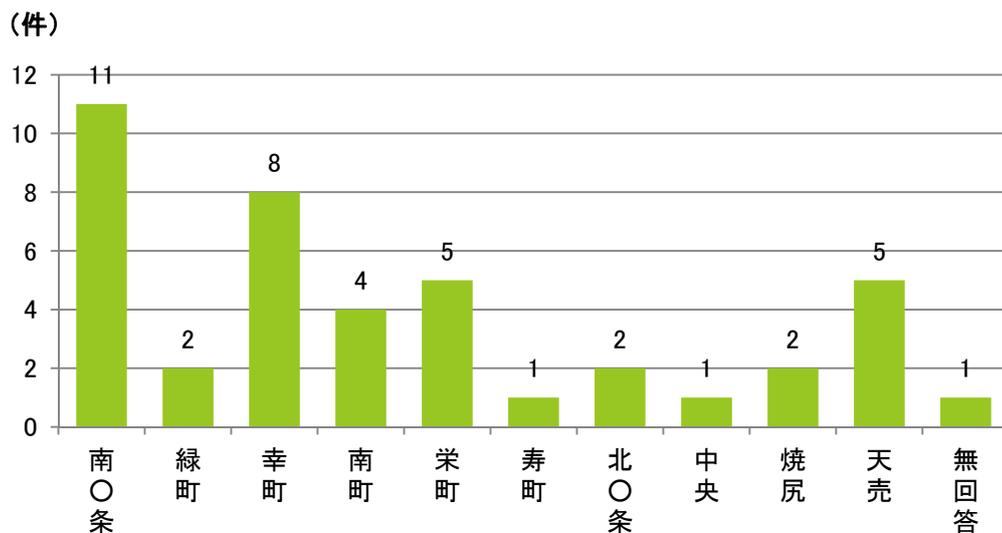


図 転入前の市町村 (n=42)

Q6. 現在のお住まいをお答えください。(一つに〇)

現在の住んでいる行政区は、「南〇条」が11件と最も多く、続いて「幸町」が8件、「栄町」と「天売」がそれぞれ5件となっています。



南〇条：南1条～南7条、北〇条：北1条～北6条

図 現在住んでいる居住行政区 (n=42)

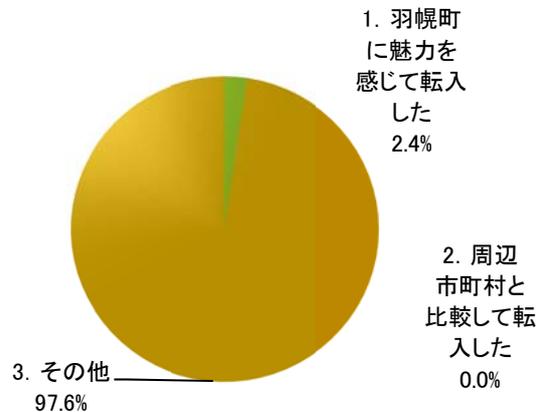
〔(3) 転入者向けアンケート調査〕

Q7. 転入された時の気持ちで、あてはまるものはどれですか。(一つに〇)

転入した時の気持ちは、「羽幌町に魅力を感じて転入した」が1件となっている他は全て「その他」となっています。

表 転入した時の気持ち

番号	選択肢	回答数
1	羽幌町に魅力を感じて転入した	1
2	周辺市町村と比較して転入した	0
3	その他	41
合計		42

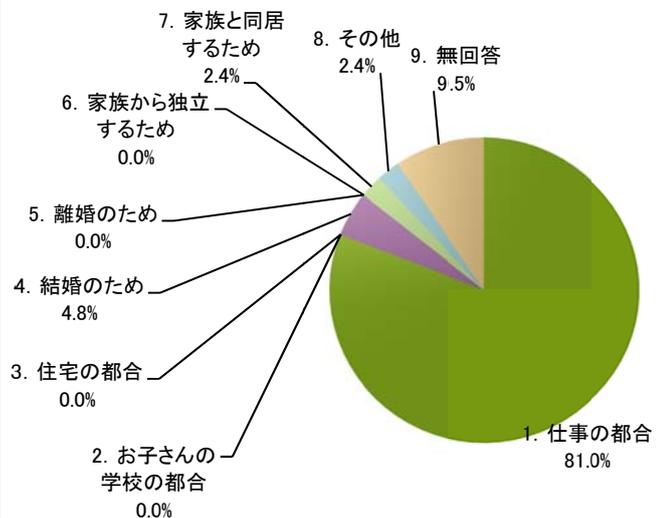


Q8. 転入されることになった最も大きなきっかけは何ですか。(一つに〇)

転入の理由は、「1. 仕事の都合」が81.0%と大部分を占め、続いて「4. 結婚のため」が4.8%となっています。

表 転入の理由（最も大きなきっかけ）

番号	選択肢	回答数
1	仕事の都合（就職、転職、転勤、退職など）	34
2	お子さんの学校の都合	0
3	住宅の都合（広さ、設備、家賃）	0
4	結婚のため	2
5	離婚のため	0
6	家族から独立するため	0
7	家族と同居するため	1
8	その他	1
9	無回答	4
合計		42

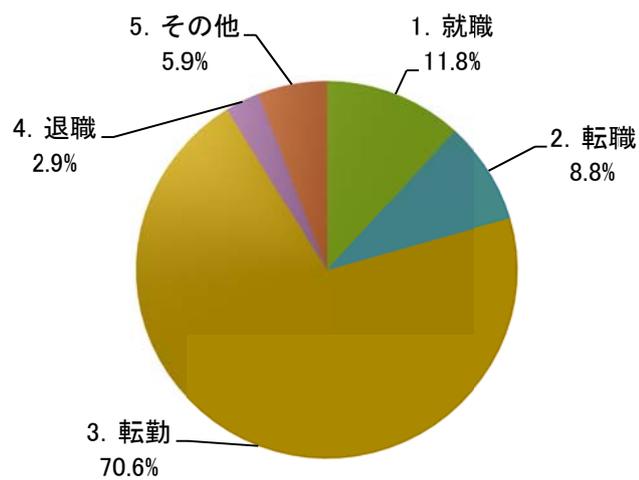


Q8-1. Q8で1をお答えの方への質問です。仕事の都合は、どの内容ですか。
(一つに〇)

仕事の都合の内容は、「3. 転勤」が70.6%と大部分を占めています。

表 仕事の都合の内容

番号	選択肢	回答数
1	就職	4
2	転職	3
3	転勤	24
4	退職	1
5	その他	2
合計		34



〔3〕 転入者向けアンケート調査

Q9. 羽幌町に住んでみて、どの点に魅力を感じていますか。(あてはまるもの全てに○)

Q10. 羽幌町に住んでみて、どの点に不満を感じていますか。(あてはまるもの全てに○)

羽幌町の魅力は、「12. 自然環境」が13件と最も多く、続いて「14. 食べ物がおいしい」が9件、「2. 通勤・通学」と「15. その他」が7件となっています。一方、羽幌町に住んでみて感じた不満は、「8. 医療環境」が20件と最も多く、続いて「1. 買物など日常生活」が12件、「15. その他」が9件となっています。

その他の内容としては、魅力が「田舎であること」、「子どもの医療費が中学生まで助成される点」、不満が「娯楽施設が乏しい」、「就職先があまりない」及び「芸術文化的な行事や催しが少ない」などとなっています。

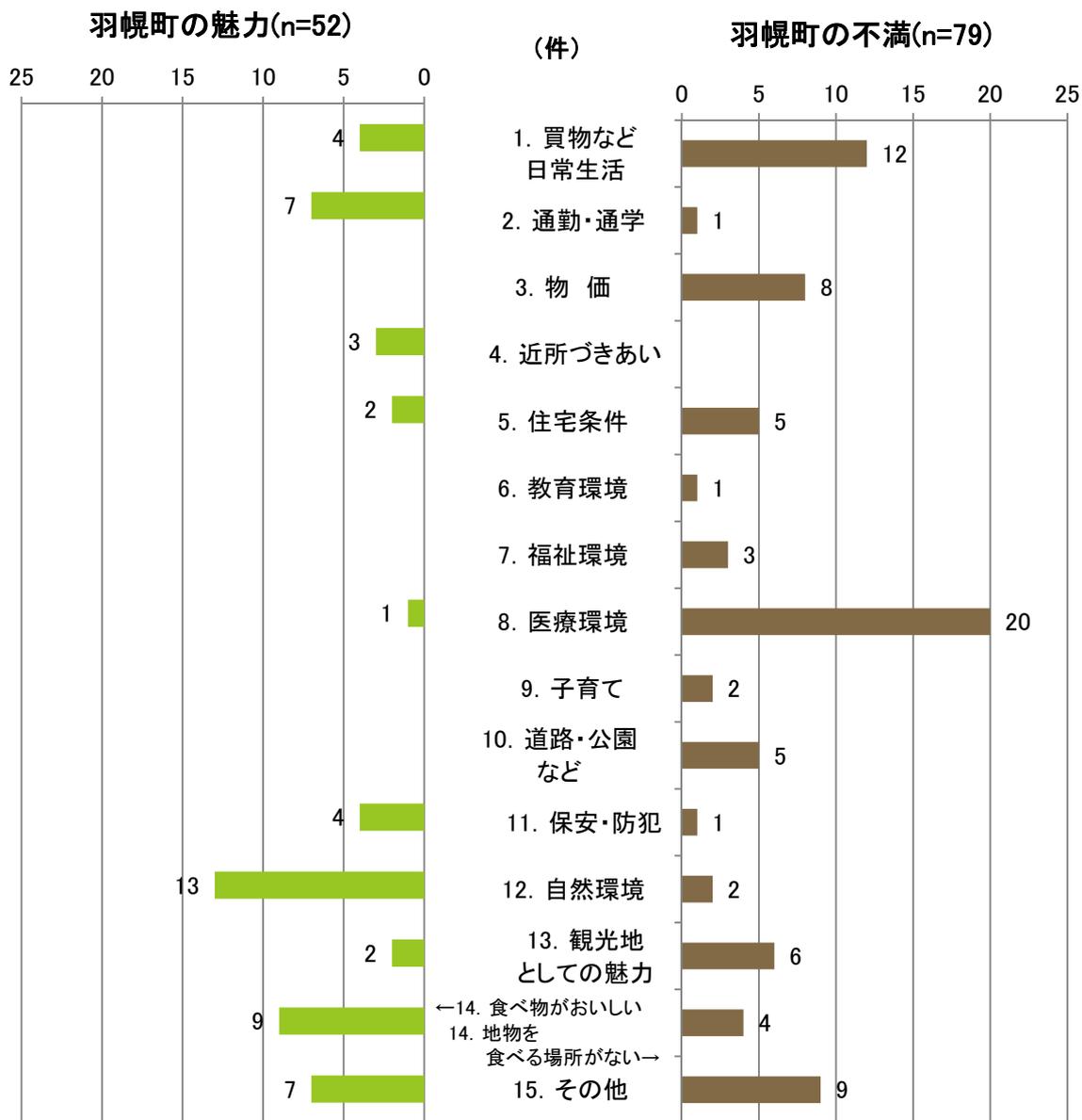


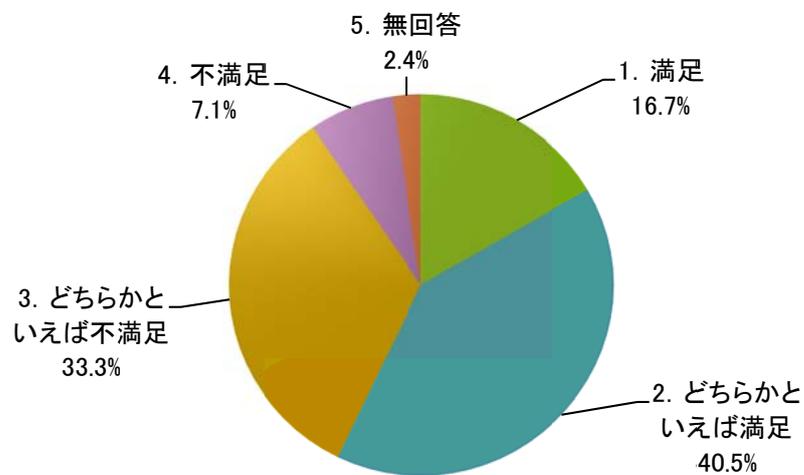
図 羽幌町の「魅力」・「不満」

Q11. 羽幌町に住んで、現時点で満足していますか。(一つに〇)

満足度は、「どちらかといえば満足」が40.5%と最も多く、続いて「どちらかといえば不満足」が33.3%、「満足」が16.7%となっています。「満足」と「どちらかといえば満足」の合計が「不満足」と「どちらかといえば不満足」の合計を上回っており、羽幌町への居住に満足している方がやや多い状況です。

表 羽幌町の満足度

番号	選択肢	回答数
1	満足	7
2	どちらかといえば満足	17
3	どちらかといえば不満足	14
4	不満足	3
5	無回答	1
合計		42

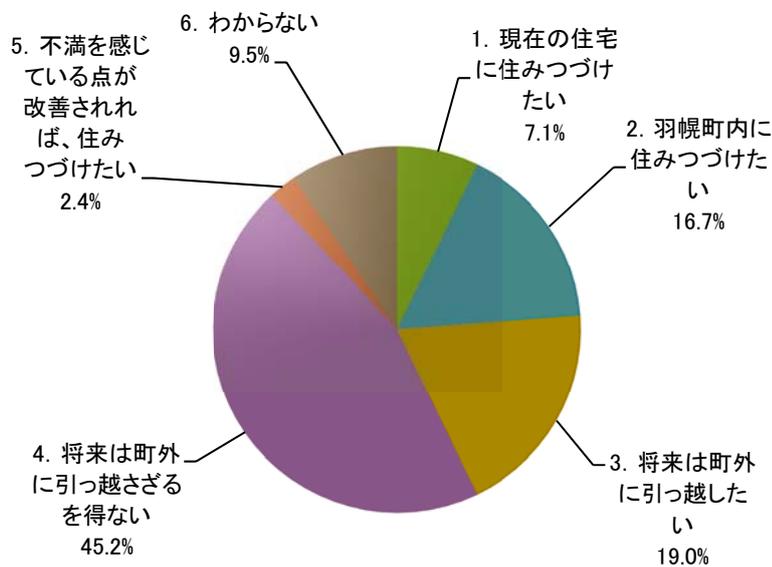


Q12. 今後とも羽幌町に住みつづけたいと思いますか。(一つに〇)

居住の継続意向は、「4. 将来は町外に引っ越さざるを得ない」が 45.2%と最も多く、続いて「3. 将来は町外に引っ越したい」が 19.0%、「2. 転居するかもしれないが、羽幌町内に住みつづけたい」が 16.7%となっています。

表 羽幌町への居住継続意向

番号	選択肢	回答数
1	現在の住宅にこれからも住みつづけたい	3
2	転居するかもしれないが、羽幌町内に住みつづけたい	7
3	将来は町外に引っ越したい	8
4	将来は町外に引っ越さざるを得ない	19
5	不満を感じている点が改善されれば、住みつづけたい	1
6	わからない	4
合計		42



Q13. その他、羽幌町に住んでいて感じることや、人口減少対策に関するご意見などありましたら、お書きください。(自由に意見を記載)

自由記述意見について、国の総合戦略における基本目標ごとに「A. 現況課題や方針に関する意見」と「B. 施策に関する意見」に分けて、取りまとめました。

国の政策分野	サブタイトル	A. 現況課題や方針に関する意見	B. 施策に関する意見
1. 地方における安定した雇用を創出する	基幹産業の育成・支援	<ul style="list-style-type: none"> ●基幹産業 ・基幹産業の活性化と充実：1件 	
	地元産業の育成・支援		<ul style="list-style-type: none"> ●企業育成 ・起業検討者に空き店舗を試験販売スペースとして活用してもらう：1件 ●商店街 ・空き家問題への取り組み：1件
	就労環境の創出	<ul style="list-style-type: none"> ●雇用 ・就職場所が少ない：2件 	
2. 地方への新しい人の流れをつくる	観光交流の促進	<ul style="list-style-type: none"> ●観光施設 ・観光地としての施設の充実：3件 	<ul style="list-style-type: none"> ●観光施設 ・天売ターミナル、島内遊歩道の管理ができていない：1件 ・島民や観光客がくつろぐ公園がない：1件 ・キャンプ場があるが管理や内容が不十分：1件
	地域ブランドの創出	<ul style="list-style-type: none"> ●特産品 ・特産品のPR：1件 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域ブランド ・道の駅で地物を購入できるようにしてほしい：2件
	移住・定住		<ul style="list-style-type: none"> ●住宅 ・賃貸アパートなどが欲しい：3件 ・不動産情報の提供：2件 ・公営住宅の建設：1件 ・住宅購入などへの経済的な支援：1件
3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	婚姻率を高める	<ul style="list-style-type: none"> ●その他 ・出会い・恋愛・育児ができるまち：1件 	
	教育環境の向上		<ul style="list-style-type: none"> ●教育 ・学びの場に高齢者を活用する：1件

[(3) 転入者向けアンケート調査]

国の政策分野	サブタイトル	A. 現況課題や方針に関する意見	B. 施策に関する意見
4. 時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する	都市基盤施設	<ul style="list-style-type: none"> ●公園 ・子どもが遊べる公園が少ない：1件 	
	公共交通		<ul style="list-style-type: none"> ●フェリー ・冬期のフェリー便数の増便：1件
	介護	<ul style="list-style-type: none"> ●福祉 ・介護施設の増設：1件 	
	医療	<ul style="list-style-type: none"> ●医療 ・医療施設の充実：2件 ・医師の充実：1件 	
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ●商業娯楽施設 ・商業施設や娯楽施設の充実：2件 ●まちづくり ・まちづくりテーマの検討：3件 	<ul style="list-style-type: none"> ●まちづくり ・コンパクトシティの推進：1件 ●その他 ・ハートタウンはぼろの町有化：1件 ・市街地の路上駐車：1件 ・美観を守るための雑草の管理：1件 ・水道代の引き下げ：1件 ・喫煙マナーの向上：1件

(4) 転出者向けアンケート調査

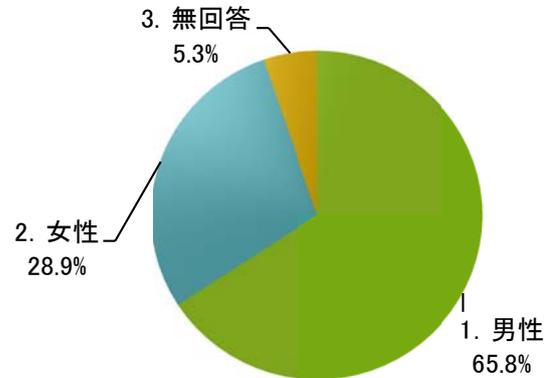
Q1. 「性別」と「年齢」をお答えください。(一つに〇)

①性別

回答者の性別は、「男性」が65.8%、「女性」が28.9%となっています。

表 性別

番号	選択肢	回答数
1	男性	25
2	女性	11
3	無回答	2
合計		38

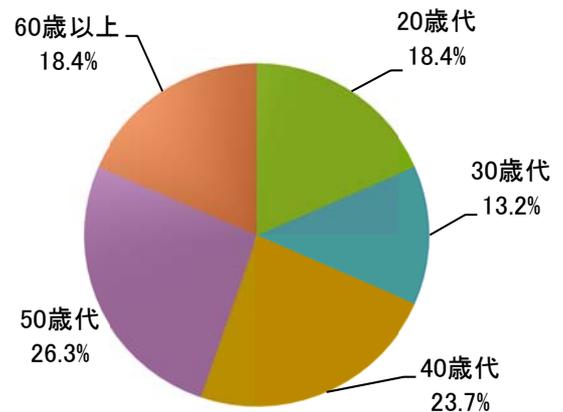


②年齢階級

回答者の年齢階級は、「50 歳代」が26.3%と最も多く、続いて「40 歳代」が23.7%、「20 歳代」と「60 歳以上」がそれぞれ18.4%となっています。

表 年齢階級

番号	選択肢	回答数
1	20 歳代	7
2	30 歳代	5
3	40 歳代	9
4	50 歳代	10
5	60 歳以上	7
合計		38



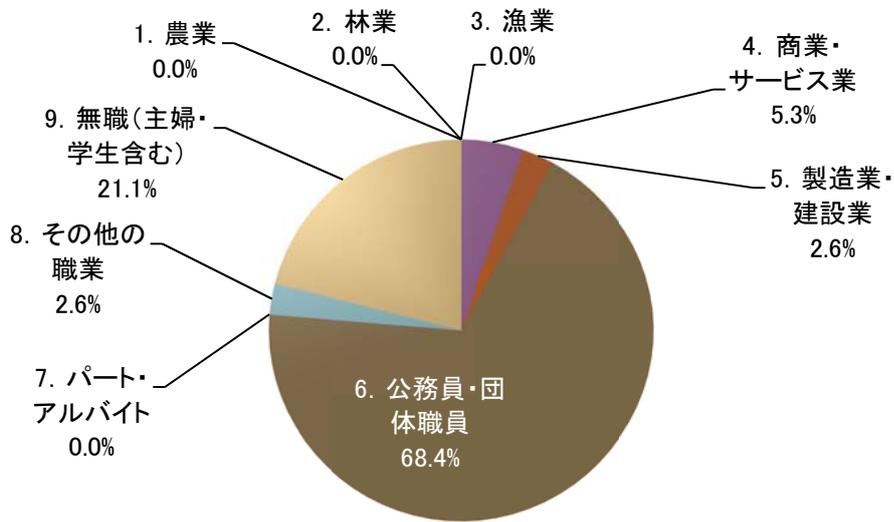
〔4〕 転出者向けアンケート調査

Q2. 職業をお答えください。(一つに〇)

回答者の職業は、「6. 公務員・団体職員」が68.4%と、突出して多い状況となっています。これを年齢階級別に見ると、40歳代が最も多い状況です。

表 職業

項目	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	合計
1. 農業	0	0	0	0	0	0
2. 林業	0	0	0	0	0	0
3. 漁業	0	0	0	0	0	0
4. 商業・サービス業	1	0	0	1	0	2
5. 製造業・建設業	0	0	0	0	1	1
6. 公務員・団体職員	4	5	9	7	1	26
7. パート・アルバイト	0	0	0	0	0	0
8. その他の職業	0	0	0	1	0	1
9. 無職(主婦・学生含む)	2	0	0	1	5	8
合計	7	5	9	10	7	38



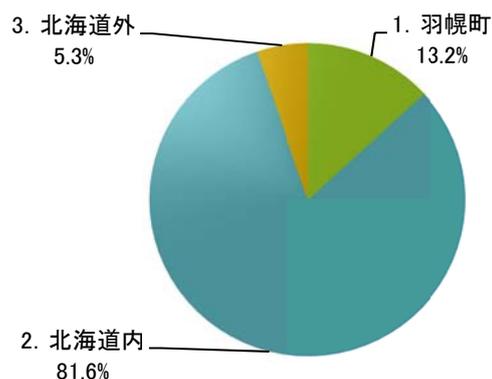
Q3. あなたの出身地は、どちらですか。(一つに〇)

回答者の出身地は、「北海道内」が 86.1%と最も多く、続いて「羽幌町」が 13.2%となっています。

「北海道内」の内訳は、「札幌市」が 7 件、「旭川市」、「恵庭市」及び「小樽市」が 2 件などとなっています。

表 出身地

番号	選択肢	回答数
1	羽幌町	5
2	北海道内	31
3	北海道外	2
合計		38



●「北海道内」の内訳

石狩	<ul style="list-style-type: none"> 札幌市 (7 件) 恵庭市 (2 件) 	空知	<ul style="list-style-type: none"> 岩見沢市 赤平市 夕張市 	宗谷	<ul style="list-style-type: none"> 稚内市 豊富町
渡島	<ul style="list-style-type: none"> 函館市 七飯町 松前町 長万部町 	上川	<ul style="list-style-type: none"> 旭川市 (2 件) 士別市 幌加内町 (朱鞠内) 	十勝	<ul style="list-style-type: none"> 帯広市 芽室町
後志	<ul style="list-style-type: none"> 小樽市 (2 件) 	留萌	<ul style="list-style-type: none"> 留萌市 苫前町 小平町 	無回答	(2 件)
				合計	(31 件)

●「北海道外」の内訳

大阪府、宮城県 / 計 2 件

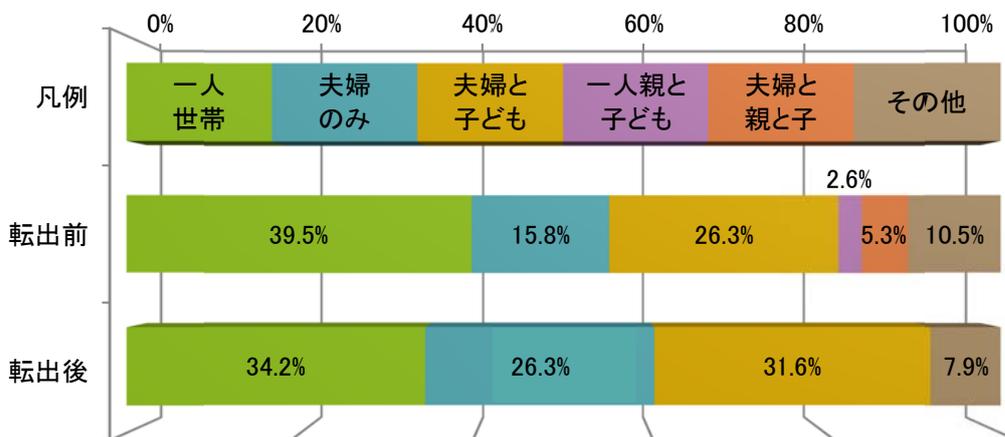
〔４）転出者向けアンケート調査〕

Q4. 羽幌町に住まわれた時と、現在の家族構成についてお答えください。
（それぞれ一つに〇）

転出前後の家族構成は、「1. 一人世帯」が15件から7件、「2. 夫婦のみ」が6件から5件、「3. 夫婦と子ども」が10件から8件に減少しています。単身赴任などから「2. 夫婦のみ」に戻った世帯や、親あるいは子どもを羽幌町に残したままの転出があると推測されます。

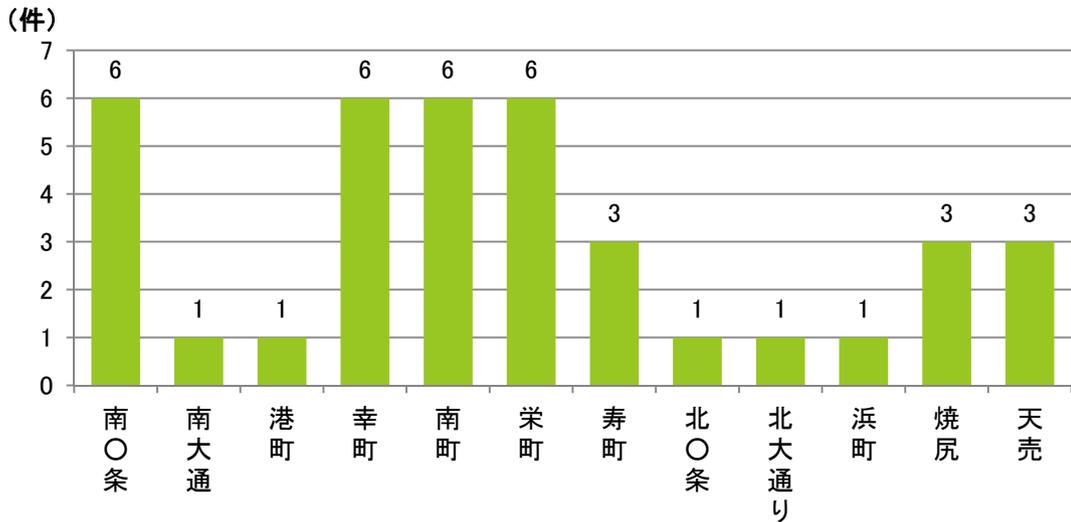
表 転出前後の家族構成

番号	選択肢	転出前	転出後						
			一人世帯	夫婦のみ	夫婦と子ども	一人親と子ども	夫婦と親と子	その他	合計
1	一人世帯	15	7	4	3	0	0	1	15
2	夫婦のみ	6	0	5	1	0	0	0	6
3	夫婦と子ども	10	2	0	8	0	0	0	10
4	ひとり親と子ども	1	0	0	0	0	0	1	1
5	夫婦と親と子	2	2	0	0	0	0	1	2
6	その他	4	2	1	0	0	0	0	4
合計		38	13	10	12	0	0	3	38



Q5. 羽幌町に住まわれていた時の地域をお答えください。(一つに〇)

転出前の居住行政区は、「南〇条」、「幸町」、「南町」及び「栄町」がそれぞれ 6 件となっています。



南〇条：南 1 条～南 7 条、北〇条：北 1 条～北 6 条

図 転出前の居住行政区 (n=38)

Q6. 現在の居住地をお答えください。(必要な事項を記載)

現在の住んでいる市町村は、「札幌市」が 8 件と最も多く、続いて「留萌市」が 4 件、「北見市」が 3 件となっています。

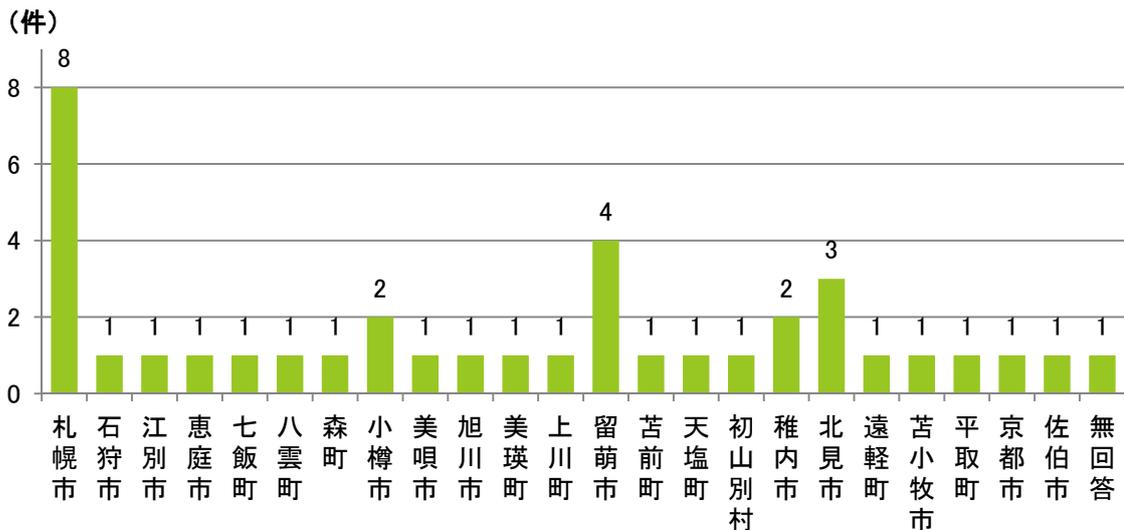


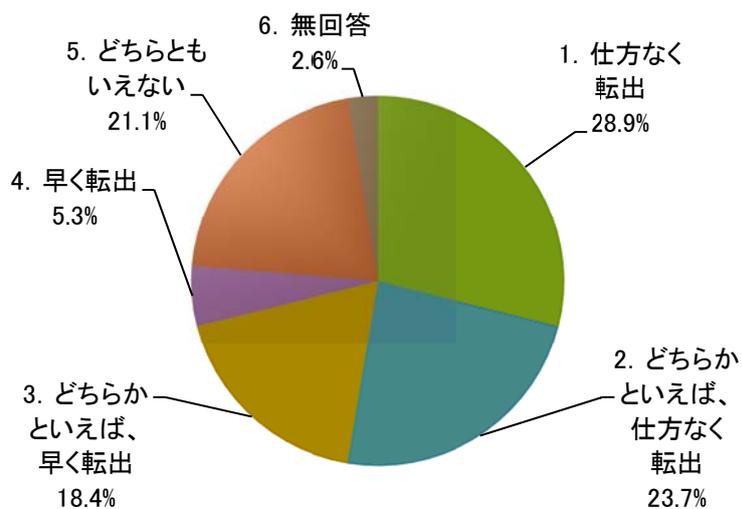
図 現在住んでいる市町村 (n=38)

Q7. 羽幌町から転出された時の気持ちで、あてはまるものはどれですか。(一つに〇)

転出した時の気持ちは、「1. 仕方なく転出した」が28.9%と最も多く、続いて「2. どちらかといえば、仕方なく転出した」が23.7%、「5. どちらともいえない」が21.1%となっています。

表 転出した時の気持ち

番号	選択肢	回答数
1	仕方なく転出した	11
2	どちらかといえば、仕方なく転出した	9
3	どちらかといえば、早く転出したかった	7
4	早く転出したかった	2
5	どちらともいえない	8
6	無回答	1
合計		38

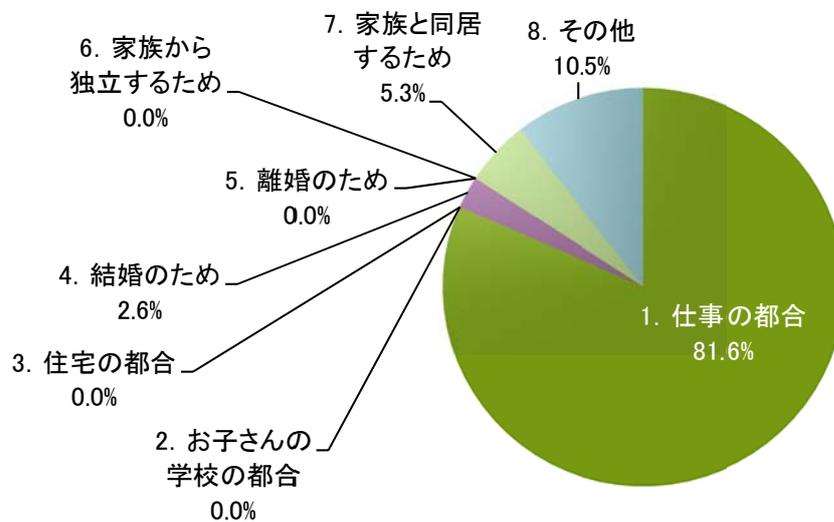


Q8. 転出されることになった最も大きなきっかけは何ですか。(一つに〇)

転出の理由は、「1. 仕事の都合」が81.6%と大部分を占め、続いて「8. その他」が10.5%となっています。「8. その他」の内容は、進学、病気及び福祉施設からの退去となっています。

表 転出の理由（最も大きなきっかけ）

番号	選択肢	回答数
1	仕事の都合（就職、転職、転勤、退職など）	31
2	お子さんの学校の都合	0
3	住宅の都合（広さ、設備、家賃）	0
4	結婚のため	1
5	離婚のため	0
6	家族から独立するため	0
7	家族と同居するため	2
8	その他	4
合計		38



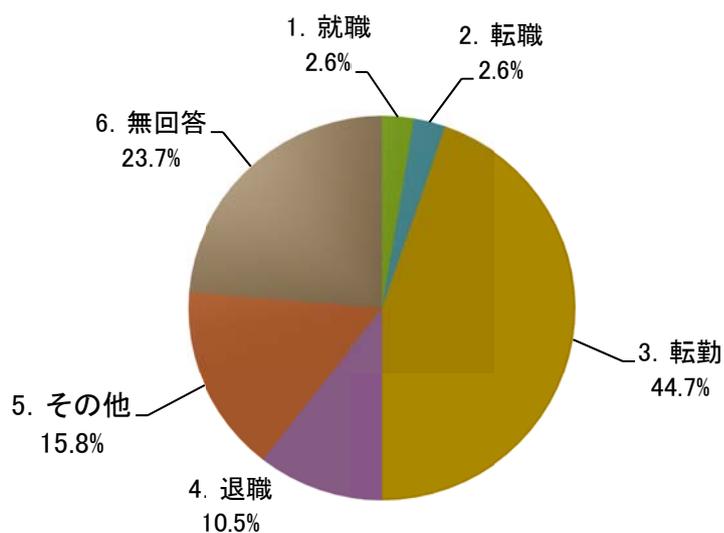
〔4〕 転出者向けアンケート調査

Q8-1. Q8で1をお答えの方への質問です。仕事の都合は、どの内容ですか。
(一つに〇)

仕事の都合の内容は、「3. 転勤」が44.7%と最も多く、続いて「6. 無回答」が23.7%となっています。

表 仕事の都合の内容

番号	選択肢	回答数
1	就職	1
2	転職	1
3	転勤	17
4	退職	4
5	その他	6
6	無回答	9
合計		38



Q9. 羽幌町に住んでいて、どの点に魅力を感じていましたか。

(あてはまるもの全てに○)

Q10. 羽幌町に住んでいて、どの点に不満を感じていましたか。

(あてはまるもの全てに○)

羽幌町の魅力は、「12. 自然環境」が23件と最も多く、続いて「14. 食べ物がおいしい」が22件、「2. 通勤・通学」が9件となっています。

一方、羽幌町に住んでみて感じた不満は、「医療環境」が22件と最も多く、続いて「1. 買物など日常生活」が12件、「3. 物価(が高い)」が11件となっており、転入者向けアンケートと概ね同様の結果となっています。

その他の内容としては、魅力が「甘えび」、「島」、「炭砒」及び「人」、不満は「宿泊施設」、「水産物の情報発信」、「島に行きづらい環境」、「ゴミの収集」及び「強風」などとなっています。

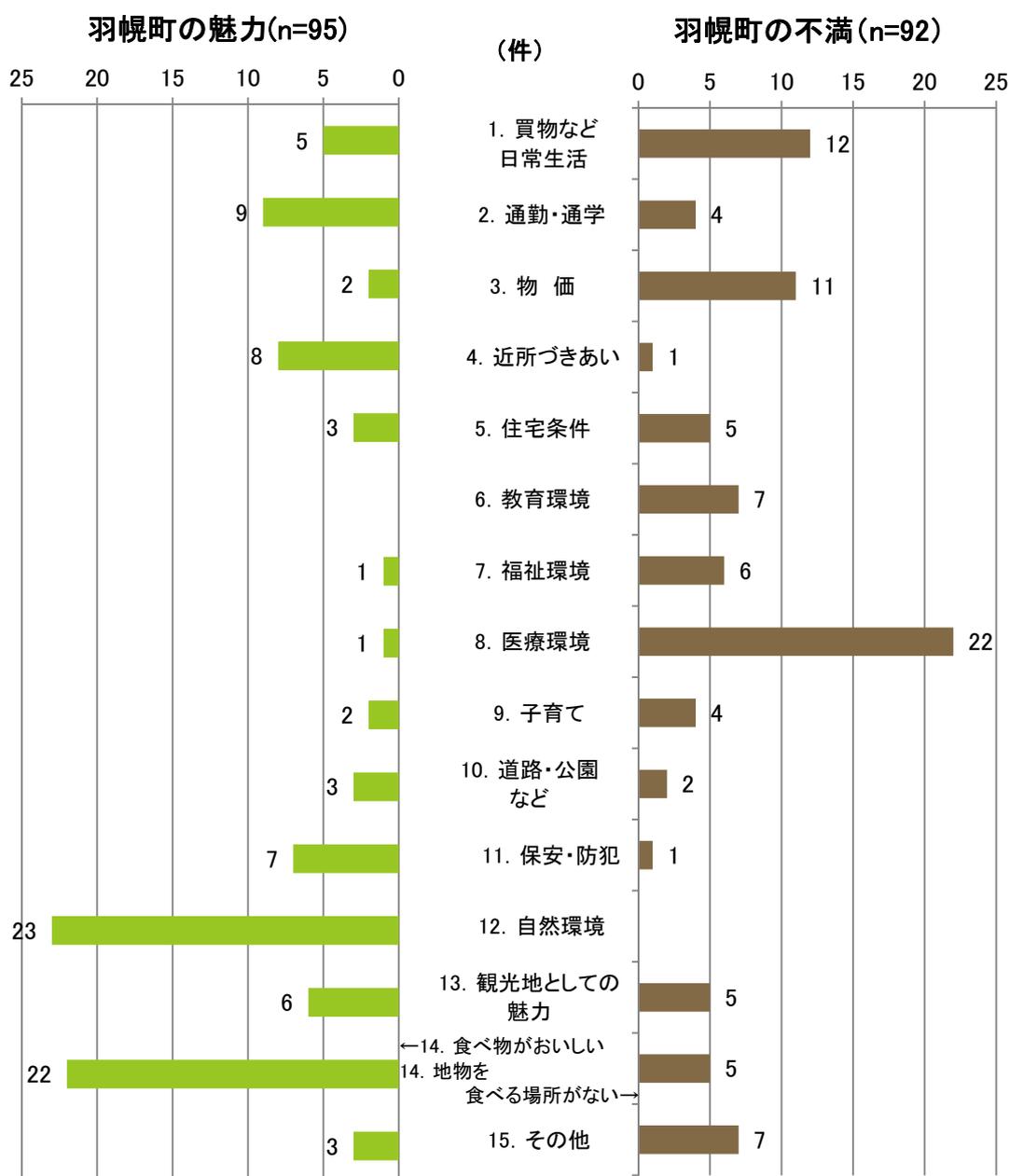


図 羽幌町の「魅力」・「不満」

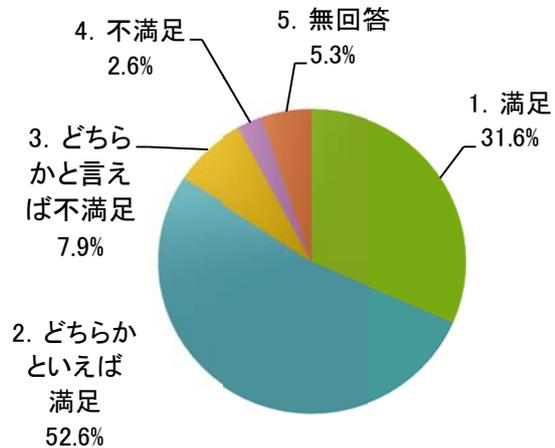
〔4〕 転出者向けアンケート調査

Q11. 羽幌町に住んで、満足でしたか。(一つに〇)

満足度は、「2. どちらかといえば満足」が52.6%と最も多く、続いて「1. 満足」が31.6%となっています。8割以上の方が「1. 満足」、あるいは「2. どちらかといえば満足」となっています。

表 羽幌町の満足度

番号	選択肢	回答数
1	満足	12
2	どちらかといえば満足	20
3	どちらかといえば不満足	3
4	不満足	1
5	無回答	2
合計		38

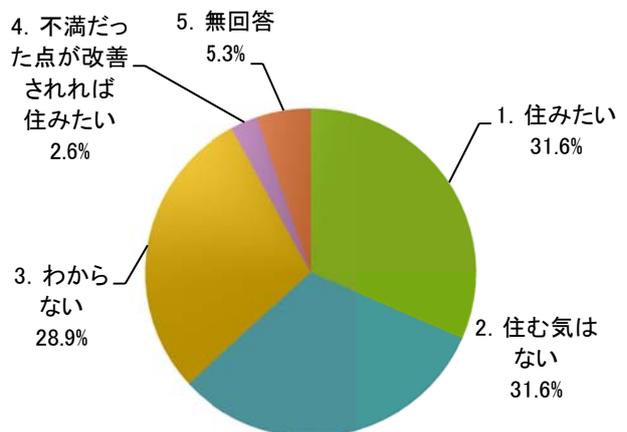


Q12. もし、機会があれば、羽幌町にもう一度住みたいと思いますか。(一つに〇)

羽幌町への再転入の意向は、「1. 住みたい」と「2. 住む気はない」がそれぞれ31.6%となっており、続いて「3. わからない」が28.9%となっています。

表 羽幌町への再居住の意向

番号	選択肢	回答数
1	住みたい	12
2	住む気はない	12
3	わからない	11
4	不満だった点が改善されれば住みたい	1
5	無回答	2
合計		38



Q13. 羽幌町に住んでいて良かったこと、不便を感じたこと、または、人口減少対策に関するご意見などありましたらお書きください。（自由に意見を記載）

自由記述意見について、国の総合戦略における基本目標ごとに「A. 現況課題や方針に関する意見」と「B. 施策に関する意見」に分けて取りまとめました。

国の政策分野	サブタイトル	A. 現況課題や方針に関する意見	B. 施策に関する意見
1. 地方における安定した雇用を創出する	基幹産業の育成・支援	<ul style="list-style-type: none"> ●基幹産業振興 ・第1次産業の振興：2件 	
	地元産業の育成・支援	<ul style="list-style-type: none"> ●企業育成 ・新たな産業の創出：1件 	<ul style="list-style-type: none"> ●商業活性化 ・ハートタウンはぼろ周辺の活気づくり：1件
	就労環境の創出	<ul style="list-style-type: none"> ●雇用 ・就職場所を増やす：3件 ・幅の広い職業環境をつくる：1件 	<ul style="list-style-type: none"> ●雇用 ・農協や漁業と連携して担い手づくりを行う：1件 ・地域に根差した地元の高校生の採用：1件 ・生産を基盤とした若者の働く場所の確保：1件
	その他		<ul style="list-style-type: none"> ●労働力調査 ・羽幌町の労働力調査や住民の満足度調査の実施：1件
2. 地方への新しい人の流れをつくる	観光交流の促進	<ul style="list-style-type: none"> ●PR ・羽幌町知名度の向上：2件 	<ul style="list-style-type: none"> ●イベント ・マラソン大会などへの地元住民の参加：1件 ●観光施設 ・島・甘えび・炭碇跡を観光資源にする：4件 ●PR ・甘エビ祭りや羽幌えびタコ餃子のPR：2件 ・オロロン町などへ改名：1件
	地域ブランドの創出	<ul style="list-style-type: none"> ●特産品 ・特産品の開発：1件 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域ブランド ・羽幌ターミナルへの地場の物を食べられる食堂の再設置：1件 ・農水産物を購入したり食べられる場所の整備：1件
	移住・定住		<ul style="list-style-type: none"> ●移住 ・短期滞在型の移住体験住宅：1件 ・空き家を活用した田舎暮らし：1件 ・二地域居住政策の活用：1件 ●住宅 ・不動産情報の提供：2件 ・自然を楽しむゆとり居住：1件

〔(4) 転出者向けアンケート調査〕

国の政策分野	サブタイトル	A. 現況課題や方針に関する意見	B. 施策に関する意見
3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	教育環境の向上		<ul style="list-style-type: none"> ●高校 ・羽幌高校への通学支援：1件 ●その他 ・塾など教育環境の充実：1件
4. 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する	エネルギー		<ul style="list-style-type: none"> ●石炭利用 ・原子力の代替エネルギーとしての石炭利用の推進：1件
	都市基盤施設	<ul style="list-style-type: none"> ●公園 ・図書館や映画館など冬の遊び場の確保：1件 	<ul style="list-style-type: none"> ●道路 ・暴風雪の影響が少ない内陸の道路が必要：1件 ●その他 ・公共料金の値下げ：2件
	公共交通		<ul style="list-style-type: none"> ●フェリー ・フェリーターミナルそばへの簡易駐車場の整備：1件 ・フェリーの快適性向上：1件
	医療	<ul style="list-style-type: none"> ●医療 ・医療機関の充実：3件 	
	地域コミュニティ		<ul style="list-style-type: none"> ●地域コミュニティ ・お祭りなどによる地域コミュニティの醸成：1件
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ●商業娯楽施設 ・飲食店が少なく不便：1件 ・大型店舗の誘致：1件 ●まちづくり ・地域密着型の都市づくり：1件 ・羽幌町はコンパクトで住みやすい：1件 ●人口増加 ・転入を促進するための対策を考える：1件 ・焼尻の人口増加：1件 ●その他 ・成功事例調査：1件 	<ul style="list-style-type: none"> ●商業娯楽施設 ・衣類やスポーツ用品店などの誘致：1件

(5) 企業向けアンケート調査

Q1. 営んでいる業種についてお答えください。(一つに〇)

営んでいる業種は、「25. その他サービス」が 17 件と最も多く、その内訳としては下記のとおりです。続いて「19. 建設会社・工事」が 13 件、「4. 食料品小売」が 7 件となっています。

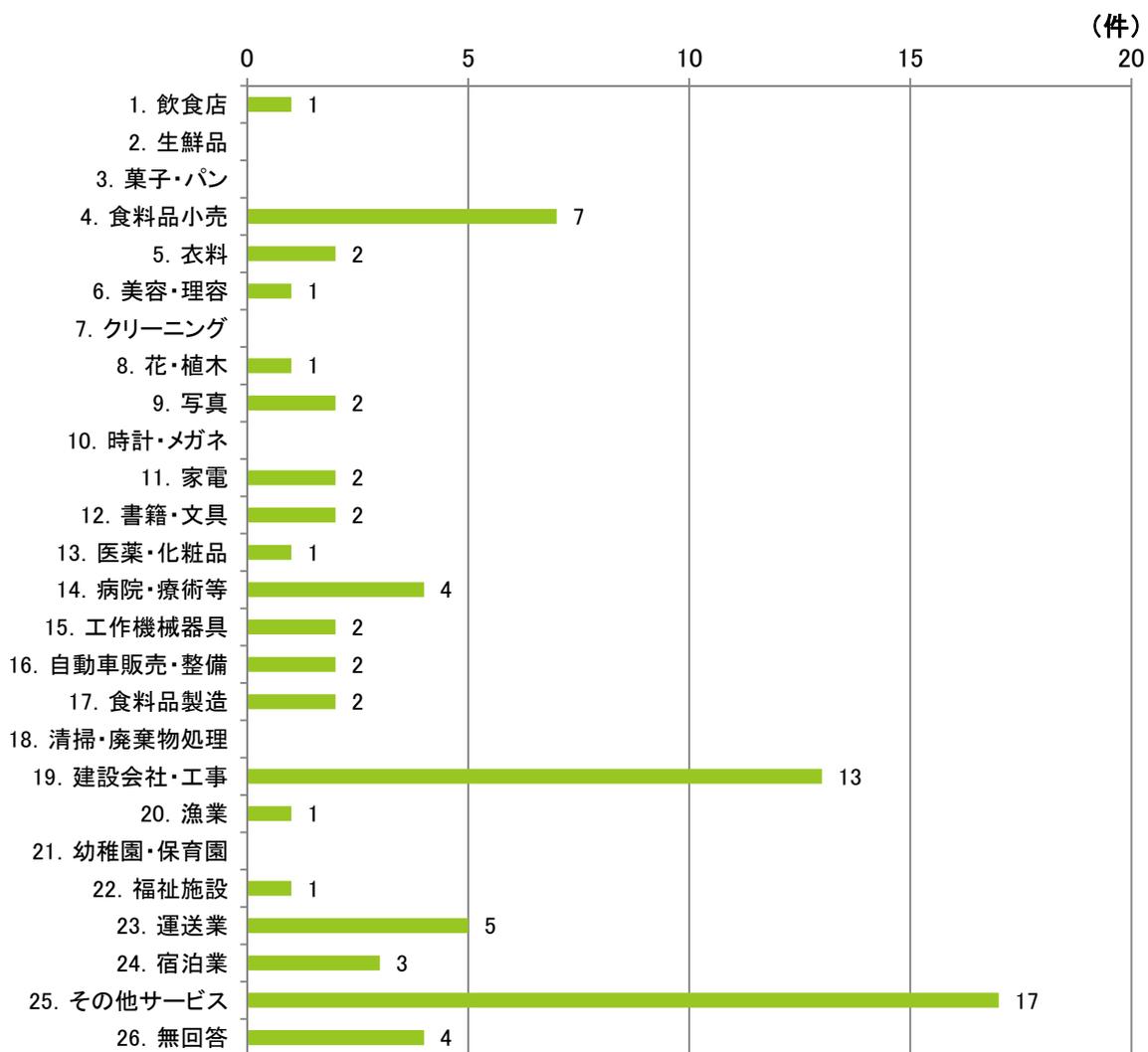


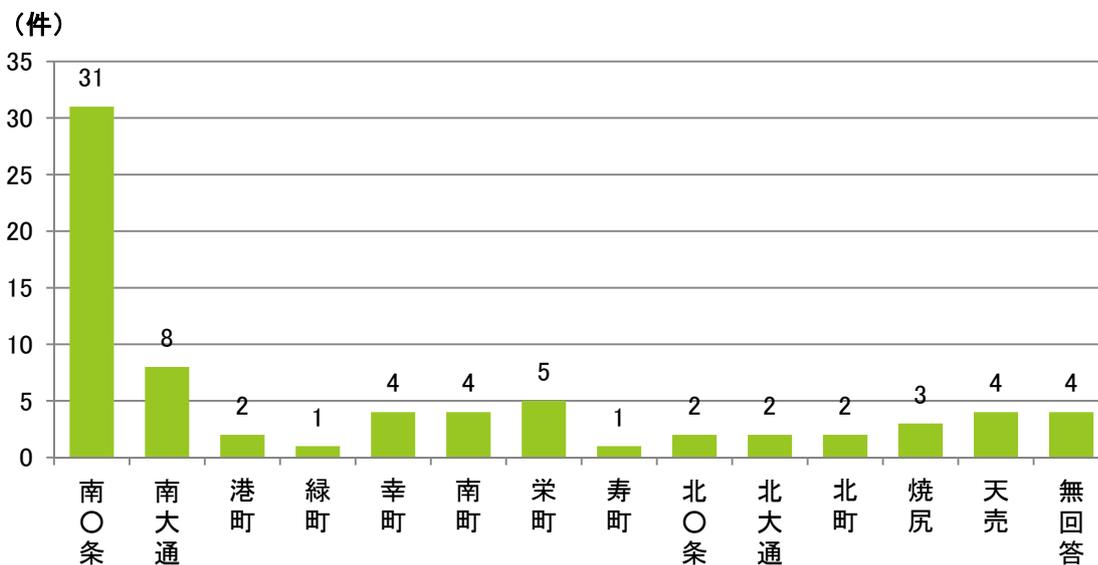
図 業種 (n=73)

●その他サービスの内容

金融業、スタンド、石油製品販売、電力事業、塗装、燃料店（ガス、灯油）、農業団体、保険業、靴履物、林業、レンタル自動車、鮮魚仲介人、水産加工業

Q2. 経営されている場所（地区名）をお答えください。（一つに〇）

事業所の位置は、中心市街地である「南〇条」が31件、「南大通」が8件となっています。



南〇条：南1条～南7条、北〇条：北1条～北6条

図 事業所の位置 (n=73)

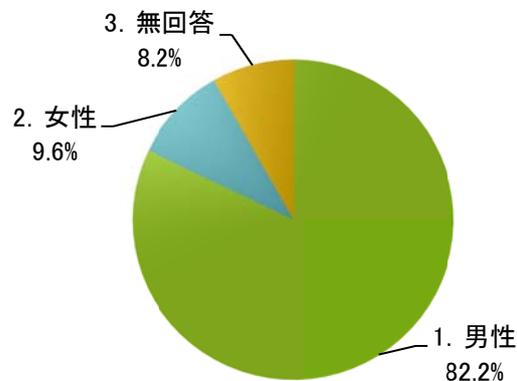
Q3. 経営者の方の性別と年齢をお答えください。(一つに〇)

①性別

経営者の方の性別は、「男性」が82.2%、「女性」が9.6%となっています。

表 性別

番号	選択肢	回答数
1	男性	60
2	女性	7
3	無回答	6
合計		73

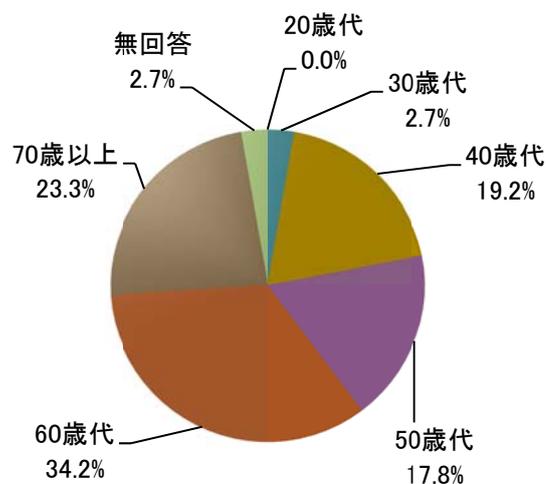


②年齢階級

経営者の方の年齢階級は、「60歳代」が34.2%と最も多く、続いて「70歳以上」が23.3%、「40歳代」が19.2%となっています。

表 年齢階級

番号	選択肢	回答数
1	20歳代	0
2	30歳代	2
3	40歳代	14
4	50歳代	13
5	60歳以上	25
6	70歳上	17
7	無回答	2
合計		73



〔5〕企業向けアンケート調査

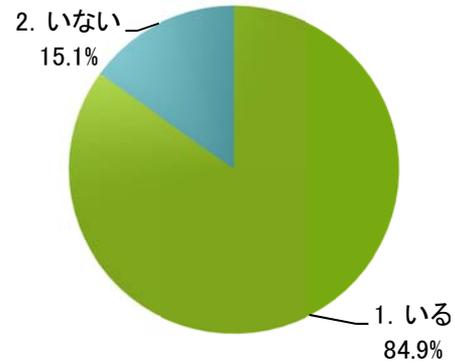
Q4. 貴社に勤務されている従業員（パート含む）は、何名いますか。また、町外から通勤している従業員は何名いますか。（人数、必要な事項を記載）

①従業員の有無

従業員の有無は、「いる」が84.9%、「いない」が15.1%となっています。

表 従業員の有無

番号	従業員の有無	回答数
1	いる	62
2	いない	11
合計		73



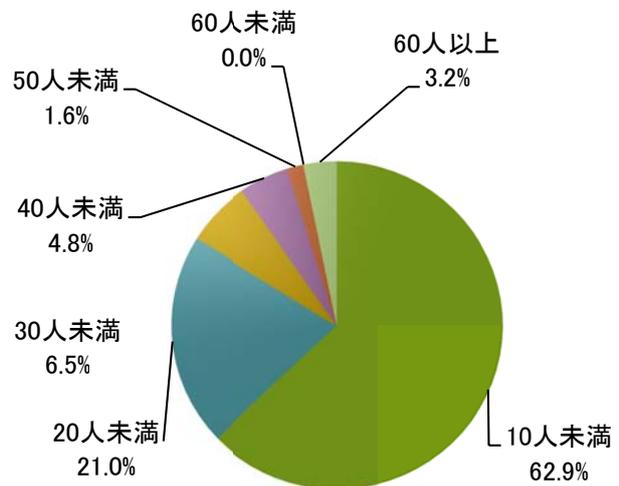
②従業員数

従業員数は、「10人未満」が62.9%と最も多く、続いて「20人未満」が21.0%となっています。

比較的小規模な事業所が多い状況となっています。

表 従業員数

番号	従業員数	回答数
1	0～9人	39
2	10～19人	13
3	20～29人	4
4	30～39人	3
5	40～49人	1
6	50～59人	0
7	60人～	2
合計		62

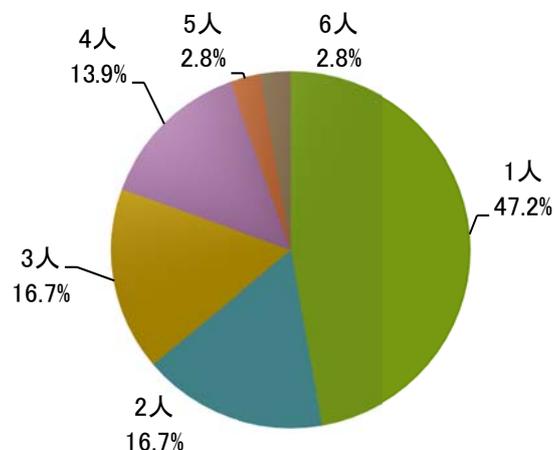


③家族従業員数

家族従業員数は、「1人」が47.2%となっています。

表 家族従業員数

番号	家族従業員数	回答数
1	1人	17
2	2人	6
3	3人	6
4	4人	5
5	5人	1
6	6人	1
合計		36

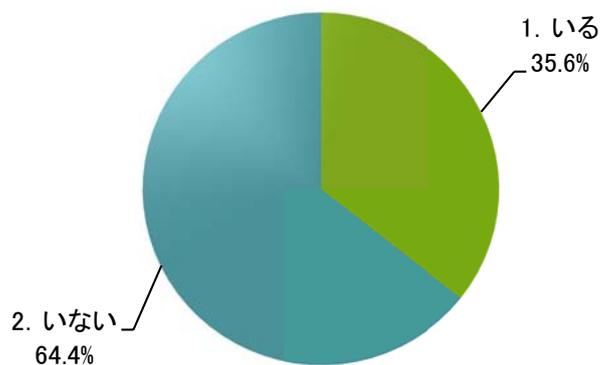


④町外から通勤している従業員の有無

町外から通勤している従業員の有無は、「いない」が64.4%、「いる」が35.6%となっています。

表 町外から通勤している従業員の有無

番号	町外から通勤している 従業員の有無	回答数
1	いる	26
2	いない	47
合計		73



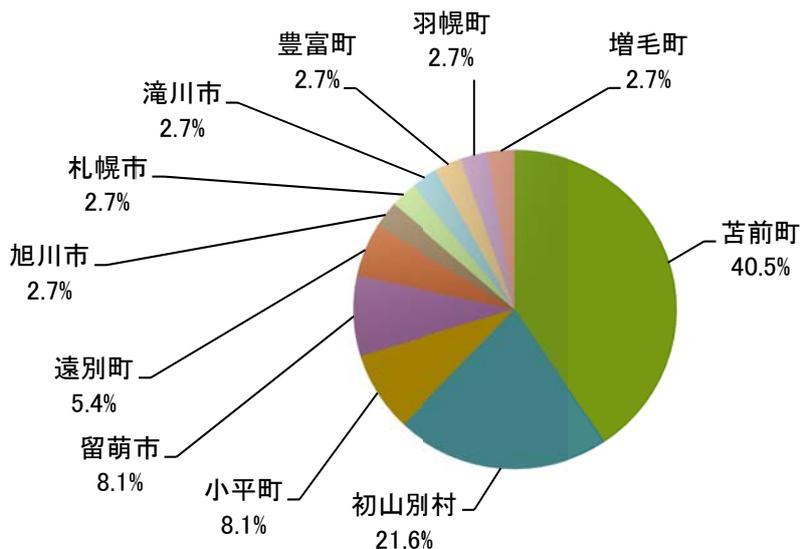
⑤町外から通勤している従業員数と市町村名

町外から通勤している従業員数は、26 事業所で 97 人となっています。

町外から通勤している従業員の居住市町村名は、「1. 苫前町」が 40.5%と最も多く、続いて「2. 初山別村」が 21.6%、「3. 小平町」と「4. 留萌市」がそれぞれ 8.1%と、近隣市町村から通勤している状況となっています。

表 町外の市町村名

番号	町外の市町村名	回答数
1	苫前町	15
2	初山別村	8
3	小平町	3
4	留萌市	3
5	遠別町	2
6	旭川市	1
7	滝川市	1
8	羽幌町	1
9	札幌市	1
10	増毛町	1
11	豊富町	1
合計		37



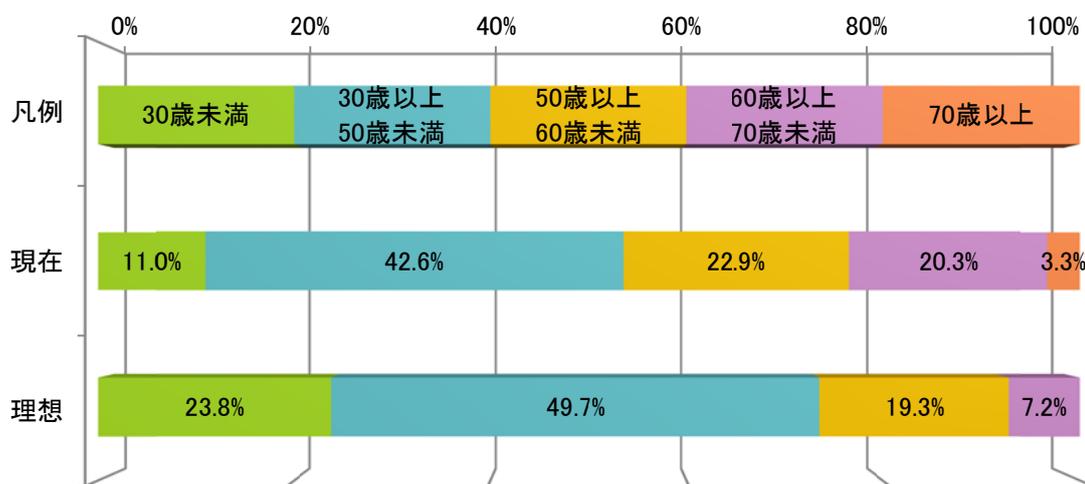
Q5. 従業員の方の年齢構成についてお答えください。また、経営者様が考える理想の年齢構成を併せてお答えください。

従業員の年齢構成は、「30歳未満」の現在が11.0%に対し理想が23.8%と倍増しており、「70歳以上」の現在が3.3%に対し理想が0%、「60歳以上70歳未満」の現在が20.3%に対し理想が7.2%となっています。従業員の若返りを理想としている事業所が多い状況です。

表 年齢構成別従業員数（現在・理想）（人）

番号	選択肢	現在	理想
1	30歳未満	88	162
2	30歳以上 50歳未満	341	338
3	50歳以上 60歳未満	183	131
4	60歳以上 70歳未満	162	49
5	70歳以上	26	0
合計		800	680

※「現在」、「理想」とも無回答あり

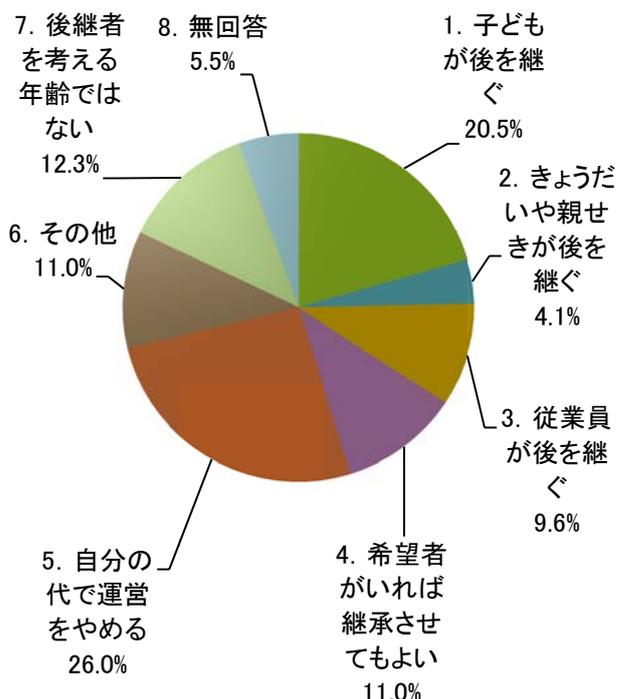


Q6. 後継者はいらっしゃいますか。また、後継者がいる場合（後継者の予定が立っていても希望者に継承させてもよい場合）は、その継承の時期をお答えください。（一つに○、継承の時期を記載）

後継者の状況は、「5. 後継者がいないため、自分の代で運営をやめようと思っている」が26.0%と最も多く、続いて「1. 子どもが後を継ぐ予定」が20.5%、「4. 後継者の予定が立っていないが、希望者がいれば継承させてもよい」が11.0%となっています。

表 後継者の状況

番号	選択肢	回答数
1	子どもが後を継ぐ予定	15
2	きょうだいや親せきが後を継ぐ予定	3
3	従業員が後を継ぐ予定	7
4	後継者の予定が立っていないが、希望者がいれば継承させてもよい	8
5	後継者がいないため、自分の代で運営をやめようと思っている	19
6	その他	8
7	まだ後継者を考える年齢ではない	9
8	無回答	4
合計		73



●後継の時期

1. 子どもが後を継ぐ予定

2,3年後、4年後、5年後、15年後、20年後、

2. きょうだいや親せきが後を継ぐ予定

20年後

3. 従業員が後を継ぐ予定

6年後、5～10年後

4. 後継者の予定が立っていないが、希望者がいれば継承させてもよい

2年後、8年後、10年後（2件）、

5. その他

社内からあるいはグループ企業から後継者を選定、組合組織や内部から登用、役員選考で次期会長就任など

Q7. 地方創生のために、どのような施策が経営者様の事業活性化や新たな事業展開に役立つとお考えでしょうか。(あてはまるもの全てに○)

企業の事業活性化や新たな事業展開に役立つと考えられる施策内容は、「7. 観光振興策の支援」と「17. 住宅確保の支援」がそれぞれ 24 件と最も多く、続いて「5. 農水産物の新たなブランドの育成・認証とPR支援」が 19 件、「2. 新規創業に対する経営アドバイスや融資等の支援」と「10. 女性の雇用促進の支援（子育て支援）」がそれぞれ 18 件となっています。

業種別にみると「建設会社・工事」では、「2. 新規創業に対する経営アドバイスや融資等の支援」が 7 件と最も多く、「食料品小売り」では「5. 農水産物の新たなブランドの育成・認証とPRの支援」、「12. 漁場の再生、蓄養漁業の推進等による漁獲物の安定供給と漁獲量の増加」、「17. 住宅確保の支援」及び「18. 後継者募集の支援」が 3 件あげられています。

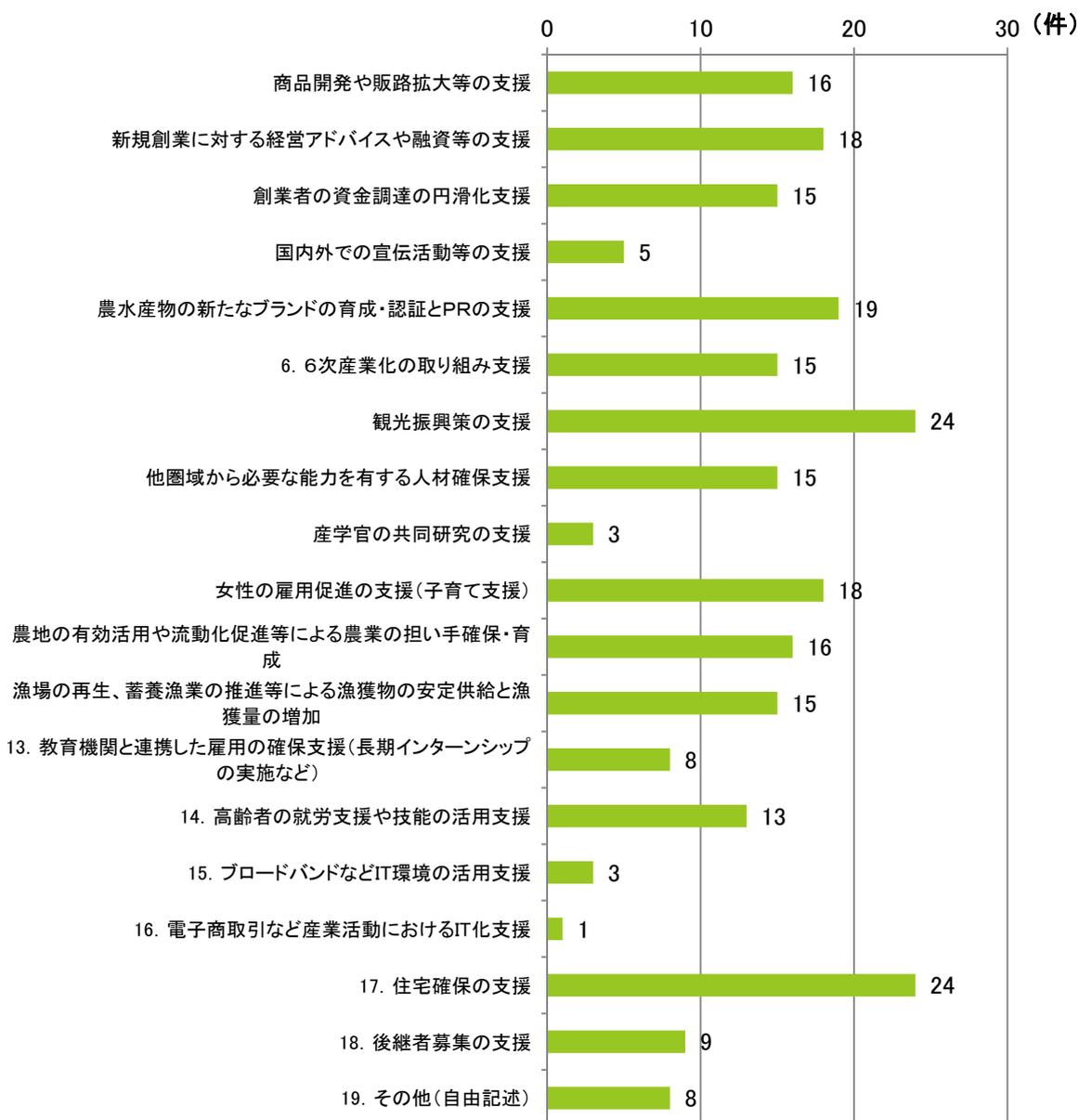


図 企業の事業活性化や新たな事業展開に役立つと考えられる支援内容 (n=245)

[(5) 企業向けアンケート調査]

Q8. 若者やUターンによる人材を雇用するために、お考えの具体的な事業がありましたらお書きください。(自由に意見を記載)

自由記述意見について、国の総合戦略における基本目標ごとに「A. 現況課題や方針に関する意見」と「B. 施策に関する意見」に分けて取りまとめました。

国の政策分野	サブタイトル	A. 現況課題や方針に関する意見	B. 施策に関する意見
1. 地方における安定した雇用を創出する	基幹産業の育成・支援	<ul style="list-style-type: none"> ●企業誘致 ・企業誘致：1件 	<ul style="list-style-type: none"> ●企業誘致 ・土地を無償提供して企業を誘致する：1件 ・水産物や食料品製造業の誘致：1件
	地元産業の育成・支援	<ul style="list-style-type: none"> ●企業育成 ・企業への支援：1件 	<ul style="list-style-type: none"> ●企業育成 ・町内成長企業への支援：1件 ●新規産業 ・新たな産業としてベントナイト・ゼオライトの事業展開：3件 ●連携 ・羽幌町と商工会の連携：1件 ・農・漁を官がサポートする体制づくり：1件
	就労環境の創出	<ul style="list-style-type: none"> ●雇用 ・雇用支援：3件 ・建設業は原材料費の高騰で雇用が困難：1件 	<ul style="list-style-type: none"> ●雇用 ・町内全ての企業が一人ずつ若者を雇用する：1件 ・若者のUターンなどの相談窓口の設置：1件 ●後継者 ・農業、漁業の後継者育成の支援：1件
2. 地方への新しい人の流れをつくる	観光交流の促進		<ul style="list-style-type: none"> ●観光施設 ・町民が集まって食事ができる施設の整備：1件
	地域ブランドの創出		<ul style="list-style-type: none"> ●地域ブランド ・海産物、農産物、サフォークなどのブランド化、付加価値化：3件 ・一次産業の6次産業化の全面支援：1件
	移住・定住	<ul style="list-style-type: none"> ●住宅 ・住宅の確保：2件 	

国の政策分野	サブタイトル	A. 現況課題や方針に関する意見	B. 施策に関する意見
3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ●子育て支援 ・子育て支援：1件 	
	教育環境の向上		<ul style="list-style-type: none"> ●大学 ・高校生や大学生への支援：1件 ・町外に転出している学生に対し、卒業後の町内就職を条件に一部学費を支援する：1件
4. 時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する	医療	<ul style="list-style-type: none"> ●医療 ・医療施設と医師の充実：1件 	
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ●まちづくり ・魅力あるまちづくり：1件 	

〔(5) 企業向けアンケート調査〕

Q9. その他、人口減少対策のためのご意見等がありましたらお書きください。
(自由に意見を記載)

自由記述意見について、国の総合戦略における基本目標ごとに「A. 現況課題や方針に関する意見」と「B. 施策に関する意見」に分けて取りまとめました。

国の政策分野	サブタイトル	A. 現況課題や方針に関する意見	B. 施策に関する意見
1. 地方における安定した雇用を創出する	基幹産業の育成・支援		<ul style="list-style-type: none"> ●企業誘致 ・専門学校や大学の誘致：2件
	地元産業の育成・支援		<ul style="list-style-type: none"> ●企業育成 ・製造業の加工性の向上及び販路拡大の支援：1件 ・羽幌町の知名度アップに貢献している企業への支援：1件 ・利子補給制度の復活（起業支援・企業支援）：1件 ・若者が働いている会社への支援：1件
	就労環境の創出		<ul style="list-style-type: none"> ●雇用 ・若者の雇用を確保する：2件 ・女性従業員の増加：1件 ・役場職員町外からの採用の禁止：1件 ●技術力 ・従業員のスキルアップへの支援：1件
	その他		<ul style="list-style-type: none"> ●その他 ・地元での購買運動の実施：2件
2. 地方への新しい人の流れをつくる	観光交流の促進		<ul style="list-style-type: none"> ●PR ・街コンを開催して羽幌町の魅力を発信する：1件
	地域ブランドの創出	<ul style="list-style-type: none"> ●特産品 ・地域ブランドの創出：1件 	
	移住・定住		<ul style="list-style-type: none"> ●移住 ・譲渡型定住促進住宅：1件 ・空き地・空き家を移住者に提供する：1件 ・外国人の移住：1件 ●住宅 ・公営住宅の増加：1件 ・公営住宅の住戸型別の適正供給：1件（子育て世代に広く、高齢世帯には狭く）：1件

国の政策分野	サブタイトル	A. 現況課題や方針に関する意見	B. 施策に関する意見
3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	出生率を高める		<ul style="list-style-type: none"> ●経済的支援 ・出産祝い金：1件
	子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ●子育て支援 ・子育て支援：4件 	<ul style="list-style-type: none"> ●経済的支援 ・中学生、高校生までの医療費無償化：3件 ・子育て世代への家賃補助：1件
	教育環境の向上		<ul style="list-style-type: none"> ●高校 ・羽幌高校に町外から学生を集めるための支援・PR：1件 ●経済的支援 ・教育費助成制度：1件
4. 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する	都市基盤施設		<ul style="list-style-type: none"> ●公園 ・スポーツ公園を整備して合宿を誘致する：1件
	介護	<ul style="list-style-type: none"> ●福祉 ・福祉施設の充実：2件 	<ul style="list-style-type: none"> ●福祉 ・24時間訪問介護システムの確立：1件 ・高齢者の住・食環境（食堂が付いた集合住宅）の整備：1件
	医療	<ul style="list-style-type: none"> ●医療 ・医療施設の充実：4件 	
	地域コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> ●地域コミュニティ ・住民のスポーツ振興：1件 	
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ●まちづくり ・コンパクトなまちづくり：1件 ・高齢者の喜びがあるまちづくり：1件 ●その他 ・成功事例調査：1件 	

<資料編>

- 高校生アンケート調査票
- 一般向けアンケート調査票
- 転入者向けアンケート調査票
- 転出者向けアンケート調査票
- 企業向けアンケート調査票
- (別紙) 羽幌町における人口の現況と地方創生について

◆人口減少対策のためのアンケート調査◆

●アンケート調査へのご協力をお願い

日頃より、羽幌町のまちづくりにご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

現在、人口減少への対策が急がれており、羽幌町としても、安定した雇用の創出、UIJターンなどにより新しい人の流れをつくることや、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえていく必要があると考えております。

このため、本調査は、羽幌町内に就業して快適な生活を送っていただくために、どのような政策が必要なのかを把握するためのアンケート調査で、就職を希望する業種や町内に就職するための条件などについてのご意見等をお聞きするものです。

ご協力いただきますようお願いいたします。

なお、羽幌町におけるこれまでの人口と将来の人口の推計は別紙をご覧ください。

平成27年5月 羽幌町長 駒井 久晃

●ご回答にあたって

- ・この調査は、羽幌町が直接行うものです。
- ・この調査は、羽幌高校、苫前商業高校、天売高校の皆さんを対象に実施させていただきました。
- ・調査票は、無記名とし、回答結果は全て統計的に処理されますので、回答内容が他人に知れることはありません。また、他の目的にも一切使用いたしません。

●お問合せ

〒078-4198 羽幌町南町1番地の1

羽幌町役場 地域振興課政策推進係 担当：富樫、和田

TEL：0164-68-7013（直通） FAX：0164-62-1219

メールアドレス：c-seisaku@town.haboro.lg.jp

問1. あなたご自身について、お答えください。

Q1. 「性別」と「学年」をお答えください。 (それぞれ一つに○)

1. 男性 2. 女性

1. 1年生 2. 2年生 3. 3年生

Q2. あなたの出身中学校をお答えください。 (一つに○)

1. 羽幌中学校 2. 天売中学校 3. 焼尻中学校 4. 苫前中学校

5. 古丹別中学校 6. 初山別中学校 7. 鬼鹿中学校

8. その他（学校名： ）

問2. 高校卒業後の進路や職業などについて、お答えください。

Q1. 卒業後は、進学又は就職のどちらを希望しますか。 (一つに〇、市町村を記載)

1. 進学を希望 (どちらの市町村への進学を希望しますか: _____)
2. 就職を希望 (どちらの市町村への就職を希望しますか: _____)
3. まだ、わからない

Q2. 将来どのような業種への就職を希望しますか。 (三つまで〇)

1. 公務員・法律・政治系の職業
2. ビジネス系の職業 (経営者、起業家、事務、営業など)
3. 語学系の職業 (通訳、翻訳など)
4. 旅行・観光系の職業 (観光ガイド、ツアーコンダクター)
5. 公共交通機関の乗り物系の職業 (鉄道、フェリー、バス、タクシーなど)
6. ホテル・ブライダル系の職業
7. マスコミ・芸能系の職業 (アナウンサー、カメラマン、俳優など)
8. 音楽・イベント系の職業 (音楽プロデューサー、作詞作曲家など)
9. デザイン・写真・芸術系の職業
10. 調理・製菓系の職業
11. 栄養系の職業 (栄養士など)
12. 健康・スポーツ系の職業 (整体師、スポーツトレーナーなど)
13. 医療・医療事務系の職業 (医師、看護師、歯科技工士など)
14. 福祉系の職業 (介護ヘルパー、ケアマネージャーなど)
15. 保育・教育系の職業 (保育士、幼稚園教師、小中学校教諭など)
16. ファッション系の職業 (カラーコーディネーター、ファッションデザイナーなど)
17. 理容・美容系の職業
18. 自動車系の職業
19. 機械・電気・電子系の職業
20. 建築・土木・インテリア系の職業
21. コンピューター・ゲーム系の職業
22. 動物・植物・フラワー系の職業
23. 環境・バイオ系の職業
24. モノづくり系の職業 (製造業、機械組立工など)
25. 冠婚葬祭系の職業
26. 出版系の職業 (ライター、編集者など)
27. 自然系の職業 (農業、林業、漁業など)
28. 資産・金融系の職業 (銀行業、不動産業など)
29. その他 (_____)

Q3. 羽幌町内に希望する業種の雇用先があれば、あなたは、羽幌町での就職（進学後を含む。）を検討しますか。 (一つに〇)

- | | | |
|----------------------------|---|---------------|
| 1. ぜひ羽幌町での就職を検討したい | } | Q3-1へお進みください。 |
| 2. できれば羽幌町での就職を検討したい | | |
| 3. あまり羽幌町での就職を検討してみたいと思わない | } | Q3-2へお進みください。 |
| 4. 羽幌町での就職検討は考えられない | | |

※それぞれを選択した理由をお答えください。

()

Q3-1. Q3で1、または、2をお答えの方への質問です。羽幌町で就職を検討するにあたって、どのような情報があると良いですか。(あてはまるもの全てに〇)

- | | | |
|----------------------------------|---|-------------|
| 1. 羽幌町内の企業だけを特定した求人情報 | } | 問3へお進みください。 |
| 2. 具体的な仕事内容 | | |
| 3. 社風や社内の雰囲気 | | |
| 4. 会社の将来性 | | |
| 5. 入社後の待遇（給与条件、休暇等） | | |
| 6. 羽幌町内の住宅情報（空家情報、家賃等の諸条件） | | |
| 7. 現在は求人していないものの、将来、後継者を求める企業の情報 | | |
| 8. 特にない | | |

Q3-2. Q3で3、または、4をお答えの方への質問です。Q3の理由のほか羽幌町で生活するのにどのような問題があると感じていますか。また、どのような工夫をすれば快適な生活を送れると思いますか。(自由に意見を記載)

()

Q3-3. Q3で3、または、4をお答えの方への質問です。一度、出身地以外に就職し、しばらくたった後、また、出身地に就職（いわゆるUターン）することは考えられますか。 (一つに○)

1. いずれは出身地で就職したい。または、就職することもあり得る	→ Q3-4へお進みください。
2. わからない	} 問3へお進みください。
3. 出身地で就職することは、あまり考えられない、または、全く考えられない	

Q3-4. Q3-3で1をお答えの方への質問です。Uターンする場合、どのような情報があると便利だと感じますか。 (一つに○)

1. 羽幌町内の企業だけを特定した求人情報
2. 具体的な仕事内容
3. 社風や社内の雰囲気
4. 会社の将来性
5. 入社後の待遇（給与条件、休暇等）
6. 羽幌町内の住宅情報（空家情報、家賃等の諸条件）
7. 現在は求人していないものの、将来、後継者を求める企業の情報
8. 特にない

問3. 人口減少対策について、お答えください。

Q1. 羽幌町の人口の減少率を軽減、または、人口を増加させていくためのご意見等がありましたらお書きください。 (自由に意見を記載)

アンケートは、以上で終了です。ご記入ありがとうございました。
 答え忘れがないかももう一度お確かめください。
 担任の先生まで提出するようお願いいたします。

◆結婚、出産、子育てに関するアンケート調査◆

●アンケート調査へのご協力をお願い

日頃より、羽幌町のまちづくりにご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

昨今、我が国においては、「まち・ひと・しごと創生法」が施行され、「人口減少問題の克服」や「GDPなど成長力の確保」などを展望した、長期ビジョンが示されたところで

です。これに対し、羽幌町といたしましても、安定した雇用の創出、U・I・Jターンなど新しい人の流れをつくることや、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえるなど、国と地方が一体となり人口を確保していくための政策が必要と考えています。

このため、本調査は、人口問題を検討していく中で重要な、結婚、子育てについて、どのような政策が必要なのかを把握するためのアンケート調査で、結婚のメリットや子育て支援の内容などについてご意見等をお聞きするものです。

お忙しいところ恐れ入りますが、ご協力いただきますようお願いいたします。

なお、羽幌町におけるこれまでの人口と将来の人口の推計は別紙をご覧ください。

平成27年5月 羽幌町長 駒井 久晃

●ご注意

お答えいただいたアンケート票は、返信用封筒に入れ、6月8日（月曜日）までに投函していただきますよう、お願いいたします。

●ご回答にあたって

- ・この調査は、羽幌町が直接行うものです。
- ・この調査は、羽幌町にお住まいの町民の中から無作為抽出により、1,200名の方を対象に実施させていただきました。
- ・調査票は、無記名とし、回答結果は全て統計的に処理されますので、回答内容が他人に知れることはありません。また、他の目的にも一切使用いたしません。

●お問合せ

〒078-4198 羽幌町南町1番地の1

羽幌町役場 地域振興課政策推進係 担当：富樫、和田

TEL：0164-68-7013（直通） FAX：0164-62-1219

メールアドレス：c-seisaku@town.haboro.lg.jp

問1. 結婚について、お答えください。

Q1. あなたは結婚していますか。

(一つに〇)

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| 1. 結婚している（配偶者がいる） | } Q2へ
お進みください。 |
| 2. 未入籍で同居している（パートナーがいる） | |
| 3. 配偶者・パートナーが以前いたことがある | } Q1-1へ
お進みください。 |
| 4. 配偶者・パートナーはこれまで得たことはない | |

Q1-1. Q1で3、または、4をお答えの方への質問です。今後、結婚したいと思いませんか。 (一つに○)

1. できればすぐにでも結婚したい	}	Q1-2へ お進みくだ さい。
2. いずれは結婚したい		
3. それほどしたくないが、いずれ結婚することになるだろう		
4. 戸籍上の結婚にこだわらないが、パートナーは欲しい		
5. できれば結婚もしたくないし、パートナーも特に欲しいとは思わない	}	Q2へ お進みくだ さい。
6. その他 ()		

Q1-2. Q1-1で1から4をお答えの方への質問です。婚活事業を行った場合にあなたは参加されますか。 (一つに○)

1. ぜひ、参加したい	2. 多分、参加する	3. わからない
4. 多分、参加しない	5. まず、参加しない	

Q2. 配偶者（パートナー）を得ることによるメリット（いい影響や利点）は、どのようなことだと思いますか。 (あてはまるもの全てに○)

1. 精神的に安定する	2. 経済的に安定する
3. 子どもを産み育てることができる	4. 社会的に認められる
5. 友人が増える	6. 家族や親戚が増える
7. 親から独立できる	8. 家事を分担してもらえる
9. 生活スタイルを変えることができる	10. 老後についての安心感が生まれる
11. その他 ()	
12. 特に得られるものはない	

Q3. 配偶者（パートナー）を得ることによって生じる問題点は、どのようなことだと思いますか。 (あてはまるもの全てに○)

1. 精神的負担が大きい	2. 経済的に苦しくなる
3. 妊娠、出産や子育てが大変	4. 社会的な責任が生じる
5. 友人との付き合いが限定される	6. 配偶者の親や親戚との付き合いが増す
7. 親に頼れなくなる	8. 家事・育児などの仕事が増える
9. 生活スタイルが限定される	10. 配偶者の親の世話を求められる
11. その他 ()	
12. 特に問題は感じない	

Q4. 配偶者やパートナーと暮らす場合、家事などについてどのように分担し合うことが理想だと思いますか。①から⑦のそれぞれについて、1から6の番号に一つずつ〇を付けてください。
(①から⑦について一つに〇)

	男性のみが行う	男性中心に女性も行う	男性も女性も同程度に行う	女性中心に男性も行う	女性のみが行う	性別に関係なく行う
①生計を立てるための仕事	1	2	3	4	5	6
②家事	1	2	3	4	5	6
③育児	1	2	3	4	5	6
④家計管理	1	2	3	4	5	6
⑤子どもの教育	1	2	3	4	5	6
⑥近所や地域での付き合い	1	2	3	4	5	6
⑦親の介護	1	2	3	4	5	6

Q5. この設問は、配偶者（パートナー）がいる方への質問です。現在、家事などについて配偶者（パートナー）との実際の役割分担は、どのようにしていますか。①から⑦のそれぞれについて、1から6の番号に一つずつ〇を付けてください。

(①から⑦について一つに〇)

	男性のみが行っている	男性中心に女性も行っている	男性も女性も同程度に行っている	女性中心に男性も行っている	女性のみが行っている	性別に関係なくできる方が行っている
①生計を立てるための仕事	1	2	3	4	5	6
②家事	1	2	3	4	5	6
③育児	1	2	3	4	5	6
④家計管理	1	2	3	4	5	6
⑤子どもの教育	1	2	3	4	5	6
⑥近所や地域での付き合い	1	2	3	4	5	6
⑦親の介護	1	2	3	4	5	6

問2. 子育てについて、お答えください。

Q1. あなたはこれまで、小学生までの子ども（乳幼児・児童期）の子育てに関わったことがありますか。 (主なもの一つに○)

- | | |
|--|-----------------|
| 1. 現在、自分の子どもの子育てをしている | } Q1-1へお進みください。 |
| 2. 現在はしていないが、以前、自分の子どもの子育てをしたことがある | |
| 3. 自分の子どもではないが、きょうだいや親せきの子どもを預ったり、日常的に世話をしている（したことがある） | |
| 4. 自分の子どもではないが、職業上、保育や児童の教育に携わっている（携わっていた） | |
| 5. 子育てについて、ほとんど経験はない | → Q1-2へお進みください。 |

Q1-1. Q1で1から4をお答えの方への質問です。子育て未経験の人に対して、子育て経験をすることを勧めたいと思いますか。 (一つに○)

- | | | |
|--------------|-----------------|---------------|
| 1. ぜひ勧めたい | 2. どちらかといえば勧めたい | } Q2へお進みください。 |
| 3. あまり勧めたくない | 4. 勧めたくない | |

Q1-2. Q1で5をお答えの方への質問です。結婚するかしないかを別にして考えた場合、子育てをしてみたいと思いますか。 (一つに○)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. ぜひ子育てしてみたい | 2. 機会があれば子育てしてみたい |
| 3. あまり子育てしてみたいと思わない | 4. 子育てしたくない |
| 5. わからない | |

Q2. 妊娠、出産、子育てに関する不安は、どのようなところにあると思いますか。 (あてはまるもの全てに○)

- | |
|------------------------|
| 1. 仕事をするチャンスが減る（無くなる） |
| 2. 仕事に集中できない |
| 3. 経済的な負担が大きい |
| 4. 精神的・肉体的に負担が大きい |
| 5. 余暇の時間が持てない |
| 6. 家庭の外の人と交流する機会や時間が減る |
| 7. 行動範囲が狭くなる |
| 8. その他（) |
| 9. 特にない |
| 10. わからない |

Q3. お子さんは何人ぐらいほしいですか（ほしかったですか）。 (一つに〇)

現在、お子さんがいらっしゃる方	現在、お子さんがいらっしゃらない方
1. 現在よりも1人多くほしい (ほしかった) 2. 現在よりも2人多くほしい (ほしかった) 3. 現在よりも3人多くほしい (ほしかった) 4. 現在の子どもの数は、 考えていたとおりである 5. 子どもの数は考えていない (いなかった)	1. 1人ほしい (ほしかった) 2. 2人ほしい (ほしかった) 3. 3人ほしい (ほしかった) 4. 出来る限り多くほしい (ほしかった) 5. ほしいとは思わない (思わなかった) 6. 子どもの数は考えていない (いなかった)

Q4へ
お進み
ください。

Q5へ
お進み
ください。

Q4へ
お進み
ください。

Q4. Q3の「現在、お子さんがいらっしゃる方」で1から3をお答えの方と「現在、お子さんがいらっしゃらない方」への質問です。「考えていたよりもお子さんの数が少ない理由」、あるいは、「お子さんがいらっしゃらない理由」について、該当するものがあればお答えください。 (三つまで〇)

1. 結婚していない (いなかった)、パートナーがいない (いなかった) 2. 子どもはほしいと考えている (考えていた) 3. 住宅が狭い (狭かった) 4. 家計にゆとりがほしい (ほしかった) 5. 仕事と育児の両立が難しい (難しかった) 6. 身近に子育てを手伝ってくれる人がいない (いなかった) 7. 子育て支援サービスが充実していない (いなかった) 8. 配偶者と意見が合わない (合わなかった) 9. 他の子どもに手が回らなくなる (回らなかった) 10. 教育費がかかる 11. 育児の身体的・精神的な負担が大きい 12. 夫婦で楽しむ時間を大切にしたい (したかった) 13. 趣味やレジャーの時間を大切にしたい (したかった) 14. 子育てに自信がない (なかった) 15. 子どもが苦手だから (だった) 16. 健康上の理由で 17. 年齢的な理由で 18. その他 () 19. 特に理由はない

Q5. 羽幌町は、子育てしやすい環境にあると思いますか。 (一つに〇)

1. 子育てしやすい	2. やや子育てしやすい	
3. やや子育てしづらい	4. 子育てしづらい	5. わからない

Q6. 妊娠や出産、子育てをするにあたって、どのような支援策があれば良いと思いますか。特にあてはまるものをお答えください。（三つまで○、一部必要な事項を記載）

1. 保育所を増やす
2. 保育所のサービスを充実する（例えば：_____）
3. 保育所の保育費の負担を軽減する
4. 幼稚園を増やす
5. 幼稚園の教育内容を充実する（例えば：_____）
6. 幼稚園の入園料や月々の保育料を軽減する
7. 認定子ども園を増やす
8. 子育てサークルなど地域活動を充実する
9. 冬の移動手段や遊び場の設置
10. 子育てしやすい居住環境
11. 子どもの遊び場を増やす
12. その他（_____）
13. わからない

Q7. 地域ぐるみで子育てを支援しようという子育て支援サービスや託児ボランティアなどがあれば、あなたは利用したり、または、担い手（サービス提供側）として参加してみたいと思いますか。（それぞれ一つに○）

●子育て支援サービスを受ける立場として

（現在、子育てしていない方は、子育てしていると想定してお答えください）

1. ぜひ利用したい	2. できれば利用したい
3. あまり利用したいと思わない	4. 利用したいと思わない
5. わからない	

●子育て支援サービスの担い手（提供者）として

1. ぜひ参加してみたい	2. できれば参加してみたい
3. あまり参加したと思わない	4. 参加したいと思わない
5. わからない	

問3. 人口減少対策について、お答えください。

Q1. 婚姻率を高める方法として、効果的と思われる方法がありましたらお書きください。（自由に意見を記載）

--

Q2. 出生率を高める方法として、効果的と思われる方法や希望する支援などがありましたらお書きください。 (自由に意見を記載)

--

Q3. 若者等の職を確保するために、どのような産業分野を重点的に支援することが良いと考えますか。 (三つまで〇)

1. 農業	2. 林業	3. 畜産業	4. 水産業
5. 商業	6. 観光産業	7. 建設業	8. 製造業 (食品加工業など)
9. エネルギー産業 (風力発電など)		10. 医療・福祉産業	
11. その他 ()		12. 産業全般を均等に支援する	

Q4. その他、人口減少対策に効果的と思われる方法がありましたらお書きください。 (自由に意見を記載)

--

問4. 最後にあなた自身について、お答えください。

Q1. 性別と年齢をお答えください。 (一つに〇)

1. 男性	1. 20歳代	2. 30歳代	3. 40歳代
2. 女性	4. 50歳代	5. 60歳以上	

Q2. 職業をお答えください。 (一つに〇)

1. 農業	2. 林業	3. 漁業	4. 商業・サービス業
5. 製造業・建設業	6. 公務員・団体職員	7. パート・アルバイト	
8. その他の職業	9. 無職 (主婦・学生含む)		

Q3. 現在、あなたは、どなたと同居していますか。 (あてはまるもの全てに〇)

1. なし (ひとりぐらし)	2. 配偶者 (パートナー)	3. 親
4. 子ども	5. 兄弟姉妹	6. その他

Q4. お子さんの人数について、お答えください。 (人数を記載)

同居 () 人、別居 (町内で生活:) 人、別居 (町外で生活:) 人
--

◆アンケート調査のお願い◆

日頃より、羽幌町のまちづくりに、ご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
ます。

羽幌町では、転入された皆様の転入理由や居住環境の満足度などを把握し、人口減少対策など今後のまちづくりへの基礎資料として活用させていただくため、アンケート調査を実施することとしました。

お忙しいところ恐れ入りますが、ご協力いただきますようお願いいたします。

なお、羽幌町におけるこれまでの人口と将来の人口の推計は別紙をご覧ください。

平成27年5月 羽幌町長 駒井 久晃

●ご注意

お答えいただいたアンケート票は、返信用封筒に入れ、6月8日（月曜日）までに投函していただきますよう、お願いいたします。

●ご回答にあたって

- ・この調査は、羽幌町が直接行うものです。
- ・この調査は、平成26年3月から4月にかけて羽幌町へ転入された方々を対象に実施させていただきました。
- ・調査票は、無記名とし、回答結果は全て統計的に処理されますので、回答内容が他人に知れることはありません。また、他の目的にも一切使用いたしません。

●お問合せ

〒078-4198 羽幌町南町1番地の1

羽幌町役場 地域振興課政策推進係 担当：富樫、和田

TEL：0164-68-7013（直通） FAX：0164-62-1219

メールアドレス：c-seisaku@town.haboro.lg.jp

Q1. 性別と年齢をお答えください。 (一つに〇)

1. 男性

2. 女性

1. 20歳代

2. 30歳代

3. 40歳代

4. 50歳代

5. 60歳以上

Q2. 職業をお答えください。 (一つに〇)

1. 農業

2. 林業

3. 漁業

4. 商業・サービス業

5. 製造業・建設業

6. 公務員・団体職員

7. パート・アルバイト

8. その他の職業

9. 無職（主婦・学生含む）

Q3. あなたの出身地は、どちらですか。

(一つに○)

1. 羽幌町
2. 北海道内(市町村名を記入してください) : _____)
3. 北海道外(都道府県名を記入してください) : _____)

Q4. 転入前後の家族構成についてお答えください。

(転入前、転入後とも一つに○)

転入前	1. 一人世帯	2. 夫婦のみ	3. 夫婦と子ども
	4. ひとり親と子ども	5. 夫婦と親と子	6. その他
転入後	1. 一人世帯	2. 夫婦のみ	3. 夫婦と子ども
	4. ひとり親と子ども	5. 夫婦と親と子	6. その他

Q5. 転入前のお住まいをお答えください。

(必要な事項を記載)

都道府県名 : _____	市町村名 : _____
---------------	--------------

Q6. 現在のお住まいをお答えください。

(一つに○)

1. 南〇条	2. 南大通	3. 港町	4. 緑町	5. 幸町	6. 南町
7. 栄町	8. 寿町	9. 北〇条	10. 北大通	11. 浜町	12. 北町
13. 朝日	14. 汐見	15. 高台	16. 築別	17. 上築	18. 曙
19. 中央	20. 平	21. 上羽幌	22. 焼尻	23. 天売	

Q7. 転入された時の気持ちで、あてはまるものはどれですか。(一つに○)

1. 羽幌町に魅力を感じて転入した	→ Q7-1へお進みください。
2. 周辺市町村と比較して転入した	→ Q7-2へお進みください。
3. その他	→ Q8へお進みください。

Q7-1. Q7で1をお答えの方への質問です。どのような点に魅力を感じましたか。

(自由な意見を記載)

--

Q8へお進みください。

Q7-2. Q7で2をお答えの方への質問です。どのような点が周辺市町村と比較して良いと感じましたか。 (自由な意見を記載)

Q8. 転入されることになった最も大きなきっかけは何ですか。 (一つに〇)

1. 仕事の都合 (就職、転職、転勤、退職など) 2. お子さんの学校の都合 3. 住宅の都合 (広さ、設備、家賃) 4. 結婚のため 5. 離婚のため 6. 家族から独立するため 7. 家族と同居するため 8. その他 ()	→ Q8-1へお進みください。 } Q9へお進みください。
---	--------------------------------------

Q8-1. Q8で1をお答えの方への質問です。仕事の都合は、どの内容ですか。

(一つに〇)

1. 就職 2. 転職 3. 通勤 4. 退職 5. その他 ()

Q9. 羽幌町に住んでみて、どの点に魅力を感じていますか。(あてはまるもの全てに〇)

1. 買い物など日常生活の利便さ 3. 物価が安い 5. 住宅条件 7. 介護施設など福祉環境 9. 子育てのしやすさ 11. 保安・防犯 13. 観光地としての魅力 15. その他 ()	2. 通勤・通学の利便さ 4. 近所づきあい 6. 教育環境 8. 病院など医療環境 10. 道路・公園などの施設 12. 自然環境 14. 食べ物がおいしい
--	---

Q10. 羽幌町に住んでみて、どの点に不満を感じていますか。(あてはまるもの全てに○)

1. 買い物など日常生活の不便さ	2. 通勤・通学の不便さ
3. 物価が高い	4. 近所づきあい
5. 住宅条件	6. 教育環境
7. 介護施設など福祉環境	8. 病院など医療環境
9. 子育てのしづらさ	10. 道路・公園などの施設
11. 保安・防犯	12. 自然環境
13. 観光地として魅力がない	14. 地物を食べられる所がない
15. その他 ()	

Q11. 羽幌町に住んで、現時点で満足していますか。(一つに○)

1. 満足	2. どちらかといえば満足
3. どちらかといえば不満足	4. 不満足

Q12. 今後とも羽幌町に住みつづけたいと思いますか。(一つに○)

1. 現在の住宅にこれからも住みつづけたい
2. 転居するかもしれないが、羽幌町内に住みつづけたい
3. 将来は町外に引っ越したい
4. 将来は町外に引っ越さざるを得ない
5. 不満を感じている点が改善されれば、住みつづけたい
6. わからない

Q13. その他、羽幌町に住んでいて感じることや、人口減少対策に関するご意見などありましたら、お書きください。(自由に意見を記載)

--

アンケートは以上です。ありがとうございました。

答え忘れがないかもう一度お確かめのうえ、返信用封筒に入れ、6月8日(月曜日)までに投函くださいますようお願いいたします。

◆アンケート調査のお願い◆

羽幌町にお住まいの時は、本町のまちづくりに、ご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。

現在、羽幌町では、転出された皆様の転出理由や居住環境の満足度などを把握し、人口減少対策など今後のまちづくりへの基礎資料として活用させていただくため、アンケート調査を実施することとしました。

お忙しいところ恐れ入りますが、ご協力いただきますようお願いいたします。

なお、羽幌町におけるこれまでの人口と将来の人口の推計は別紙をご覧ください。

平成27年5月 羽幌町長 駒井 久晃

●ご注意

お答えいただいたアンケート票は、返信用封筒に入れ、6月8日（月曜日）までに投函していただきますよう、お願いいたします。

●ご回答にあたって

- ・この調査は、羽幌町が直接行うものです。
- ・この調査は、平成26年3月から4月にかけて羽幌町から転出された方々を対象に実施させていただきました。
- ・調査票は、無記名とし、回答結果は全て統計的に処理されますので、回答内容が他人に知れることはありません。また、他の目的にも一切使用いたしません。

●お問合せ

〒078-4198 羽幌町南町1番地の1

羽幌町役場 地域振興課政策推進係 担当：富樫、和田

TEL：0164-68-7013（直通） FAX：0164-62-1219

メールアドレス：c-seisaku@town.haboro.lg.jp

Q1. 性別と年齢をお答えください。

(一つに〇)

- 1. 男性
- 2. 女性

- 1. 20歳代
- 2. 30歳代
- 3. 40歳代
- 4. 50歳代
- 5. 60歳以上

Q2. 職業をお答えください。

(一つに〇)

- 1. 農業
- 2. 林業
- 3. 漁業
- 4. 商業・サービス業
- 5. 製造業・建設業
- 6. 公務員・団体職員
- 7. パート・アルバイト
- 8. その他の職業
- 9. 無職（主婦・学生含む）

Q3. あなたの出身地はどちらですか。

(一つに○)

1. 羽幌町
2. 北海道内（市町村名を記入してください）： _____
3. 北海道外（都道府県名を記入してください）： _____

Q4. 羽幌町に住まわれた時と、現在の家族構成についてお答えください。

(それぞれ一つに○)

転出前	1. 一人世帯	2. 夫婦のみ	3. 夫婦と子ども
	4. ひとり親と子ども	5. 夫婦と親と子	6. その他
転出後	1. 一人世帯	2. 夫婦のみ	3. 夫婦と子ども
	4. ひとり親と子ども	5. 夫婦と親と子	6. その他

Q5. 羽幌町に住まわれていた時の地域をお答えください。

(一つに○)

1. 南〇条	2. 南大通	3. 港町	4. 緑町	5. 幸町	6. 南町
7. 栄町	8. 寿町	9. 北〇条	10. 北大通	11. 浜町	12. 北町
13. 朝日	14. 汐見	15. 高台	16. 築別	17. 上築	18. 曙
19. 中央	20. 平	21. 上羽幌	22. 焼尻	23. 天売	

Q6. 現在の居住地をお答えください。

(必要な事項を記載)

都道府県名： _____	市町村名： _____
--------------	-------------

Q7. 羽幌町から転出された時の気持ちで、あてはまるものはどれですか。(一つに○)

1. 仕方なく転出した
2. どちらかといえば、仕方なく転出した
3. どちらかといえば、早く転出したかった
4. 早く転出したかった
5. どちらともいえない

Q8. 転出されることになった最も大きなきっかけは何ですか。 (一つに○)

1. 仕事の都合（就職、転職、転勤、退職など）	→ Q8-1へお進みください。
2. お子さんの学校の都合	} Q9へお進みください。
3. 住宅の都合（広さ、設備、家賃）	
4. 結婚のため	
5. 離婚のため	
6. 家族から独立するため	
7. 家族と同居するため	
8. その他（ ）	

Q8-1. Q8で1をお答えの方への質問です。仕事の都合は、どの内容ですか。

(一つに○)

1. 就職	2. 転職	3. 通勤	4. 退職	5. その他（ ）
-------	-------	-------	-------	-----------

Q9. 羽幌町に住んでいて、どの点に魅力を感じていましたか。(あてはまるもの全てに○)

1. 買い物など日常生活の利便さ	2. 通勤・通学の利便さ
3. 物価が安い	4. 近所づきあい
5. 住宅条件	6. 教育環境
7. 介護施設など福祉環境	8. 病院など医療環境
9. 子育てのしやすさ	10. 道路・公園などの施設
11. 保安・防犯	12. 自然環境
13. 観光地としての魅力	14. 食べ物がおいしい
15. その他（ ）	

Q10. 羽幌町に住んでいて、どの点に不満を感じていましたか。

(あてはまるもの全てに○)

1. 買い物など日常生活の不便さ	2. 通勤・通学の不便さ
3. 物価が高い	4. 近所づきあい
5. 住宅条件	6. 教育環境
7. 介護施設など福祉環境	8. 病院など医療環境
9. 子育てのしづらさ	10. 道路・公園などの施設
11. 保安・防犯	12. 自然環境
13. 観光地として魅力がない	14. 地物を食べられる所がない
15. その他（ ）	

◆人口減少対策のためのアンケート調査◆

●アンケート調査へのご協力をお願い

日頃より、羽幌町のまちづくりにご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

昨今、我が国においては、「まち・ひと・しごと創生法」が施行され、「人口減少問題の克服」や「GDPなど成長力の確保」などを展望した長期ビジョンが示されたところでもあります。

これに対し、羽幌町といたしましても、安定した雇用の創出、UIJ ターンなど新しい人の流れをつくることや、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえるなど、国と地方が一体となり人口を確保していくための政策が必要と考えています。

このため、本調査は、企業を経営する皆様方が、若者や UIJ ターンによる人材を雇用していただくために、どのような政策が必要なのかを把握するためのアンケート調査で、役に立ちそうな政策や従業員の方の状況などについてのご意見等をお聞きするものです。

お忙しいところ恐れ入りますが、ご協力いただきますようお願いいたします。

なお、羽幌町におけるこれまでの人口と将来の人口の推計は別紙をご覧ください。

平成27年5月 羽幌町長 駒井 久晃

●ご注意

お答えいただいたアンケート票は、返信用封筒に入れ、6月8日(月曜日)までに投函していただきますよう、お願いいたします。

●ご回答にあたって

- ・この調査は、羽幌町が直接行うものです。
- ・この調査は、羽幌町で事業を営まれている事業所様から無作為抽出により、200社の方々を対象に実施させていただきました。
- ・調査票は、無記名とし、回答結果は全て統計的に処理されますので、回答内容が他人に知れることはありません。また、他の目的にも一切使用いたしません。

●お問合せ

〒078-4198 羽幌町南町1番地の1

羽幌町役場 地域振興課政策推進係 担当：富樫、和田

TEL：0164-68-7013（直通） FAX：0164-62-1219

メールアドレス：c-seisaku@town.haboro.lg.jp

Q1. 営んでいる業種についてお答えください。 (一つに〇)

1. 飲食店	2. 生鮮品	3. 菓子・パン	4. 食料品小売	5. 衣料
6. 美容・理容	7. クリーニング	8. 花・植木	9. 写真	
10. 時計・メガネ	11. 家電	12. 書籍・文具	13. 医薬・化粧品	
14. 病院・療術等	15. 工作機械器具	16. 自動車販売・整備		
17. 食料品製造	18. 清掃・廃棄物処理	19. 建設会社・工事		
20. 漁業	21. 幼稚園・保育園	22. 福祉施設	23. 運送業	
24. 宿泊業	25. その他サービス ()			

Q2. 経営されている場所(地区名)をお答えください。 (一つに〇)

1. 南〇条	2. 南大通	3. 港町	4. 緑町	5. 幸町	6. 南町
7. 栄町	8. 寿町	9. 北〇条	10. 北大通	11. 浜町	12. 北町
13. 焼尻	14. 天売				

Q3. 経営者の方の性別と年齢をお答えください。 (一つに〇)

1. 男性	1. 20歳代	2. 30歳代	3. 40歳代
2. 女性	4. 50歳代	5. 60歳代	6. 70歳以上

Q4. 貴社に勤務されている従業員(パート含む)は、何名いますか。また、町外から通勤している従業員は何名いますか。 (人数、記載な事項を記載)

従業員の人数： _____人 (内、家族従業員の数： ____人)	町外にお住まいの従業員の人数： _____人 市町村名をお書きください。 ()
--------------------------------------	--

Q5. 従業員の方の年齢構成についてお答えください。また、経営者様が考える理想の年齢構成を併せてお答えください。 (人数を記載)

年齢階層	現在の人数	理想とする人数
30歳未満	_____人	_____人
30歳以上 50歳未満	_____人	_____人
50歳以上 60歳未満	_____人	_____人
60歳以上 70歳未満	_____人	_____人
70歳以上	_____人	_____人

Q8. 若者やU I Jターンによる人材を雇用するために、お考えの具体的な事業がありましたらお書きください。
(自由に意見を記載)

Q9. その他、人口減少対策のためのご意見等がありましたらお書きください。
(自由に意見を記載)

アンケートは以上です。ありがとうございました。

答え忘れがないかももう一度お確かめのうえ、返信用封筒に入れ、6月8日(月曜日)までに投函くださいますようお願いいたします。

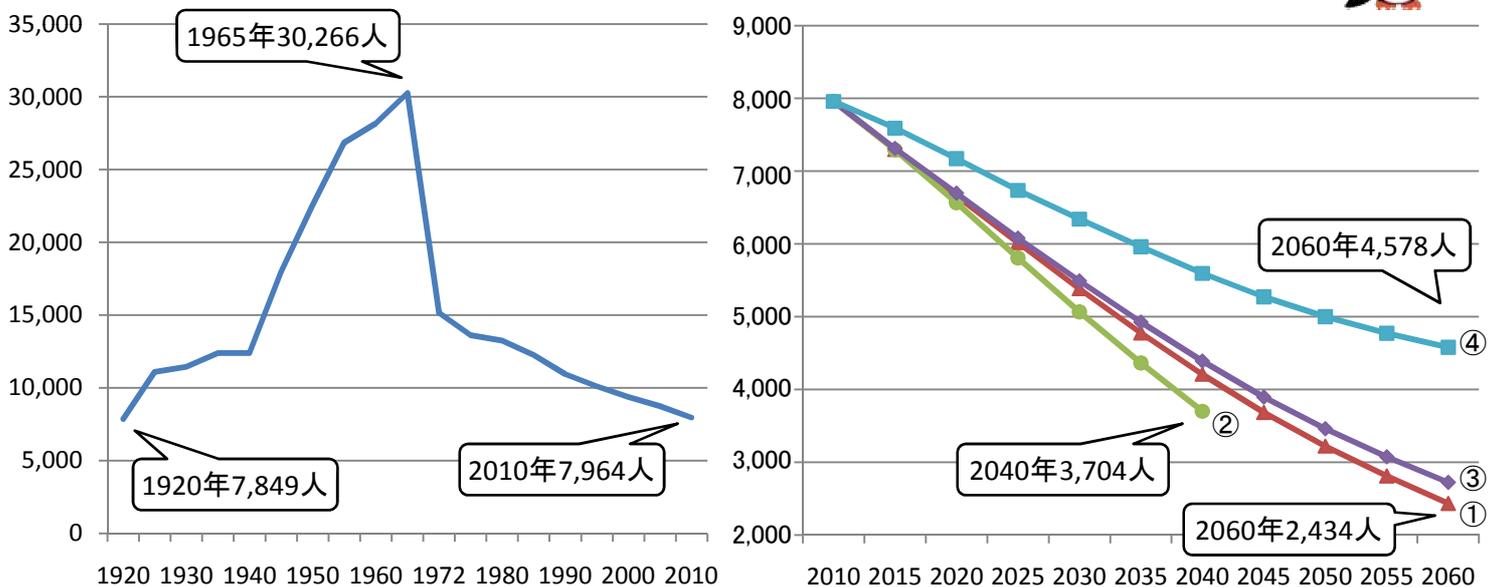
羽幌町における人口の現状と 地方創生について

昨年5月に民間研究機関「日本創生会議」が、『2010年から2040年の間に、20～39歳の女性の数が半分以下になってしまう市町村（消滅可能性都市）』を発表したことをきっかけとして、政府は人口減少対策に取り組むための「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」と「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を12月に策定しました。

これによって、市町村でも、各地域の状況にあった「人口ビジョン」と「総合戦略」の策定が求められており、今後、羽幌町においても策定作業を進めることとしています。

そこで皆さんには、次のグラフをご覧ください、羽幌町の人口の現状について、理解していただきたいと思います。

今までの人口と将来の人口の推計は？



— 国勢調査 (1920年～2010年)

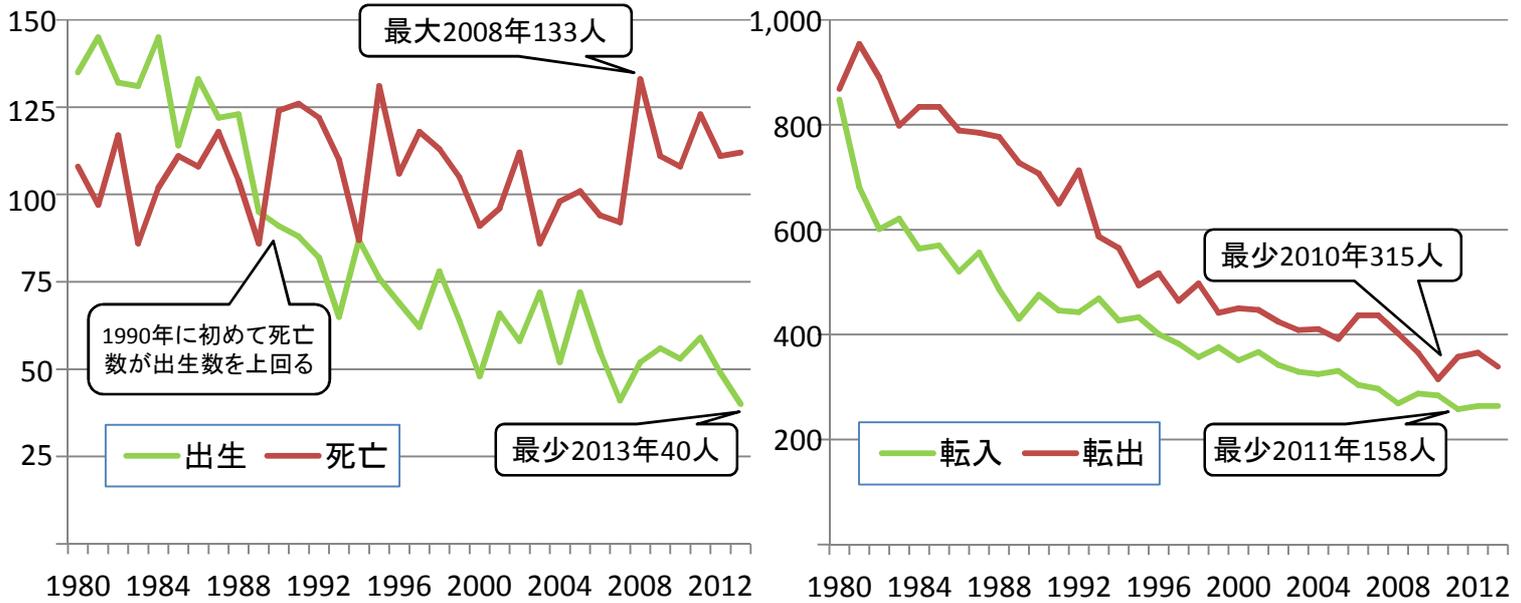
- ① ▲ 人口移動が今後一定程度縮小した場合
- ② ● 人口移動が現在のペースで続いた場合
- ③ ◆ 人口移動が今後一定程度縮小し、かつ出生率が上昇した場合
- ④ ■ 人口移動がゼロ（転入＝転出）になり、かつ出生率が上昇した場合

羽幌町の人口は、昭和40（1965）年の30,266人をピークに減り続け、平成22（2010）年には、7,964人になりました。

また、将来の人口を4つの場合で考えてみましたが、いずれの場合でも、人口減少は避けられない結果となっています。



出生・死亡と転入・転出の状況はどうなってるの？



羽幌町の人口減少は、「自然減（死亡数が出生数を上回る）」と「社会減（転出者数が転入者数を上回る）」の両方で進んでおり、ここ数年は、年間で約150人減少しています。【自然減が50人程度・社会減が100人程度】

羽幌町ではどんなことをするの？



この人口減少を食い止めるため、「人口ビジョン」と「総合戦略」を策定し、具体的な取り組みを進めていきます。

Q. 人口ビジョンって？

A. 羽幌町の人口の現状を分析し、今後目指すべき将来の方向と人口の将来展望を示すものです。

Q. 総合戦略って？

A. 人口ビジョンなどを踏まえて、羽幌町における今後5か年（平成27年度から平成32年度）の政策目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめたものです。

「人口ビジョン」と「総合戦略」の策定は、産業界、行政機関、金融機関などで構成する検討会議を中心に進めていきますが、町政懇談会などで、町民の皆さんから多くのご意見をうかがい、よりよい人口ビジョンと総合戦略の策定を目指します。

また、今後、町内にお住まいの20歳以上の方1,200人を無作為で選ばせていただき、結婚や子育てに関するアンケート調査を行います。この調査は、人口ビジョン策定にあたっての重要な調査となりますので、調査票がお手元に届いた際はご協力をお願いします。

